

# 九州地区大学図書館協議会誌

第51号

2008

九州地区大学図書館協議会

## 目 次

## 【巻 頭 言】

これからの大学教育と図書館の役割 .....	柴多 一雄	1
------------------------	-------	---

## 【寄 稿 論 文】

琉球大学図書館における教養教育支援の取り組み .....	松原 敏夫	3
美しいPDFファイルを作る .....	星子 奈美	10

## 【図 書 館 紹 介】

北九州学術研究都市学術情報センター .....	14
保健医療経営大学情報メディアセンター図書館 .....	16

【加盟館ニュース】 .....	18
-----------------	----

【図書館活動報告】 .....	32
-----------------	----

【事務局報告】 .....	40
---------------	----

【協議会総会記録】 .....	41
-----------------	----

## 【資 料】

九州地区大学図書館協議会会則 .....	55
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則 .....	56
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則 .....	57
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規 .....	61
九州地区大学図書館協議会表彰規程 .....	61
研修会の補助に関する申合せ .....	66
副幹事館の役割 .....	68
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について .....	68
加盟館一覧 .....	70
役員館一覧 .....	74
総会当番館一覧 .....	78



## これからの大学教育と図書館の役割

柴 多 一 雄

今年度も昨年12月に中央図書館を利用する学生との懇談会を実施した。前年度までは学生が緊張しないようにということもあって、懇談会の司会は図書館と関係の深い若い先生にお願いしていたが、今年度はその先生が転出されたこともあり、私が司会をつとめることになった。学生との懇談会は、経済学部分館長をしているときに2度ほどしたことがあった。しかし、中央図書館はいろいろな専門の学部の学生がいて、どのようなことになるかと少し心配していたが、学生たちもリラックスして自由に話をしてくれ、いい雰囲気で行うことができた。

本学では5年前から中央図書館と2つの分館で毎年学生との懇談会を実施している。中央図書館の懇談会は、まず中央図書館のある文教キャンパスのそれぞれの学部で図書館委員会の委員の先生を中心に懇談会を実施してもらい、それを受ける形で各学部から2人ずつ学生に集まってもらって実施している。学生との懇談会はアンケートなどと違って、学生の生の声を直接聞くことができ、疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったことはその場で尋ねたり確認したりすることができるので、学生のニーズや日ごろ感じていることをより深く知ることができる。また、ついではなのだが、図書館のことを直接学生に宣伝できるまたとない機会なので、こちらからもいろいろと積極的に話すようにしている。

これまで本学ではこうした学生懇談会で出された意見を参考にさまざまな改革・改善を行ってきた。開館時間の延長やグループ学習室の設置をはじめ、トイレの改修や閲覧室の机の更新といった多くの予算をとまなうことも、全学の協力を得ながら実現してきた。その結果、入館者数も平成15年度の44万人が平成19年度には55万人と大きく増加した。

これには、一昨年6月に放送大学との合築棟が完成し、カラフルで少しおしゃれな机や椅子を置いて学生が話しながら自由に使えるライブ

ラリーラウンジやパソコンを設置したメディアルームが新しくできたこと、また若い職員が中心となって時期に応じたさまざまな展示企画を行ったり、学生による選書ツアーを実施するなど、学生に図書館や本に興味をもってもらうための企画をいろいろ実施していることも大きく預かっていると思う。

今回の学生懇談会からも、そうした成果がかなり出ていることが感じられた。しかし、図書館の設備や機能それに図書館が提供している情報などについては、まだまだ知られていないことが多いように思われた。たとえば、DVDなどの映像資料の整備状況や図書館のホームページなどはあまり知られていないようだ。学生はとりあえず必要な範囲、自分たちが知っている範囲で図書館を利用し、それなりに満足しているといったところが実情のようである。

図書館についてもっと知ってもらえば、いろんな形での図書館の利用がもっと増えるし、もう少し改善すればさらに快適に図書館を利用してもらえるようになると思われる。土曜日など学内の食堂が営業していないときに館内で食事ができるようにしてほしいといった意見などはもっと真剣に検討をする必要があるだろう。館内の案内などももう少しわかりやすく工夫をしたほうがよいようだ。図書館がもっと利用されるようになるには、さらに努力をしていく必要があるように思われる。

しかし、その一方でいかに図書館の利用環境を整備しても、学生たちは本当に必要にせまられなければ、図書館を利用しないであろうということも、今回の懇談会から受けた率直な感想であった。今回懇談会に参加してくれた学生は、みなそれなりによく図書館を利用している学生であったが、大学にはこのような学生だけでなく、ほとんど図書館を利用しない学生も大勢いる。そうした学生たちにもっと図書館を利用してもらうには、こうした努力とは別にもっと根本的な対策が必要なように思われる。



すでにインターネット検索の拡大によって、学生が情報を得る方法は、図書館で本を読むよりもネット検索の方が多という状況になってきている。また、教員も電子ジャーナルの利用によって図書館へ足を運ぶことが少なくなっている。このため、一部には本当に図書館が必要なのかという疑問の声が出されるようになってきている。

少子化と大学予算の削減が続く、大学はいま極めて厳しい状況におかれている。こうした状況のなかで図書館の利用者の減少がすすめば、図書館の予算や人員の削減にさらに拍車がかかり、施設の老朽化や蔵書の陳腐化によって図書館の魅力が大きく低下し、ますます利用者が減少するという負のスパイラルが起きてしまう。そうなってしまうと、本当に図書館はいらないということになりかねない。

しかし、インターネット検索にしても、まだすべての情報がそれによって得られるようになっていないわけではないし、本学で毎年すべての1年生が受講する教養セミナーでも、学生が提出するレポートのほとんどが、十分に文献を調べることなく、ネット検索で得た情報をただ切り貼りしただけだという指摘もなされている。インターネットの発展によって情報を入手する手段は格段に進歩したが、それによって教育や学習の質が向上したとは必ずしもいえないということであろう。

近年、履修科目の登録上限を設ける大学がふえ、授業日数の確保も厳しく言われるようになってきている。これは、単位の実質化をはかり、卒業時の学生の学力の質を確保することを目的とするものであり、単に履修科目の登録上限を設定すること自体を目的としたものではない。これと同時に授業時間外の学習時間を確保するなど、学生の主体的な学習を促すことが求められているのである。

授業科目の単位については、大学設置基準に「一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし」

と書かれている。2単位の科目であれば、これを習得するのに必要な学習時間は90時間となるが、1コマの授業時間が2時間としても、15回で30時間にしかならず、残りの60時間は授業外での学習が必要な計算になる。授業中での学習時間よりも授業外での自主的な学習の時間の方が多く求められているのである。履修科目の登録上限の趣旨を生かし、単位の実質化をはかるには、学生の主体的な学習を促し、授業時間外での学習がきちっと行われる必要があるのである。

そのためには、教員による組織的な履修指導はもちろんであるが、それと同時に教員と図書館との連携を密にし、学習の場としての図書館をいま以上に整備していく必要がある。本学では、毎年図書館の職員が教員のFDに参加し、図書館の利用方法などを話しているが、こうした活動をさらにおすすすめ、図書館について教員にもっと関心をもってもらうことが必要となってくる。研究のための図書館としてだけでなく、教育のための図書館として、図書館の蔵書がどのようになっているのか、担当科目の図書は十分にそろっているのかなど、図書館についてもっと知ってもらい、教育のためになにができるのかを一緒に考えていくことが必要となるのである。

大学図書館がいま以上に学生に利用されるようになるには、これまで以上に図書館が努力することはもちろんであるが、毎日学生と接する教員に授業時間外の学習の場としての図書館についてもっとよく理解してもらい、学生に図書館の利用を促してもらうことが必要であり、図書館もそれに十分にこたえることができるようにならなければいけない。あたりまえのことだが、大学図書館は学生と教員のためのものであり、学生と教員に支えられ、利用されることによってしか発展することはできないのである。

しばた かずお  
(長崎大学附属図書館長)

## 琉球大学図書館における教養教育支援の取り組み

—読書論文コンクール実施、琉球大学びぶりお文学賞の創設—

松原敏夫

## はじめに

琉球大学附属図書館は教養教育支援の一環として、教員から学生に読んで欲しい基本図書として推薦された図書を「教養図書」と位置づけ、それを特別コレクション化して、館内に教養図書コーナーを設置して配架している。その配架場所は、学生がもっとも目につけやすい図書館カウンターの前情報ラウンジという場所であり、情報ラウンジスペースの半分を当てている。このことは本学が、教養教育に力をいれていることの一端を表していることでもある。教養図書については他の大学図書館も力をいれているところであると思われるが、ここでは琉球大学図書館が、これまで行ってきた教養教育支援から生まれた事業への取り組みを紹介したい。

## 教養図書コーナーの設置

琉大図書館では平成13年度に本格的に教養図書整備の取り組みを始めた。次は、その呼びかけ文である。

## 「基本図書100選」について

附属図書館では、「基本図書100選」を企画しています。中央教育審議会は2000年12月の文部大臣に対する答申『新しい時代における教養教育の在り方について』のなかで、この「歴史的な転換期・変革期における混迷」を乗り越え、我が国の社会及び個人が「より確かな存立基盤を打ち立て」るための原動力として「教養」の意義を説き、大学において「教養教育の意義を再認識」することの必要性を説いています。本学においては将来計画のなかで「教養に富み国際性豊かな人材育成」をメイン・テーマのひとつに掲げ、全学をあげてこの問題に取り組んでいます。

図書館は自学自習の場として、読書をとおり学生の幅広い教養をフォローアップする目的で、これまでも教養図書の充実を図るとも

に、教官の推薦図書を「読書案内」として、ホームページで紹介するなどしてきましたが、十分にその成果が達せられたとはいえない現状です。先の答申においても、高等教育段階で「専門分野にとらわれず幅広い分野の古今東西の名著に親しむ」ことの重要性がうたわれているところです。本企画は、読書によって学生の教養を高め、現代の社会にふさわしい人間性を磨くことを目的とし、教官の協力のもとに沖縄・環境・平和・国際化をはじめとする幅広い分野から、基本的な教養に資する図書100点を選び、図書館本館2階ラウンジ及び医学部分館の専用コーナーに設置し、広く周知に努め、その利用を促進するものです。

現在、本企画は、各学部をとおり教官に推薦図書の依頼を行っているところです。10月末に各学部からの回答をまとめ、本年中には基本図書として100点を選定し、公表する予定です。100選の内容については本誌でも紹介することになっていきますのでご期待ください。」

(琉球大学附属図書館報「びぶりお」Vol. 34 No. 4 October 2001)

このころまで本学の学生用図書の購入にあたっては図書館予算の学生用図書費が確定してから、年に2回、全学の教員へ選書依頼文書を送付している。そのなかに「学生に読んで欲しい教養図書」を選書することも促している。こうして選書され、購入された教養図書は、通常の学生用図書扱いされ、一般図書として配架されている。これらの図書の読書をすすめるため、一部の図書については、教員に読書推薦文を書いてもらい「読書案内」としてホームページに掲載し、紹介文と請求記号を付すことで所在をわかるような仕掛けをしてきている。

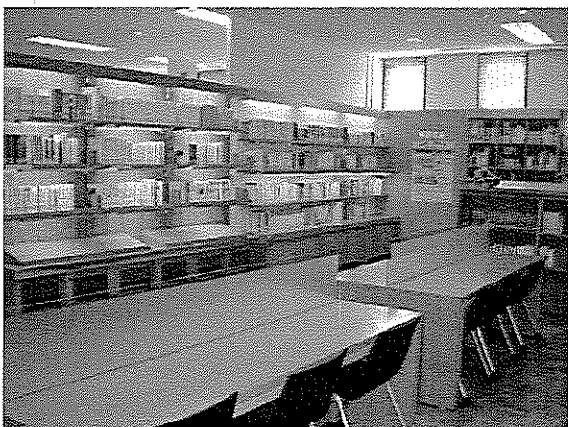
上記の呼びかけは平成12年の中央教育審議会答申に述べられている教養教育の必要性が発端になっており、これを契機に、琉球大学も教養

教育に大学として力を入れることになったが、ここに書かれているとおり、それまで行ってきた方法では、いまひとつ効果をあげていなかった。そこで、教養図書を特別に選書して、配架コーナーを設け、本格的に整備することにしたいということである。

その後、平成14年（2002年）10月には推薦された図書を購入受入したのち予定どおり教養図書コーナーを開設し、学長を招待してオープンセレモニーをおこなった。



教養図書コーナー・オープンセレモニー



教養図書コーナー

当初、この教養図書コーナーに配架された冊数は150冊程度であったが、現在では2,000冊（複本を含む）を超える数となっている。なお、このコーナーの近くには、ビジネス図書コーナーも設置、配架している。ビジネス図書コーナーは学生のビジネス意識や就職意識の啓発を目的にビジネス関係の新刊書を中心に平成18年度に設置したものである。

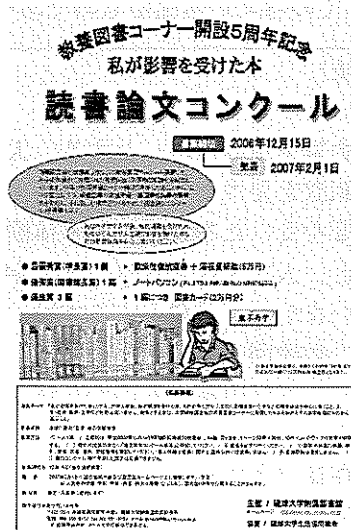
教養教育への取り組みについては、平成16年

度の国立大学法人化に伴い、大学のビジョンを表明する中期目標・中期計画にも下記のような事項を策定して充実を進めている。

「Ⅰ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (3)教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 ○教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策 ⑤教養教育の重要性に鑑み、教養図書の一層の充実を図る。」

### 読書論文コンクールの実施

平成18年には、学生の読書への意欲、教養力の表現を促進する一環として、「読書論文コンクール」を計画・実施した。



宣伝用募集ポスター



選考会風景

このコンクールの実施については教養図書コーナーが設置されたころから取りざたされていたが実現には至っていなかった。平成18年になってちょうど教養図書コーナーが5周年になることから「教養図書コーナー開設5周年記念」というふれこみで、実施することになった。実施にあたっては、教養図書の整備に理解を示していた学長と実施計画等について内容をつめ、賞を設けることとし、最優秀賞（学長賞）1編、優秀賞（館長賞）1編、優良賞3編とし、それぞれ、副賞として、欧米往復航空券（12万円以内）＋滞在費補助5万円、ノートパソコン12万円相当、図書カード2万円とした。当初、最優秀の景品をノートパソコンとしていたが、学長の発案により、最優秀賞は海外旅行とし、優良賞をノートパソコンとした。これは、琉球大学が押しすすめる学生の国際感覚を身につけさせる方法としての考えから出たものであった。

#### 〈応募要領〉

##### ◇募集テーマ

「私が影響を受けた本」とする。大学入学後、知的刺激を受けた本、ものの考え方や人生観に影響を受けた本などの読書体験を中心に書くこと。人文・社会・自然・工学などの分野は問いません。対象とする本は、本学附属図書館の教養図書コーナーに配架したものを始めとする本学所蔵のものから選ぶこと。

##### ◇応募資格

本学に在籍（在学）の学部学生

##### ◇応募方法

一人一編。

原稿は、字数8,000字（400字原稿用紙20枚相当）以内、A4版、ヨコ書き、1ページ33字×30行、10ポイントのワープロ文字で印字する。

原稿の最初の余白に「読書論文コンクール応募」と明記してください。

題名を必ずつけてください。

原稿の末尾に学部、学科、学年、氏名、住所、電話番号を明記してください。

（個人情報応募に関する連絡以外には使用しません）

応募原稿は返却しません。

他のコンクール等で受賞した論文は応募で

きません。

##### ◇募集締切日

10月31日（当日消印有効）→12月15日へ延期

##### ◇発表

12月5日→2007年2月14日へ変更

図書館掲示板および図書館ホームページ上に発表します。

※入賞者の学部・学科・学年・氏名・論文は館報（びぶりお）、図書館ホームページ等で公表することがあります。

平成18年7月～10月の間募集したが、応募数が少なく、12月15日まで延長した。その結果、最終的に36編の応募があった。当初の募集期間で応募数が少なかったのは、募集開始したのが夏季休業期間に入る前で、周知するには宣伝期間不足、メ切が10月という、休業明けの登録期間等がかちあったこと等が考えられる。選考委員は学内の教員にお願いすることにした。委員は各学部から出してもらい、理事1名（医学）、法文学部2名、教育学部1名、理学部1名、工学部1名、農学部1名、計7名という構成であった。応募原稿の名前を伏してコピーして、選考委員に送付して前もって読んでもらい選考会を2回開催し、点数をつけながら審議した。結果、最優秀賞（学長賞）は工学部4年次、優秀賞は医学部2年次、優良賞は法文学部3年次、教育学部4年次、医学部2名（1年次、2年次）の学生が選ばれ、平成19年2月14日に発表した。発表は本人通知、図書館内掲示、ホームページ掲載で行った。授賞式は学長室で行い、賞状、副賞授与後、学長、理事、館長、事務部長等との懇談をおこなった。受賞作品は図書館報『びぶりお』と図書館ホームページ(<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp>)に掲載した。

#### 「琉球大学びぶりお文学賞」の創設

読書論文コンクールは、本学開学以来はじめての試みであったが、全学的に好評で、募集期間中、ちょうどJABEE認定申請のための学生支援施設視察があり、途中、図書館の募集ポスターが目にとまり、好評価を得るというプレミアもあったようである。図書館としては、この種のコンクールは隔年おきに行う計画としていた。

しかし、授賞式を終えたころから、読書論文コンクール計画を話し合いするなかで出ていた言語力（読む力、書く力）涵養の重要性、表現力、想像力（創造力）のもっともな発露である文学コンクール実施が話題となり、議論を進めた結果、平成19年度に文学賞を創設、実施する運びになった。本学開学以来、初の文学賞の誕生である。

当初、文芸各部門、小説、詩、短歌、俳句、評論を対象に、と考えたが、小説以外には学生の活動があまり見えてこないため、小説を部門とする文学賞を創設した。文学賞の名称を「琉球大学びぶりの文学賞」とした。名称を「琉球大学文学賞」という案もあったが、主管部局が図書館であることから、館報の「びぶりの」からとって「びぶりの文学賞」とした。選考委員は国文学（沖縄文学）、外国文学、言語教育の専門の教員3名をお願いした。このうち二人の委員は、県内の文学賞の選考委員を経験している方である。

琉球大学はこれまで小説の世界で芥川賞受賞2名、候補1名、ほか文学賞の受賞、詩の部門の受賞、短歌、俳句等で活躍する卒業生が多く、沖縄県内の文化（文学）活動のリーダー的役割を果たしている。彼らは、学生のころから、文芸活動をしていたことがわかっている。これは沖縄という地域が置かれている特殊な事情が反映していると思われる。たとえば、かつて、沖縄が米軍支配下におかれたころ、琉球大学の学生は「琉大文学」という雑誌を発行し、当時の政治、社会、文化状況を感じて文学表現を行い、発表していた。ところが、その発表した内容が反米的という理由で雑誌が発禁処分になったり、学生が退学処分になったりした。これは「第一次琉大事件」として、沖縄の戦後を語るのに必ず出てくるエピソードである。若い感受性に栄養を与え、意識を活性化させ、大学生活で意欲的な精神を涵養することが、その後の地域社会で活躍する人材を輩出する。しかし、往時に比べると、近年の琉大の学生にみるべき活動があまりなく、創造意欲もあまり見えず、沈滞した状況であることは言をまたない。この文学賞コンクールという事業は、教養教育支援、言語教育、表現力の涵養という観点から、沈滞した学生の意欲的な精神、創造精神の覚醒を引

き出すきっかけになりうるもの、と位置づけられる。

#### 「琉球大学びぶりの文学賞」実施計画書

##### 趣 旨

本学が基本目標として掲げる「地域及び広く社会に貢献する人材」「意欲と自己実現力を有する人材」育成の一環として、言語力（読む力、書く力）を向上させ、想像力、表現力、創造力豊かな学生を育成するとともに、文学の啓蒙活動を高め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出する。

##### 応募要領

●ジャンルは小説とする。

##### ●応募資格

本学の学生（大学院生、留学生を含む）。

##### ●応募方法

- ・一人 1編
- ・応募原稿は未発表作品に限る。（同人誌などにすでに発表したものは選考の対象外とする。）
- ・原稿は、A4版横長用紙にタテ書き、1ページ30字×40行、17枚（400字詰め原稿用紙50枚相当）以内。10ポイントのワープロ文字で印字する。
- ・必ず通し番号（ページ番号）を入れて右肩を閉じる。
- ・必ず1枚目にタイトル、氏名を明記する。ペンネームも可。
- ・原稿の末尾に、住所、電話番号、氏名（本名）、学部・学科、学年を付記する。（個人情報応募に関する連絡以外には使用しない）
- ・応募原稿は返却しない。

##### ●入賞作品

受賞者に賞状と下記の副賞をつける。

- ・受賞作1編＝欧米往復航空券（15万円以内）＋滞在費5万円またはノート型パソコン（15万円相当）
- ・佳作3編 ＝ 1編につき図書カード 5

万円分

募集締切

平成19年10月31日

送付先および問い合わせ

琉球大学附属図書館情報サービス課（担当：松原）

〒903-0214 沖縄県西原町字千原1番地

電話 098-895-8697

発表

平成19年11月30日

授賞式

平成19年12月14日

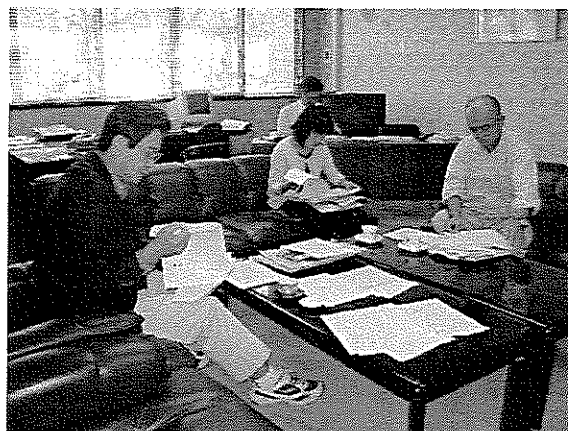
選考委員

仲程昌徳（法文学部教授）、山里勝己（法文学部教授）、村上呂里（教育学部教授）

受賞作品は、図書館報「びぶりお」と図書館ホームページに掲載する。

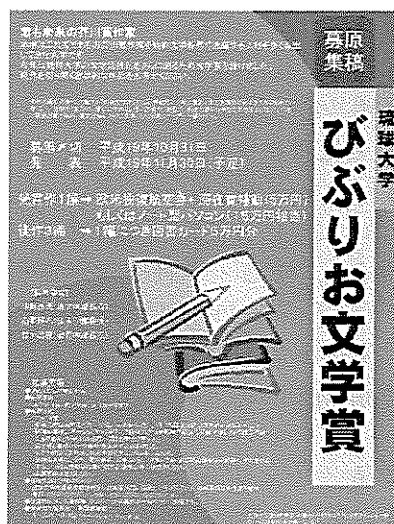
事業の主管部局

附属図書館



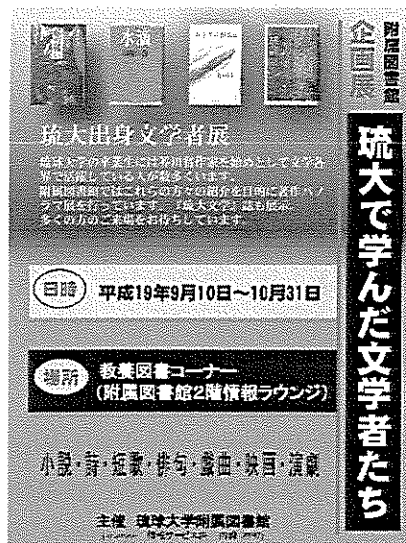
選考会風景

創設された「琉球大学びぶりお文学賞」は企画書（実施計画書）を学長へ報告したのち、第1回募集として平成19年6月から10月31日の間、募集した。募集宣伝にはA1の大型ポスター（館内掲示）、A2ポスター（館内、各学部掲示）、ホームページ掲載、地元新聞社への広報など行った。また、9月10日から10月31日まで琉大出身文学者展「琉大に学んだ文学者たち」という企画展を開催した。これは、本学に現在在学する学生に卒業生の活躍、活動を知ってもらおうと同時に応募意欲を高めることが狙いであった。展示方法は、情報ラウンジ（教養図書コーナー）を利用して、それぞれの著作物を展示して鳥瞰すると同時に手にとって閲覧できる方法をとった。また現在活躍している人の名前、著作物、受賞歴、卒業学部を記載した一覧表を作成して、展示した。展示の内容は、ホームページに掲載したので、開催を知った卒業生が遠くからやってきて興味深く見学するものもいた。なかには自分の著作物が展示されていないので、寄贈を申し込むものもいた。当初、文学賞創設を記念して、琉球大学出身の文学者（作家）を招いて文学シンポジウム開催の話も出たが、準備期間がなく、実現にいたらなかった。

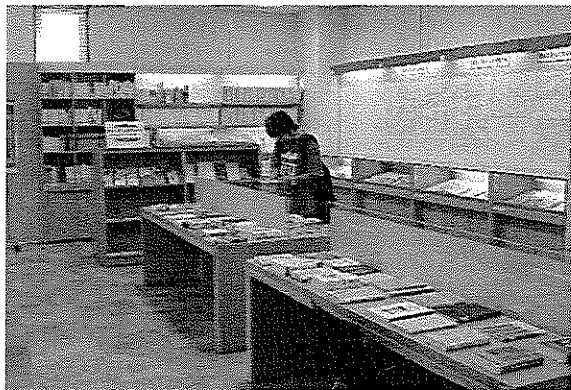


募集ポスター





企画展案内ポスター



展示会場

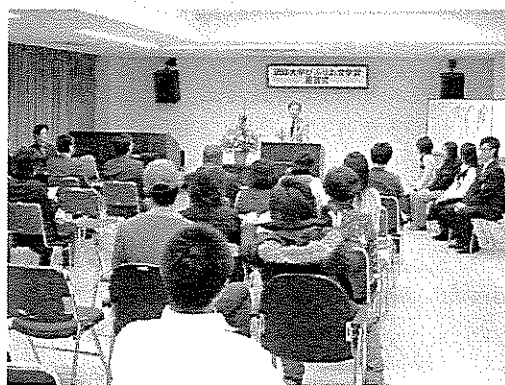
募集期間に応募してきた作品は31編であった。琉球大学の規模で31編の応募ということは特筆すべき事である。沖縄県内の新聞社が主催し一般市民を対象に行う文学賞があるが、応募数はだいたい50～60編程度であるといわれるので、ひとつの大学で学内の学生を対象に行う文学賞への応募数31編は驚きでもあり、学生の関心が高かったということでもある。

その31編についてまず図書館事務部において一次選考して入選候補作11編を選んだ。次に候補作の氏名などの個人情報を見えないようにして複製をとり、各選考委員へ送付して読んで貰った後、選考会に臨んでもらった。選考の方法は各選考委員がまず推薦作5編を出し合い、議論をする。とうぜん推薦作が一致して高得点となる作品もできるが、それが決定的となるわけではない。文章（表現）力、テーマ、構成、展開、

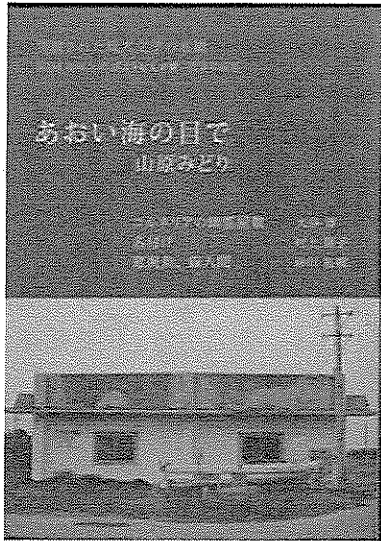
文学性などの観点から審査を行い、その結果、記念すべき第1回受賞作に法文学部3年次、佳作は法文学部2年次、人文社会科学科2年次、工学部4年次の学生が受賞した。さっそく、本人への電話通知、図書館内でのポスター掲示、ホームページ掲載、報道機関への広報を行った。

授賞式は記念すべき第1回目なので、公開式で行った。図書館の多目的ホールを会場に、受賞者、学長、理事、選考委員、図書館運営委員、受賞者の友人、図書館職員の参加の下、12月14日に行った。文学賞の創設および授賞式の模様は、新聞でも報道され、社会の知るところとなった。

受賞作品は、図書館館報「びぶりお」特別号として、冊子体で2,000部発行した。本の題名を「発掘された琉大文学の水脈」とした。編集を図書館職員、装幀を教育学部の美術の教員にお願いして大手出版社に劣らない出版物となった。当初、値段をつけて販売することも計画していたが、県内の出版社へ発行を持ちかけたが、実現にいたらず、図書館経費で発行した。冊子は学内の学生、教職員、県内の大学図書館、公共図書館、高校図書館、琉大出身の文芸活動家、県内の文学者、国会図書館、全国の国立大学図書館、九州地区の大学図書館（私大を含む）、報道機関等に配布した。その内容はホームページでも公開している。（<http://www.lib.u-ryukyuu.ac.jp/prize/2007/sakuhinshu.htm>）



第1回びぶりお文学賞授賞式風景



第1回 琉球大学びぶりお文学賞受賞作品集  
—発掘された琉大文学の水脈—

琉球大学で文学賞を創設して実施したことは、学内外で反響を呼び、有名作家や卒業生からも、賛嘆の声が寄せられた。大学の中期計画の年度計画でも、この文学賞実施をあげ、継続しておこなうことにした。

平成20年度に行った第2回琉球大学びぶりお文学賞も、関心は高く応募作27編が集まった。なかには昨年度に引き続いて応募した学生が数名いた。応募作について、1次選考を行い、候補作10編を選び、最終選考会に回った。今年から一人の選考委員が交代し、新しい委員は米国滞在中であったため、選考会へは、SKYPEを利用したインターネット電話会議での参加となり、高度通信技術を反映した選考会となった。12月5日に選考会、9日に受賞作を発表した。今年の実賞者は、受賞作に医学部4年次、佳作に教育学部2年次、理学部1年次、理学部大学院1年次の学生（院生）がそれぞれ輝いた。

受賞した医学部の学生は、昨年も応募した学生であった。昨年は、受賞作、佳作2名が女性であったが、今年は、4名とも男性であった。授賞式は12月17日に学長室で行った。発表から授賞式まで早い感じがするが、海外旅行を年度内に行う必要があり、日程を考慮すると、早めに

授賞式を行う必要があったためである。

### 課題と展望

本学は、教養教育支援の一環として、「琉球大学びぶりお文学賞」の創設をしたわけだが、この種の事業は、国立大学ではおそらく初めてのことである。日本最南端の沖縄という地域におかれた大学としての役割として、学生の言語力や表現力の涵養、意欲的な、想像力（創造力）豊かな学生を形成する特異な事業として継続していきたいと願っている。

この事業を持続的なものにするためには、実施プロセスの確立が必要である。候補作を絞り出す一次選考は文学にある程度精通する図書館職員が行っている。文学というジャンルのため、それなりに作品を評価するための文学作品に対する知識、素養が必要になってくるので、この職員が代わった場合の、次の人材を確保しておく必要がある。一次選考から、専門の選考委員に委ねることも考えられるが、読む量が多く過重な負担を強いることになるので避けざるを得ない。他の方法も思案しておくことも必要であろう。

この賞を受賞した者のなかには、『琉大文学』のような学生の表現を社会に打ち出す雑誌を発行することを口にする意欲的な学生も出てきている。また昨年度受賞作に輝いた学生は、その後、受賞を契機に、学外の文学賞に積極的に応募して評価を得るなど、活躍し始めている。びぶりお文学賞には、意欲的な学生をつくるという目標があり、その効果があらわれてきているというべきであろう。

現在は、一大学で行っているが、今後は、地域にある大学の教養教育という共通の役割として、一大学の枠をこえて、たとえば、県内の他大学と合同で、県内の大学生を対象に広範に実施することも考えられる。

まつばら・としお  
(琉球大学附属図書館  
情報サービス課沖縄資料グループ)



## 美しいPDFファイルを作る

—機関リポジリのための冊子体電子化手順—

星子奈美

## 1. はじめに

機関リポジリに登録される研究成果物は、すでに電子ファイルが存在するものばかりではなく、冊子体から電子ファイルの作成を行う必要がある場合も多い。「九州大学学術情報リポジリ」では、研究紀要をはじめとする学内刊行物の包括的な登録を推進しているが、刊行年の古い冊子については、冊子をスキャンして電子ファイルに変換するという作業過程を経る。作業量は決して少なくないが、年月を経て傷みの激しい冊子体を、電子ファイルとして新たに生まれ変わらせ、オンライン上で広く利用に供することができるというのは、機関リポジリを運営する大きな意義の一つである。

九州大学では、冊子体の電子化を効率的におこなうため、試行錯誤を重ね、作業手順を整理した。以下にその手順を詳述する。

## 2. 使用機器およびソフトウェア

電子化にあたっては、下記の機器およびソフトウェアを使用している。

スキャナ

DocuScan C4250…裁断した冊子からPDFファイルを作成する際に使用する、コピーとスキャナの複合機である。後述の「ApeosWare Flow Service」と連携している。

plustek OpticBook 3600…冊子を裁断せずにスキャンする場合に使用する。

OCR処理用ソフトウェア

ApeosWare Flow Service…PDFファイルに透明テキストを付与する際に使用する。

画像加工用ソフトウェア

Adobe Photoshop…スキャンした画像を補正する際に使用する。

Adobe Acrobat…複数のPDFファイルの結合や日本語・英語以外のOCR処理の際に利用する。

## 3. 電子化の手順 I : 冊子を裁断する場合

冊子の残部が複数現存しているなどの理由で冊子を解体しても差し支えない場合は、裁断機で背の部分を切り落とし、1枚ごとに分解した後スキャンする。

## ① 裁断作業

裁断機で冊子の背を裁ち落とす。

## ② スキャン作業

裁断した冊子をDocuScan C4250でスキャンする。コピーを取る際と同じ要領で、自動紙送り装置へスキャン原稿を挿入することにより両面スキャンが可能である。機関リポジリ登録の利便性を考慮し、スキャンは1論文単位でおこなっている。

スキャンに際しては、読み取りサイズを自動設定にせず、実寸のページサイズより小さめに指定する。これは、PDFファイルの端に黒線が入ってしまう現象を防ぐためである(図1)。

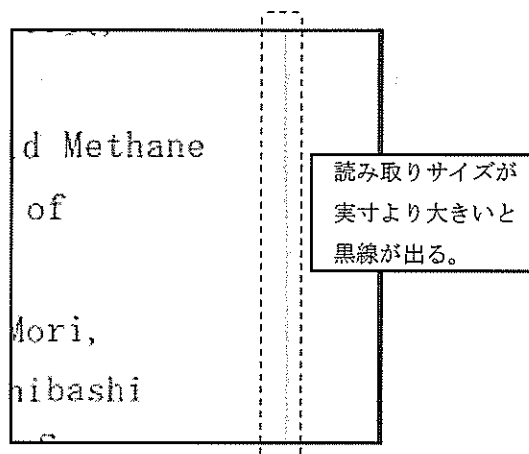


図1 PDFファイルに入った黒線

また、スキャン時のカラーモードはモノクロ2階調、解像度は400dpiを基本とする。原稿にカラーページやモノクロ写真などがある場合は、

フルカラーもしくはグレースケールで該当ページのみをスキャンし、後にAdobe Acrobatでファイルを結合する。

スキャンした画像は、PDFファイルとして、ネットワーク接続したデータストレージに転送・保存される。本学では、「日本語」「英語」「日本語・英語混在」「その他（OCR変換なし）」の4つのデータフォルダを作成し、スキャンする論文の使用言語に応じて、保存先フォルダを指定している。

### ③ OCR処理

ApeosWare Flow Serviceをインストールしたコンピュータ上で、同ソフトウェアを起動すると、データストレージの「日本語」「英語」「日本語・英語混在」のフォルダに保存されたPDFファイルに透明テキストを付与する処理が開始される。

言語別にフォルダを分けるのは、OCRの精度を高めるため、適用する文字認識ルールをフォルダごとに設定しているからである。日本語・英語以外の場合は、ApeosWare Flow Serviceではなく、Adobe Acrobatのテキスト認識機能を用いてOCR処理をおこなうため、スキャンデータの保存時に「その他（OCR変換なし）」のフォルダを選択する。

以上の手順を経て作成されたPDFファイルが、機関リポジトリへ登録される。

## 4. 電子化の手順Ⅱ：冊子を裁断しない場合

冊子の残部がない場合や、冊子を論文著者に返却する必要がある場合は、冊子を裁断せず、plustek OpticBook 3600を用いて1ページずつスキャンした後、Adobe Photoshopを用いてPDFファイルを作成している。

### ① スキャン作業

plustek OpticBook 3600では、図のように冊子を1ページずつスキャンする（図2）。スキャナの角まで画像の読み取り面があるため、ページの中央部分までスキャン可能で、見開きでスキャンした場合に生じるような影ができてにくい。また、冊子を大きく開く必要がないため、冊子に対する負担も少ない。



図2 plustek OpticBook 3600でのスキャン

### ② ファイル加工

#### i. Adobe Photoshop起動

↓

#### ii. カラーモード変更 カラーモードを「モノクロ2階調」から「グレースケール」に変更する。これは、次工程での画像の回転に際し、任意の角度を指定できるようにするためである。

↓

#### iii. 画像の回転 スキャン時に生じた画像の傾きを調整する。画像の回転を何度も繰り返すことは、画質の悪化につながるため、回転角度は一度で確定するのが望ましい。この際に便利なのが「ものさしツール」である。画像が水平になるよう、基準となるライン（枠線など）に合わせて「ものさしツール」で線を引き、メニューから「イメージ」→「キャンバスの回転」→「角度入力」を選択すると、水平にするために必要な回転角度が自動的に測定される。

↓

#### iv. 切り抜き 原稿の文字部分が画像中央に配置されるよう、周囲の余白を一旦切り抜いて削除する（図3-1）。

↓

#### v. 画像サイズ設定 画像のサイズを再設定する。メニューから「イメージ」→「キャンバスサイズ」を選択し、「基準位置」で現在の画像がキャンバスの中心に配置されることを確認する。「幅」および「高さ」に仕上がりサイズを入力し、画

像が冊子の現物と同サイズになるように調整する（図3-2）。

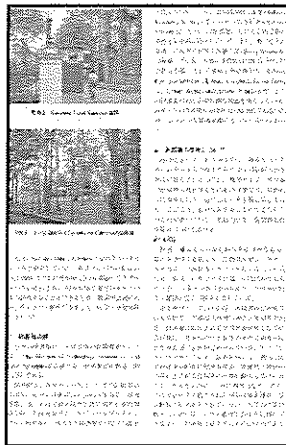


図3-1 周囲の余白を切り抜いた状態

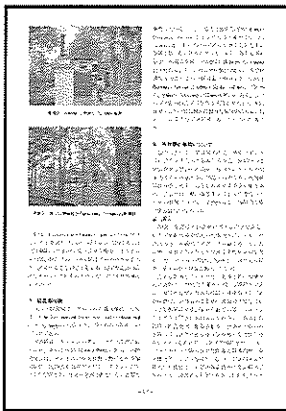


図3-2 画像サイズを再設定した状態

↓  
vi. ゴミ消し 原稿が古い時や、シワが多い時、裏面の印字が写っている時などはゴミが増え、OCR処理の精度に影響する。範囲選択して削除、もしくは消しゴムツールで消していく（図4-1、4-2）。

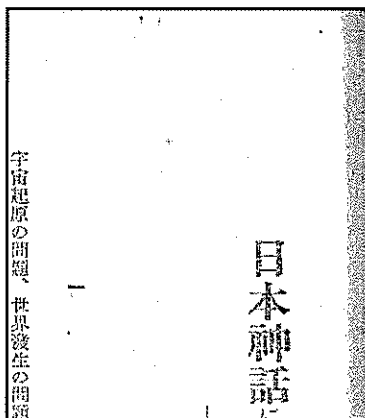


図4-1 ゴミ消し前

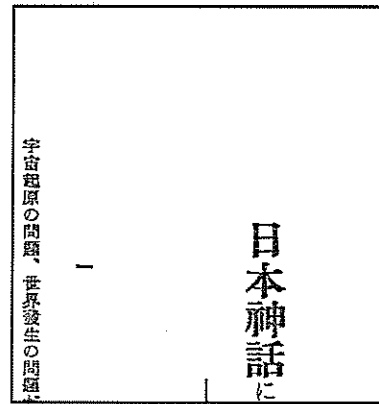


図4-2 ゴミ消し後

↓  
vii. カラーモード変更 「グレースケール」に変更していたカラーモードを「モノクロ2階調」に戻す。

↓  
viii. PDFファイル保存 「ファイル」→「別名で保存」でPDF形式に変換して保存する。

以上の工程で、1ページ分の画像処理が完了するので、各ページ同様に加工していく。同じ工程を繰り返す必要がある場合は、「アクション」機能を利用し、作業手順を記録すると効率が良い。例えば、原稿に汚れが少なく、ゴミ消しの手順が不要な場合には、iv→v→vii→viiiの工程を一連のアクションとして記録しておけば、次回以降はそのアクションを再生するだけで一連の作業が完了する。

### ③ PDFファイルの結合

1ページずつ加工して作成したPDFファイルを論文単位でひとつのファイルにまとめる。Adobe Acrobatのファイル結合機能を利用する。

### ④ OCR処理

以後の手順は、冊子を裁断する場合と同じである。

## 5. おわりに

機関リポジトリにおいて美しいPDFファイルの提供を心がけることは、ファイルをダウンロードして利用する方々の利便性を向上すると同

時に、機関リポジトリの信頼性を高めることになる。そして、信頼度の高い機関リポジトリの運営は、更なる登録促進にもつながると考えられる。今後も作業手順を逐次見直しながら、質の良いPDFファイルの提供に努めたい。

## 6. 謝 辞

作業手順の整理にあたっては、画像加工の担当スタッフとして従事されていた松嶋寛子氏に多大なご尽力をいただいた。この場を借りて深く感謝申し上げる。

### 【参考】

九州大学学術情報リポジトリ  
<https://qir.kyushu-u.ac.jp/>

DocuScan C4250/C3200 A  
[http://www.fujixerox.co.jp/product/docuscan\\_c4250/](http://www.fujixerox.co.jp/product/docuscan_c4250/)

ApeosWare Flow Service  
[http://www.fujixerox.co.jp/product/aw\\_flow\\_service/](http://www.fujixerox.co.jp/product/aw_flow_service/)

plustek OpticBook 3600  
<http://www.plustek.com/product/book3600.asp>

Adobe Photoshop  
<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/>

Adobe Acrobat  
<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/>

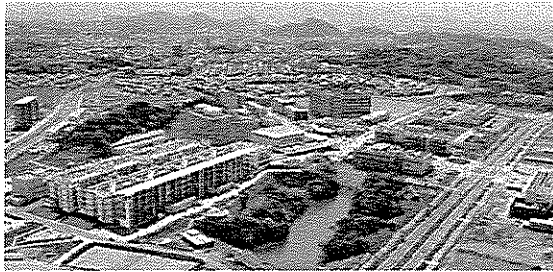
ほしこ なみ  
(九州大学附属図書館)

## 図書館紹介

### 【北九州学術研究都市 学術情報センター】

#### はじめに

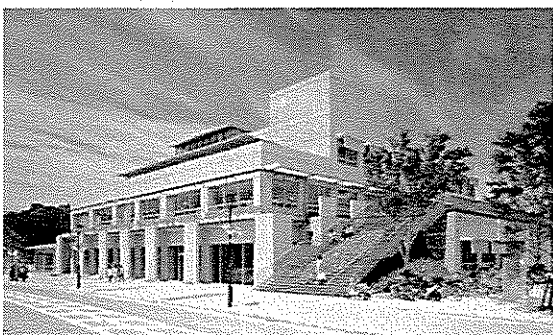
北九州学術研究都市は、アジアの中核的な学術研究拠点を目指し、理工学系の国・公・私立大学<sup>(\*)</sup>や研究機関が同一のキャンパスに集積する斬新な試みにより、2001年(平成13年)4月、北九州市若松区「ひびきの」に創設されました。(※ 北九州市立大学国際環境工学部・II大学院国際環境工学研究科・九州工業大学大学院生命体工学研究科・早稲田大学大学院情報生産システム科・福岡大学大学院工学研究科など)



《北九州学術研究都市》

設立の精神や運営形態の異なる大学・研究機関が、共通の理念と方針に基づき、相互の交流を図りながら、先端科学技術についての教育研究を行うとともに、産学協同研究など産業界とも緊密に連携しつつ、産業技術の高度化や新たな産業の創出を目指しています。

学術情報センターは、学術研究都市の発足時に北九州市が設置した共同利用施設の一つで、キャンパス内の大学・研究機関に、図書館サービスと情報通信基盤サービスを提供する役割を果たしています。



《学術情報センター》

#### 学術情報センター図書室について

当センターの図書室は、大学・研究機関のための「専門図書室」と、市民図書館として開放された「一般図書室」併設の、学術研究都市らしいユニークな図書館施設です。

大学図書館の役割を果たす専門図書室は、その蔵書を、学術研究都市内の各大学が選書・購入した図書の寄託で成り立たせており、理工学分野主体の資料は、大学・研究機関の学生・教職員・研究者が共同利用します。

一般図書室は、公共図書館としての役割を担い、文学・教養・児童書などの蔵書がキャンパス内外の利用に供され、また北九州市の市立図書館(当館を含め全20館)との相互貸借等のサービスも行っています。

大学図書館機能と公共図書館機能の両方を兼ねる関係上、通常はウィークデーも、土日も、開館しています(除く、館内整理月1回、曝書年2回、及び年末年始)。

#### 施設紹介

学術情報センターは3階建てで、図書室は2階・3階にあります。2階の図書室エントランスを入ると、正面に共通の受付カウンターがあり、左手側(2階の半分)が一般図書室、右手側から3階にかけて専門図書室となります。

専門図書室は、入口にICカード対応の入館ゲートがあり、学研都市内の登録ユーザはキャンパスカードと呼ばれるカードをかざして入室します。



《図書室カウンターまわり》

◆ 施設概要

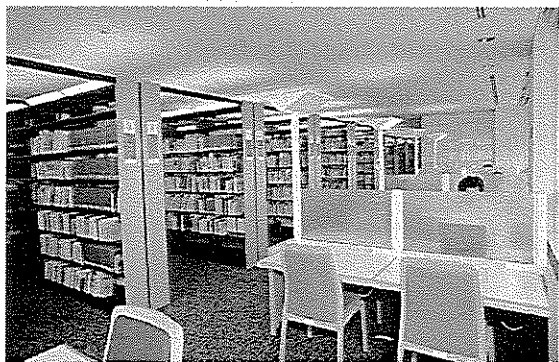
	専門図書室	一般図書室
面積	1,848㎡	
蔵書数	約83,000冊	約42,000冊
雑誌タイトル (平成20年度)	341誌	38誌
閲覧席	279席	52席
情報コンセント	217口	なし
蔵書検索・ 情報検索席	22席	2席
AVブース	6席	2席

専門図書室の閲覧席の多くは「情報コンセント」と称するキャンパスLAN接続端を備え、登録ユーザは持ち込んだパソコンを接続し、認証を経て、インターネット等による情報検索を利用できます。

2階専門図書室はレファレンス資料・定期刊行物・視聴覚資料のフロアです。視聴覚資料コーナーには教育用のビデオテープ・DVD(約800本)があり、AVブースでの館内閲覧ができます。

専門図書室の貸出・返却手続きは、カウンター横に自動貸出返却機を設置しており、利用者はキャンパスカードの情報により自分で手続きができます。

3階は図書のフロアであり、和書・洋書別にNDCにより配架されているほか、中国・韓国出版の図書なども所蔵されています。3階にあるグループ閲覧室は、キャンパス内ユーザがグループで討議したりパソコン利用することのできるスペースです。



《専門図書室》

集密書庫は3階の奥にあり、電動書架2連を備えて、製本済みの雑誌バックナンバーなどを収蔵しています。

学術情報センター図書室の開館時間は、通常

9時から20時までですが、キャンパス内ユーザについては専門図書室の時間外利用(早朝8時から、及び夜間24時まで)を可能としています。

一般市民の専門図書室利用については、一定の条件でこれを許容しています。従来より、閲覧に限って(カウンターで記帳後)高校生以下を除き入室を認めていましたが、貸出要望の声や、地域への貢献を考慮し、今年度より、一般市民への貸出を試行開始したところです。

関連施設

学術情報センターの1階及び2階(の一部)は、情報通信基盤関連の施設です。

キャンパスネットワークや内線電話網を運用するネットワーク管理センター、ビデオ教材などの制作・編集に利用されるコンテンツ制作室とスタジオ、各生徒用コンピュータが完備しCADや語学の授業に使用される講義室・CAI室、国内外の遠方と簡単にテレビ会議ができる設備を常設する遠隔会議室などがあり、図書館機能ともども、学研都市の学術・研究活動をサポートしています。

◆ 利用案内

《開館時間》

	専門図書室	一般図書室
通常の開館	9:00-20:00	9:00-20:00 (貸出は19:00まで)
時間外利用 (*)	8:00-9:00& 20:00-24:00	

(\* 内部ユーザに限る、概ね授業期間中の平日のみ)

《休館日》

- ・館内整理日：ほぼ月1回(市中央図書館と連動)
- ・特別整理期間：9月・2月(それぞれ約1週間)
- ・年末年始：12月28日～1月3日

《利用できる人》

専門図書室	一般図書室
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学研都市内の大学、研究機関、企業に所属し利用登録された内部ユーザ。</li> <li>・専門図書資料所蔵元大学の他キャンパス在籍者で利用を希望し登録された準内部ユーザ。</li> <li>・当日記帳し入室する来館者(閲覧のみ)、及び貸出利用を希望し登録された市民(試行中)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧は、市民に開放。</li> <li>・貸出は、市立図書館の規則に同じ(市内又は図書館広域利用市町村内に居住している人、及び市内に通学・通勤している人に対し市立図書館カード発行)。</li> </ul>

## 【保健医療経営大学情報メディアセンター図書館】

### はじめに

保健医療経営大学は平成20年4月に福岡県みやま市に開学いたしました。保健医療経営学部保健医療経営学科の1学部1学科の単科大学です。

本学は、保健医療の施設経営及び地域経営に関し多様な見地から教育及び研究を行い、豊かな人間性と幅広い視野並びに専門の学術分野の深い知識と技能を備えた人材を育成し、もって、我が国及び世界の人々が高い水準の健康を享有しうる社会の実現並びに地域社会及び世界の健全な発展に貢献することを目的として設立されました。

### 図書館の概要

図書館は、研究室や講義室などがある本館と呼ばれる建物の1階の中庭に面した部分にあります。

全面開架で収容能力は約57,000冊。低書架・高書架の他に、移動書架も開架として設置しています。

### 施設概要

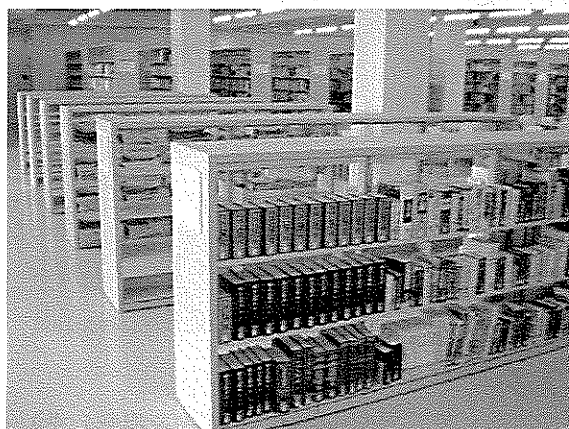
- ・面 積：599㎡
- ・閱 覧 席：108席
- ・AV 席：3席
- ・情報検索コーナー：14台  
(うち、OPAC専用2台)
- ・学 習 室：2室(各6席)
- ・蔵書冊数：11,000冊
- ・雑 誌 数：110誌
- ・BDSシステム

### 館内案内



#### 《エントランス》

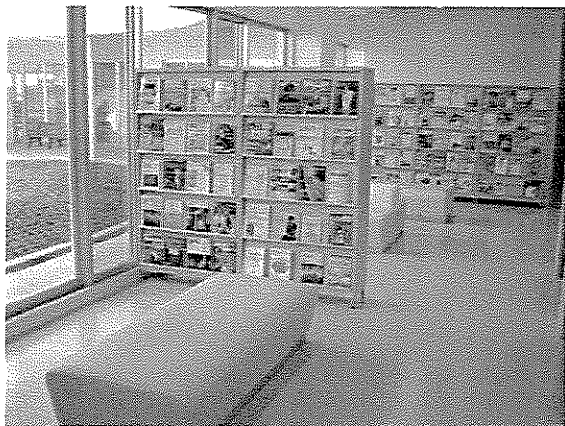
BDSが2通路あり、入館・退館の区別はなく、どちらからも出入りできます。車いすの通行も可能です。



#### 《低書架》

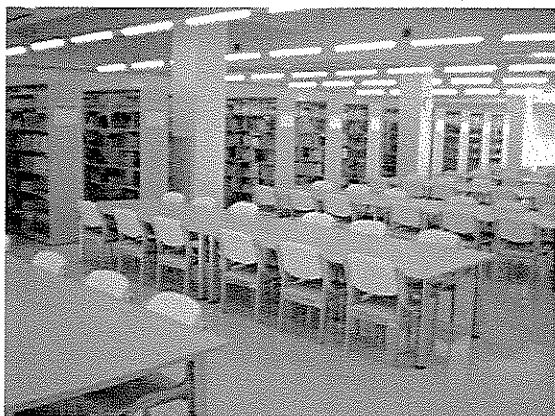
図書館入口に配置しています。レファレンスと新聞のバックナンバーを配架しています。





### 《雑誌架》

中庭に面した場所に雑誌架とソファを配置しています。数が少ないため、和洋、一般・学術の区別なく混配し、アルファベット・五十音に配架しています。



### 《閲覧席と書架》

学生数に対して十分な数の閲覧席を用意しました。また現時点で書庫がないため、閲覧室内に手

動式の移動書架を置き、雑誌のバックナンバーを配架しています。



### 《情報検索コーナー》

本学では「ProQuest」「JSTOR」「日経テレコン」「メディカルオンライン」「聞蔵」「JapanKnowledge」を契約しており、学内のPCで自由に検索できます。

### 利用案内

#### 【開館時間】

通常学期中	9:00~18:00
試験期間中	9:00~20:00
長期休業中	9:00~17:00

#### 【休 館】

土曜日・日曜日・祝日

平日の午後は、市民への公開をしています。  
(閲覧・複写のみ。試験期間を除く。)



## 加盟館ニュース (五十音順)

### 【大分大学学術情報拠点 (図書館／医学図書館)】

#### 1. 医学文献デリバリーサービス開始

大分県内の医療従事者を対象に医学文献の複写サービスを行う「医学文献デリバリーサービス」を平成20年1月より開始した。これは平成18年1月より「図書館友の会 (仮称)」のサービスとして試行していた医学文献・情報の提供サービスを整備し直し、正式サービスとして開始したものである。開始に先立ち、平成19年12月の大分大学学長定例記者会見でもサービス開始についての発表を行った。このサービスの経緯・内容等詳細は医学図書館Vol. 55、No. 3に「大分大学『医学文献デリバリーサービス』による地域貢献への試み」と題し特集記事が掲載されているので御一読ください。

#### 2. 新組織、学術情報拠点の発足

平成18年9月に承認された「大分大学学術情報基盤整備計画報告書」での「学術情報基盤を支える新たな基幹組織として、既存の「附属図書館」と「総合情報処理センター」とを発展的に改組・拡大して、1つの基幹組織「ユビキタス情報基盤センター (仮称)」の設置を構想する。」との提言を受け、設置が進められていた新組織が平成20年4月1日に発足した。新組織の名称は大分大学学術情報拠点 (The Center

for Academic Information & Library Services at Oita University) となり、従来の大分大学附属図書館は学術情報拠点 (図書館)、医学分館は学術情報拠点 (医学図書館) となった。拠点長は副学長であり、CIOを兼務している。今後、学術情報拠点は全学的な学術情報基盤の基幹組織として学術情報の整備・充実とその高度化に努め、図書・学術雑誌等の資料と情報システム及び情報ネットワークを本学の構成員に提供するとともに、地域社会へ大分大学が保有する学術情報資源を提供していくこととしている。

#### 3. 大学開放イベント2008に参加

2008年11月2日(日)に開催された大分大学開放イベントに図書館も参加し、以下のような行事を行った。

- ・一般・娯楽雑誌の無償配布
- ・ボランティアによる読み聞かせ会

図書館児童図書コーナーで絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、腹話術等を午前11:00～11:45、午後14:00～14:45の2回実施した。

当日は天気にも恵まれ、子供40人、大人55人の参加を得て盛況であった。

### 【鹿児島大学附属図書館】

#### 開館時間の延長

今年度より中央図書館の閉館時間 (休業期を除く) を、平日では午後8時から午後9時30分に、土・日曜日では午後5時から午後6時に延長することにより、利便性の向上を図った。平日に関しては、職員が午後6時30分までレファレンスを行うことにより、サービスの拡充を図った。

教育学部から、休業期である9月の教育実習期間中の時間外に中央図書館を利用できるようにしてほしいとの要請があり、9月の開館時間を試行的に通常期と同じように変更した。

その結果、9月の中央図書館の利用者数は前年度の10,720名から18,446名へと約70%増加した。

#### 総合案内デスクの設置

中央図書館では6月下旬より休業期を除き、午後1時から午後5時まで3階に総合案内デスクを設置している。窓口担当職員は利用者の問い合わせに応じるだけでなく、1時間おきに館内を巡回し、各階での在館者数の調査を行っている。それにより、館内での盗難抑止、利用状況の把握ができるようになった。

## 学生モニター懇談会の実施

昨年度より学生モニター活動を実施しており、利用者の視点に立ったサービスの改善を行うようにしている。今年度については学生モニター懇談会を、7月4日(金)に桜ヶ丘分館、同月9日(水)に中央図書館、同月10日(木)に水産学部分館で開催した。

## 貴重書展示会・記念講演会を開催

毎年当館所蔵の島津家関連資料「玉里文庫」を中心とした展示会を実施しており、10回目を迎える今年は「薩摩の女性文化―姫君たちの雅

・暮らし―」というテーマで11月11日から16日まで中央図書館において、11月28日から30日まで垂水市において開催した。

このテーマは、NHKの大河ドラマ「篤姫」が放映され、島津家出身で徳川將軍の御台所となった「天璋院」の存在が広く知られることとなり、当時の上流女性の文化に関心が集まっていることを受けて企画されたものであり、必須教養であった「源氏物語」「伊勢物語」といった古典文学のほか、歌道、生花、香道などに関する古典籍を展示した。ほか、鹿児島大学の教員による記念講演を行った。

## 【鹿屋体育大学附属図書館】

### 1. 附属図書館システムの更新

契約期間終了にともない、平成20年2月図書館システム更新を実施した。システムは更新前に引き続きNTTData提供のNalisである。WEBリクエスト機能の充実、携帯通信端末向け情報サービス、学術機関リポジトリ機能が追加された。

### 2. 鹿屋体育大学学術情報リポジトリ公開

学術機関リポジトリ機能を利用し、鹿屋体育大学学術情報リポジトリを公開した。

<http://repo.lib.nifs-k.ac.jp/>

学術研究紀要掲載論文を中心にリポジトリに登録公開している。国立情報学研究所にも索引データを提供し、学術機関リポジトリポータルとの連携も開始した。

今後、収録資料を充実していく予定。教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集にも本システムを通じて論文投稿を行っている。

### 3. シラバスコーナー

2008年度シラバスに記載されている参考図書をもとに、1階閲覧室にシラバスコーナーを設置した。

### 4. 電子資料の充実

電子ジャーナル(Elsevier社ScienceDirect)利用者講習会を開催し利用促進を図った。

### 5. 情報リテラシー支援

授業のなかで、検索実習にかかわる時間帯につき、教員のリクエストに応じて講習および検索支援を行った。

### 6. 試験期間の開館時間延長

平成20年度より、期末試験期間中、土曜、日曜、祝日も午前9時から午後9時までの開館とした。

## 【九州工業大学附属図書館】

### 「学生による選書」を実施

九州工業大学附属図書館では、図書の選定に学生の声を反映させるため、11月27日に「学生選書ツアー」を実施した。

当日は工学部と情報工学部から公募により選ばれた12名の学生が福岡市内の大型書店に赴き、一人6万円程度を目安に書棚からハンディーターミナルを使って購入したい本を選ぶ方法で行われた。参加者の中には、開始時間前から既に

書店で下見をする学生もいて、専門分野の研究に必要な資料をブラウジングするなど大変熱心であった。また、書店で実際に本を手にとることで、ブックリストの情報だけでは得られない新鮮な出会いがあるようであった。

その結果、348冊が選書された。

一方、ツアーには参加できない学生や書店にない本を選びたい学生のために、メールで購入したい本を申し込む「バーチャル選書」も同時

に行われた。こちらの参加者は18名。

受入・整理後は図書館内特設コーナーに配架される予定である。

選書ツアーは学生のニーズに応えた推薦図書を図書館に揃えるという目的だけでなく、選書を通して図書館をより身近に感じ、図書館の更

## 【九州大学附属図書館】

### 1. 電子リソースサービスのさらなる充実に向けて

#### eリソースサービス室発足

4月1日より、新たにeリソースサービス室が発足した。電子リソースを統括的に扱う組織の設置は、国立大学では全国で初めてであり、電子リソースの契約からサービスまでを一貫して行える環境が整った。

#### 「どこでもきゅうと」の試行開始

附属図書館と情報統括本部との協力連携により、9月、利用者の要望が高かった学外からのeリソース利用サービス「どこでもきゅうと」の試行運用を開始した。

これは、情報統括本部に設置したEZProxyサーバを経由して、構成員の認証、eリソース提供元サイトへのアクセスを行うもので、これにより、九州大学の構成員が、自宅・出張先等からも電子ジャーナルやデータベース等を利用できるようになり、利便性が向上した。

### 2. 資料保存に関する取り組みを本格化

附属図書館では、平成20年度から研究開発室に「資料保存に関する調査研究」部門を設け、長年懸案とされていた資料保存への取り組みを本格的に開始した。

5月19日には講師として書籍修復家の岡本幸治氏を招き、資料保存講演会「書籍の修理と保存の技術」を開催した。

講演では、劣化資料の取り扱いや修復の手法についての基本的な説明や、一橋大学メンガー文庫を主とした事例紹介が行われた。ロビーでは、同氏が作成した製本構造見本と文化財保存修復学会で発表したポスター3点のほか、当館から資料保存のための中性紙封筒や書見台等の見本を展示した。講演後の同氏による説明の際

なる利用を促すことにある。参加者のアンケートの回答には「来年も参加したい。この企画は続けてほしい。楽しかった。」という感想があり、今後はさらに充実した企画となるよう努めたい。

には、ポスターの内容や資料の保存と修理の手法について参加者から熱心な質問が多数あった。

九州地区では聞く機会の少ない資料保存をテーマとした講演会であったため、九州・沖縄地区の大学図書館及び福岡県下の公共図書館の職員、また大学教員や学生など100名を超える参加があり、この問題に対する関心の高さが伺われた。

この講演会が好評だったことを受けて、平成20年度国立大学図書館協会地区協会助成事業による企画事業として、12月17日～18日に「資料保存セミナー：学術資料を後世に残すために」と題したセミナーを開催した。

1日目の講演・事例報告では、資料保存研究者で元国立国会図書館副館長の安江明夫氏と書籍修復家の岡本幸治氏による講演と、附属図書館研究開発室員の栗山平氏による事例報告を行い、80名の受講者が先進的な事例に熱心に聞き入った。

2日目の実習では、岡本氏の指導のもと、封筒フォルダーの作り方や無線とじ修理などを行った。20名の参加者はメモを取りながら講師の実演を見学し、その後実際に作業を行うことで理解を深めていた。

### 3. 六本松地区移転に向けた準備を進行中

六本松（旧教養部）図書館が、伊都地区への移転に伴い、平成21年2月で閉館する。この移転に向けて、移転先の施設設備の整備、資料の再配置及び前倒し移転など、着々と準備を進めている。

特に、理系図書館においては、自動書庫の2期工事を実施し収容冊数を40万冊から80万冊に増やしたほか、2-3階部分の増築工事を開始した。21年7月には建物が竣工し、10月にリニューアルオープンの運びである。

#### 4. 機関リポジトリの新たな展開に向けて 九州地区機関リポジトリ・ワークショップを開催

2月21日、九州大学を会場として九州地区国立大学図書館協会及び九州地区国立大学間の連携に係る企画委員会リポジトリ部会の主催により、九州地区機関リポジトリ・ワークショップを開催した。

「文系研究成果の情報発信に向けて」をテーマに、国立情報学研究所・安達淳教授、名古屋大学・伊藤義人附属図書館長ほかによる講演、パネルディスカッション等を行った。100名近い参加者が集い、パネルディスカッションではフロアからも多くの質問や意見が提起され、機関リポジトリによる電子的学術情報流通のあり方について、文系研究者からの積極的な関心と大きな期待が感じられるワークショップとなった。

#### 「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」講習会開催

20年11月、21年1月、「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」と題した事業（NII・CSI委託事業）による講習会を開催した。

受講者は、事業連携する大学をはじめとして学内外から二十数名の参加があり、九州大学附属図書館研究開発室・井上創造准教授ほかの講師陣からhtml言語やPHP言語等を題材にシステムに関する概念や基礎知識を学んだ。各回2日間、講義を受け、演習・発表を行い、次回に向けての宿題も課せられた。密度の高い内容に取り組む、受講者の意欲的な姿が印象的であった。この講習会の様子は教材とともにWEB上でも公開している。

また、12月には、特別編として、筑波大学の駒谷昇一教授を招聘し、システム開発、ソフトウェア開発、プロジェクト管理についての講義と演習を実施、他に類をみない貴重な講習会となった。

#### 5. 展示会・講演会を開催

##### 第49回附属図書館貴重文物展示「中山森彦と仙厓展－博士が集めたコレクション－」

附属図書館では、5月8日から15日まで「中山森彦と仙厓展」を開催した。

九州大学医学部の教授で、美術評論家でもあった中山森彦博士が蒐集し大学に寄贈した仙厓和尚の書画等30点のほか、蔵書や書簡などを展示した。

今回展示した本学の作品は、これまでまとまって公開される機会がほとんどなかったこともあり、これまでの記録を大幅に超える1,012名もの入場があった。

11日には、仙厓芸術研究の第一人者である福岡市博物館学芸員の中山喜一朗氏による講演会を開催した。こちらも178名と会場は満員の盛況で、わかりやすくユーモアに富んだ講演に、来場者は一様に満足した様子だった。

##### 芸術工学分館特別展示会「万能の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチの世界へようこそ」

芸術工学分館では、3月12日～16日、特別展示会「万能の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチの世界へようこそ」を九州大学USI大橋サテライト「LUNETTE」において開催した。

芸術工学分館が所蔵するレオナルド・ダ・ヴィンチ関係の資料を基に、「彫刻」、「建築・都市計画」、「インダストリアル・デザイン」、「デザイン・解剖学」、「絵画」、「鏡文字」の6つのキーワードを用いて、ダ・ヴィンチの活動を紹介。ダ・ヴィンチらしき手（復元模型）の展示、モナリザの3DCGによるバーチャル体験、手稿（レプリカの写し等）の展示、関連資料の閲覧、鏡文字体験、小中学生向けに「逆さヘリコプター」や「モナリザのパズル」など、年齢を問わずダ・ヴィンチに触れる機会を設けた。

5日間の短い開催期間ではあったが、約230名の入場があった。

##### 学術情報セミナー「学術コンテンツのトレンドと高まるマネジメントニーズ」開催

6月30日に、附属図書館において「学術コンテンツのトレンドと高まるマネジメントニーズ」と題した学術情報セミナーを開催した。

ProQuest日本支社の小島氏による講演、当館職員による次世代OPAC・どこでもきゅうと（リモートアクセス）に関する事例報告のほか、出版社からの製品紹介が行われた。

当日は大阪大学附属図書館とテレビ会議システムによる中継も行った。

学術講演会「多様化する図書館活動：クイーンズランド工科大学、ソウル大学校及び九州大学の取組みから」開催

附属図書館では2月4日、学術講演会「多様化する図書館活動：クイーンズランド工科大学、ソウル大学校及び九州大学の取組みから」を開催した。

## 【熊本大学附属図書館】

### 1. 学生自身による図書選書の実施

本年度から、図書選書員（学生）による学生用図書の選書を本格実施した。この取組は、学生用図書を学生の視点でより充実させることを目的に図書選書員を公募し、選書リストを作成してもらう方式により、昨年度の試行を踏まえ実施した。この方式は、選書に協力してくれる学生が、自分の都合の良い時間に選書に取り組むことができ、書店の店頭にないような専門書や洋書も時間をかけて選書できる上、周りの意見も取り入れながら選書できるため、選書した学生にも好評であった。

### 2. 「東光原文学賞」を創設

本年度、学生の読書への関心を大いに喚起し、また、創作という能動的な知的活動の機会を提供すること等を目的に、「東光原文学賞」を創設した。ジャンルを短編小説として、本学の学生を対象に10月31日まで募集を行った結果、29編という大方の予想を上まわる応募があった。学内外の審査員による選考の結果、大賞1編、優秀賞2編を決定し、1月16日に表彰式を行った。

### 3. パソコンコーナーにエアコンを設置

昨年度整備したパソコンコーナーに、利用環境の整備を図るため本年度エアコンを設置した。パソコンコーナーはAV機器の発熱等により高温となるため、利用者から空調設備設置の要望もあったことから設置した。

### 4. 貴重資料展・公開講演会を開催

第25回貴重資料展を10月30日から11月1日まで中央館において開催した。今回は、世界最古の長編小説であると言われている「源氏物語」

電子リソースの充実と普及、機関リポジトリを始めとする学術情報発信機能の強化、教育活動との密接な連携等、大学図書館における役割や業務の多様化をテーマに、海外の大学図書館職員や当館研究開発室員による講演が行われた。

九州地区の大学図書館職員等約40名の参加者が熱心に耳を傾け、活発な質疑応答も行われた。

が記録のうえで確認されてから千年を迎えたことから、テーマを「源氏物語千年の時」として、旧熊本藩主細川家に代々伝わる関連の貴重資料を展示した。また、最終日の11月1日には放送大学熊本学習センター3階講義室において「源氏物語と住吉の姫君」、「永青文庫の源氏物語」と題する公開講演会を実施し、82名の参加者があった。この貴重資料展は昭和59年から毎年開催しているもので、地域住民にも恒例事業として定着している。

### 5. 永青文庫セミナーを開催

第3回永青文庫セミナーを貴重資料展の最終日、11月1日に合わせて実施した。永青文庫は熊本藩主であった細川家に伝わる史資料で、初代細川藤孝（幽齋）以来約300年に及ぶ熊本藩の藩政資料であり、近世史研究上極めて価値の高い史資料である。今回のセミナーでは、「財団法人 永青文庫」の史料専門員でもある川口恭子熊本大学客員教授が、「細川重賢夫人の手紙」と題し、当時、危機的状況であった肥後熊本藩の財政を見事に立て直し、「肥後の鳳凰」と賞された名君「細川重賢」の夫人が夫である「重賢」に宛てた手紙を、歴史的資料としての価値以上に人間的示唆に富む興味深い内容の手紙であったことなどに触れながら時折ユーモアを交えて紹介した。

### 6. 「ラフカディオ・ハーン」ミニ・シンポジウムを開催

熊本大学学術資料調査研究推進室との共催による「アメリカ時代のラフカディオ・ハーン」と題するミニ・シンポジウムを12月11日に中央館2階会議室において開催した。アメリカと西インド諸島で民俗学的視点をもった有能なジャ

ーナリストであったハーンは、このジャーナリスト魂をもって来日し、取材し、多くのすぐれた作品を書き残した。今回のシンポジウムでは、アメリカ時代のハーンに焦点を当て、ジャーナ

リストとして書いた科学記事と民俗学的な視点で作られたクレオール小俚諺集『ゴンボ・ゼーブ』を紹介しながら新たなハーン像を提起した。

## 【佐賀大学附属図書館】

### 1. 読書奨励企画

#### (1) 学生選書委員会

昨年に倣い、公募により学生選書委員会を組織した。委員会は選書ツアーを8月7日と9月22日に実行したが、今年は委員によるポップ作成や資料のディスプレイを行なう際の参考とするため、初回ツアーに福岡市総合図書館の見学を加えた。この他、オンライン選書により店頭での購入が困難な洋書等の選定を行ない、本学の蔵書に加えた。

#### (2) 配架の見直し(本館)

図書館運営委員と学生選書委員からの要望に応え、学生に利用して欲しいシラバス図書や学科推薦図書を集中して配架するため、図書館の正面玄関に近い場所に書架の移設・増設を実施した。既に設置している常設の学生選書コーナーや特設の環境図書コーナーと相まって、来館者の目を引いている。

### 2. 図書館月間

当館では、例年11月を「図書館月間」と称して、市民・学生・教職員の利用を促進するためのイベントを開催している。平成20年度は様々な領域での女性問題の高まりを、文学・歴史・藝術の観点から考察することを目指し、「表現者としての女性たち」というテーマで講演会を、また「みやびな女たち」というテーマで貴重資料の展示を行なった。

#### (1) 講演会

11月13日(木)

◇田村栄子(元佐賀大学教授)

自己表現し始めた女性たち—ワイマール時代の女性像—

◇西村雄一郎(佐賀大学特任教授)

映画にみる、世界史をさわがせた王女たち

11月17日(月)

◇今野厚子(佐賀大学教授)

王朝女流文学の系譜—うたう女・書く女—

◇谷口絹枝(熊本大学非常勤講師)

「女性」と「表現」の力学—近現代文学の場から—

11月20日(木)

◇吉住磨子(佐賀大学准教授)

Art his-storyのなかの女性画家たち—イタリア中世からバロックを中心として

◇細川 章(多久古文書の村事務局長)

オランダに渡った遊女

#### (2) 資料展示

11月17日(月)～11月21日(金)

市場直次郎コレクションから「墨蘭図」等の扇面を館内展示した。

### 3. Webページ改良

情報量が増えると共に階層が深くなり、利用・管理の両面に不都合が生じてきたため、Webページの構成の見直しを実施し、4月から公開を開始した。これまで別であった本館と医学分館のホームページと各々のサービス案内を統合するとともに、トップページに訪問者の利用目的に沿ったメニューを配する等、より使いやすいページを目指した。今後も随時改良を加えてゆく予定である。

## 【筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館】

### 1. 学生図書委員会発足

本学図書館では今年4月、学生図書委員会が

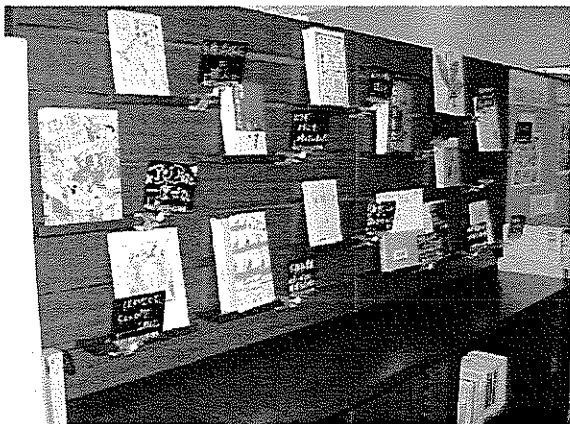
発足しました。これは図書館を学生にとってより身近なものとし、利用の促進をはかることを

意図したものです。各学科1名、定員8名の予定で3月末から4月にかけて学生を対象に委員の募集を行いました。実際の応募者にはやはり学科の偏りがみられました。

初年度の活動は学生の視点に立った選書を主とし、まず図書館備付の書評誌・紙やインターネットを利用して購入図書の予備選定を行ったのち、実際に書店へ赴いて選定する選書ツアーを実施しました。年2回予定していた選書ツアーの第2回目が11月に無事終了したところです。

持続可能な制度を目指して、学生の自主性を重視した運営を旨とし、選書においても余程の問題がない限りは購入を認めることにしております。

購入図書には専用の書架スペースを設け、配架にあたっては学生図書委員に各自が推薦する図書の推薦文（POP）を書かせてディスプレイしました（写真）。



これらが効を奏したのか、学生図書委員の選書図書は驚くほど人気が高く、専用の書架は常

に空に近い状態が続いております。

年2回発行している本学の図書館報“Library News”へも学生図書委員活動の感想を掲載しましたが、委員全員が選書の楽しさと、自分が選んだ図書が他の学生にも多く利用されることへの喜びを語っています。

自主的な運営といっても最初のうちは動きが鈍かったようですが、後期にはいって利用者の手ごたえを感じたことに力を得たのか、新聞「学生図書委員だより」を発行するなど自発的な活動もみられるようになってきました。

今後は学生図書委員を核に図書館を取り巻く学生の輪が少しずつでも広がっていけば、またこれを機に図書に親しむ学生が更に増えていけばと願っているところです。

## 2. 入退館管理システム導入

9月から入退館管理システムを導入しました。

図書館への入館者は学生証または図書館利用者証のバーコードをシステムで読み取ることで認証され入館することができます。

このことにより、これまでは入館者の総数しか判らなかつたものが、学科別、学年別、また時間帯別、曜日別というように各種各様の統計がとれるようになりました。

反面、学生証や図書館利用者証の不携帯により入館を取りやめる利用者が増えるのではないかとという危惧もありました。これについてはシステム稼働からまだ日が浅いため、今の時点では何とも判断が付きません。

## 3. 中学生職場体験の受け入れ

9月10日に宇美南中学校2年生6名の職場体験学習を実施しました。職場体験の受け入れは平成18年1月に続き2回目となります。

参加者は図書館に興味があるという生徒さんばかりで、1日という短い時間ながら、熱心に業務をこなされていました。

大学図書館には図書館としては特殊な部分もあり、また図書館業務では館種を問わず共通の部分もあります。生徒さんの将来の進路選択の一助となるばかりでなく、図書館業務を振り返り整理するよい機会でもありました。

## 【長崎大学附属図書館】

### 1. 「ボードインコレクション」事業を実施

#### ① 「オランダ人の見た幕末の長崎」展

10月3日から20日までの18日間、「オランダ人の見た幕末の長崎～長崎大学所蔵ボードインコレクション展」と題する展覧会を長崎歴史文化博物館において開催した。

本コレクションは、本学医学部の起源である長崎養生所の第2代教頭アントニウス・ボードインが、弟で長崎オランダ領事であったアルベルト・ボードインと協力して、撮影・収集した4冊の写真アルバムであり、オランダで発見され、日本における古写真ブームの火付け役となった古写真コレクションである。

長崎を中心とする写真の複製パネル56点の他に、4冊のアルバムやボードインの講義録「日講紀聞」等の原資料も展示した。オープニングセレモニーでは、ボードインの子孫であり本学にコレクションを譲渡していただいたファン・フーフエン夫人や、ヤン・コップ在大阪・神戸オランダ王国総領事も招き、テープカットを行った。本館が開催する古写真展を毎回待っている多くの市民や長崎を訪れた観光客に好評を博し、期間中4,300人を超える入場があった。

#### ② 「幕末長崎へのまなざし」シンポジウム

上記展覧会2日目の10月4日、長崎歴史文化博物館1階ホールにおいて、国立大学協会が公募した「地方、地域連携等をテーマとする大学改革シンポジウム」のひとつとして、「ボードインコレクション～幕末長崎へのまなざし」を開催した。

シンポジウムでは、齋藤学長（当時）の挨拶に続いて、オランダから招いた日本写真史・外交史の研究者や、オランダにあったボードインコレクションを日本に広く紹介した元新聞記者等5人のパネリストが、ボードインと当時の長崎が日本の外交史や写真史、近代医学教育に果たした重要な役割を紹介した。また、今後における古写真コレクションの活用をテーマとするディスカッションでは、古写真や郷土史の研究者、行政関係者、一般市民等125名の参加者が、熱心に聴き入り、活

発な質疑応答を行った。

#### ③ ボードイン関係の2つのデータベース

・「ボードインコレクション」の古写真527点アルバムや撮影者別に整理している。長崎の風景写真の一部は現在の姿と比較・対照することができる。コレクションには明治初期の肖像写真を集めたアルバムもあるが、皇族・公家、軍人・政治家、外国人に分類している。また、全画像の拡大表示が可能である。検索対象となる解説やキーワードは今後も追加していく予定。

・「ボードイン講義録」等の文献13点

ボードイン関係の所蔵資料13点を全頁電子化した。各頁は文字や図を拡大して閲覧することができる。

これらのデータベースは、上記展覧会にあわせて公開し、会場内に端末を設置して入場者の閲覧に供した。本館の「電子化コレクション」に収録されている。

(参照) <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/search/ecolle/>

### 2. 図書館利用促進のための新企画を実施

#### ① 学生による選書ツアー

附属図書館学生懇談会での「図書館には自分たちが読みたい本がない」という意見に応じて、学生による選書ツアーを実施した。

附属図書館委員会委員の協力のもと、参加希望の学生を募集し、日時を決めて書店に集め、時間（2時間程度）と予算（1人2万円等）の説明をした後、店舗で直接本を選んでもらう。その後、図書館に帰って、自分たちが選んだ本の検討会を行い、購入希望のランク付けと推薦文の作成を行う。購入した本は、館内にコーナーを設けて推薦文とともに展示し、貸し出している。

これまでに、2月27日（大学生協で参加者5名）、7月2日（市内書店で参加者9名）、11月5日（大学生協で参加者7名）の3回実施し、合計250冊の図書を購入した。



## ② 資料展示コーナー

図書の貸し出し促進のために、図書館にある本の中から、時機に応じたテーマのものをピックアップし、図書館員からの紹介コメントをつけて展示するコーナーを設置した。学生の通行が多い、中央図書館2階から新棟への渡り廊下入口の横に展示している。開設にあたっては、ポスターを作成して、館内に掲示し広報した。蔵書検索(OPAC)では所在が「中央館展示コーナー」と表示される。これまでに実施した展示テーマは以下のとおり。

- ・「こんな本もあったんだ～図書館員オススメの本～」
- ・「秋といえば…食欲の秋／読書の秋」
- ・「源氏物語千年紀」
- ・「自分を磨け！～1年の計は元旦にあり～」

## ③ 図書館ブログ「ぶらりらいぶらり」

図書館ホームページの新しいメニューとして、従来の「お知らせ」とは別に、「図書館ブログ」を開設した。

「お知らせ」では迅速で簡潔な情報提供を旨としているのに対し、ブログでは「お知らせ」に載らないような話題やサービスの案内、図書館の日常等を、若手の図書館職員数名でより自由につづり、主査・課長等が目を通したうえで、公開することになっている。図書館にもっと親しみを感じてもらえるように、ぶらりぶらありと「さるく」気分で図書館へ足を運べるような雰囲気を与え、来館利用者を

増やそう、というのが開設の趣旨。

これまでのところでは、選書ツアーや展示コーナー案内等の図書館企画に関するもの、休館や新着図書案内等の図書館サービスに関するもの、また、折々のトピックやニュース等が話題となっている。

(参照) <http://nulib.blog7.fc2.com/>

## 3. 人類の資産として永続的に管理

大学における図書館の位置づけを明確にするために、図書館規則で図書館の目的を新たに規定した。

そのなかで、学術情報を収集し整理・保存して利用に供するという伝統的な機能に加えて、研究開発の要素を反映した「作成」機能を追加した。

また、「学術情報を人類の資産として永続的に管理する」という特徴的な規定を付記した。このことにより、大学が積極的に収集あるいは生産する学術情報や個性豊かな資料を、永続的に管理する学内組織として図書館は存立することを法規的にも明確に位置づけることができた。

「附属図書館は、長崎大学における学習・教育、研究、社会貢献等の諸活動に資するため、図書、雑誌その他必要な学術情報を収集・作成、整理・保存し、利用に供するとともに、学術情報を人類の資産として永続的に管理することを目的とする。」

(長崎大学附属図書館規則第1条の2)

## 【福岡教育大学附属図書館】

### 大学オープンキャンパス協賛「図書館ツアー」

7月26日(土)開催の大学オープンキャンパス行事に合わせ、高校生や保護者に対し、図書館ツアーを実施した。

内容は、毎年新入生向けに行っている図書館ガイダンスに近いものだが、参加者は高校の図書室とは違う大学図書館の規模の大きさに感動していた。中でも、初めて見る明治期の教科書や自分達が小・中学校時代に学んだ教科書等の展示スペースが特に人気を博していた。

### Jr.サイエンス協賛「お話の世界を創ろう」

10月25日(土)大学主催イベントの“Jr.サイエンス&ものづくりin教育大”に参加し、子ども図書室やその前のホールにおいて「お話の世界を創ろう」を統一テーマに対象年齢別に3種類の企画を実施した。

1. 点字のイロハを習って、触る絵本を作ろう！  
(対象…小学校高学年以上)
2. 絵本の読み聞かせに参加しよう！  
(対象…小学校低・中学年)
3. 小麦粉粘土を使って、絵本の題材を作ろう

う！

(対象…小学校低学年以下)

終了後、それぞれの創作品を、子ども図書室前に展示して、参加者で楽しんだ。

### 電子ジャーナルの整備

本学電子ジャーナルの整備については、ほぼ3年間の月日をかけ、附属図書館運営部会、教授会及び役員会等で何度も検討を行った結果、大学全体の事業として、電子ジャーナル等の充実に取り組むこととなり、平成20年度より財政基盤が確立された。これにより、電子ジャーナルの安定的な供給が可能となり、今後、研究支援機能の強化及び学術的効果が十分に期待できる。

### 平日8時30分開館の実施

学生からの要望を受け、これまでの午前9時開館を、10月から午前8時30分開館に変更した。5月から試行を行い、アンケート調査や入館者数調査の結果を検討した結果、本格実施を決定し、規程改正も行った。

## 【福岡女子大学附属図書館】

### 1 企画展示

4か月ごとに各学科持ち回りで図書館所蔵本と関連した企画展示を行っている。平成20年度は生活環境学科企画展示（2008年4月～2008年7月）「山東京伝『小紋雅話』にアイデアソースを求めて（Part1 4-5月、Part2 6-7月）」、英文学科企画展示（2008年8月～2008年11月）「中世ヨーロッパの書物—「写本」から「印刷本」へ—」、人文系（2008年12月～2009年3月）「台湾大学所蔵の図像資料にみる日本植民地期」で企画展示を行った。本学学生はもちろんであるが、特に毎年のオープンキャンパスでは高校生が足をとめて展示物を熱心に見ており、本学の学科紹介の役割も担っている。

### 2 ノート型パソコン貸出開始（学生限定）

館内のパソコン数（閲覧室内5台、ブラウジングルーム5台）には限りがあるため、レポー

### 土・日・休日10時30分開館の試行実施

従来、学内の期末試験中及び試験開始前1週間以外の土・日・休日は午後1時開館だが、今年度は、学生への勉強支援の観点から休暇期間中を除いて、午前10時30分開館の試行を行っている。年間を通じての利用者数の増減及び費用対効果等を十分に検証したうえで、次年度以降について決定する予定である。

### 会議開催

平成20年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 平成20年5月29日(木)



Jr. サイエンス協賛「お話の世界を創ろう」

ト作成等に必要なノート型パソコン4台の貸し出しを開始した（館内専用、ネット接続不可）。学科の中でも国文学科は図書を利用しているレポート課題が多く、「図書館の資料を使ってレポートを書きたいが端末に空きがない。」という声を耳にすることが多かったため、導入後よく利用されている。特に試験期間とその前後は4台のパソコンが1日中貸し出されている状態であり、学生に大変好評である。

### 3 学生図書委員懇談会

（利用者ニーズへの対応）

学部3年の図書委員（約20人）との懇談会を開催し、図書館に対する要望と図書・雑誌・DVDのリクエストを聞いている。図書・DVDの購入に反映させるのはもちろんのこと、今回は娯楽雑誌の入れ替えやDVDブースの配置の変更など、利用者ならではのこまやかな提案が実施され、

学生に喜ばれている。

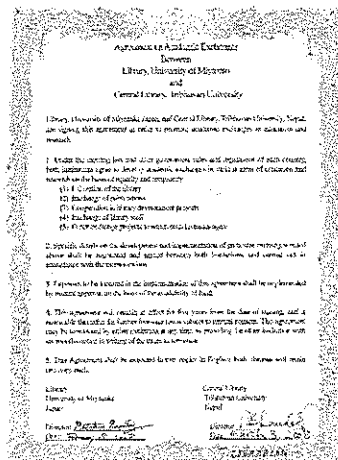
#### 4 グループ学習室

これまで会議室としてのみ利用していた部屋

### 【宮崎大学附属図書館】

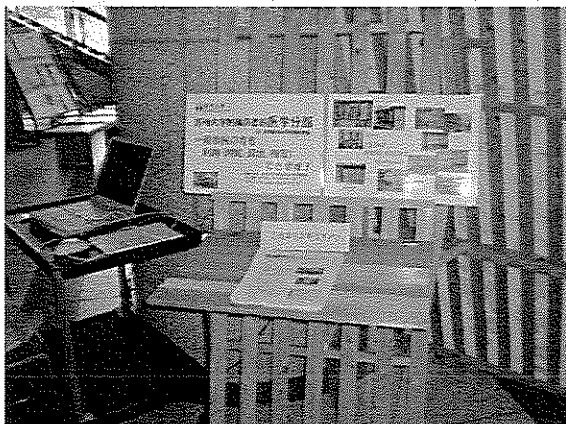
#### 1. 図書館間国際交流協定の締結

平成20年3月にネパール・トリブバン大学中央図書館と宮崎大学附属図書館との間における学術交流に関する協定書を締結し、図書館の利用、刊行物の交換、図書館員の交流、両図書館で合意する交流プロジェクト等を推進することになった。



#### 2. 宮崎県立図書館主催事業に参加

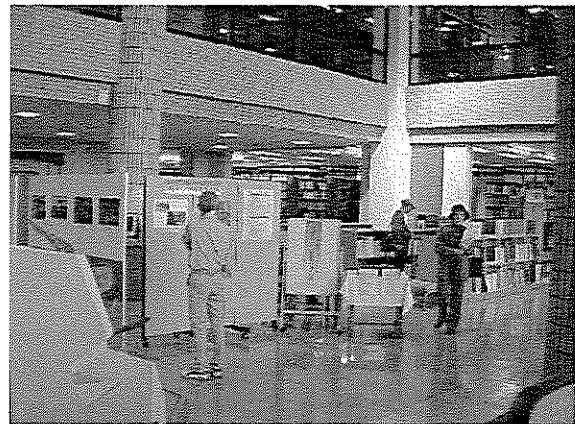
平成20年6月24日～7月6日まで実施された宮崎県立図書館主催事業「健康情報サービス関係展」に、医学分館から出展しパネル及びポスター展示を行った。



を予約制のグループ学習室として学生も使用できるようにした。教職の模擬授業の練習や、学生同士の話し合い・打ち合わせなど多目的に利用されている。

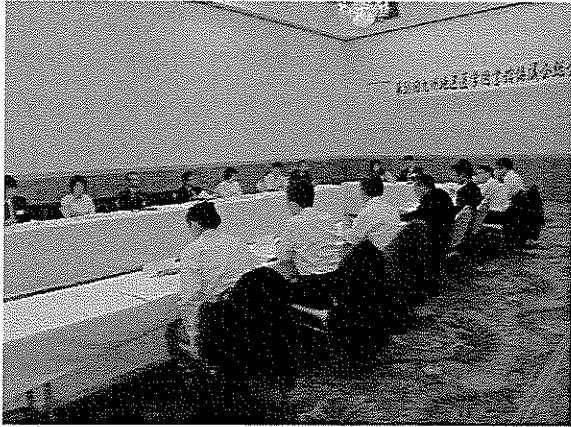
#### 3. 大学開放事業の実施

11月15日(土)・16日(日)に開催された大学開放事業(当日は学生による大学祭も実施された)において、本館及び医学分館で、閲覧室等の開放、「彫刻家 中村晋也」関連資料展等の展示を行った。また、本館において大学の木花キャンパス移転20周年記念パネル写真展が実施され来館者は懐かしげに見入っていた。



#### 4. 九州地区医学図書館協議会総会を本学医学分館の当番で開催

平成20年10月9日(木)に宮崎市において開催した。協議会は九州地区の国・公・私立の医学系大学図書館間の相互の連絡調整を図り、医学と所管業務の適正な管理運営に資することを目的とし、18加盟館で構成されている。今回は56回に当たり、協議事項、承合事項、報告事項等について活発な意見交換がなされた。



### 5. 廃棄図書の学生等への配布

廃棄図書については、他大学等に照会后譲渡し、残りを廃棄しているが、今年度は国際交流協定を締結している大学にも照会を行い、残ったものを学生・教職員等の希望者へ無償配布した。

### 【琉球大学附属図書館】

#### ■EU資料展

5月19日(月)から5月30日(金)までの間、本館2階情報ラウンジにおいて「EU資料展～遠くて近い国 ラトビア～」を開催しました。これは、駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合の友好週間イベント「日・EUフレンドシップウィーク」の一環として企画したもので、欧州連合(EU)に関する理解を深めることが目的です。今回は、EU加盟国の一つであり、昨年3月に在那覇名誉領事館が開設されたラトビア共和国の紹介と併せて開催しました。地元紙にも掲載され、多くの方々に足を運んでもらいました。



### 6. 図書館情報システム更新

平成20年10月に図書館情報システムを、富士通製「iLiswave」から、同「iLiswave-J」へ更新した。新たにMyLibrary、OpenURLによる外部データベースとの連携、e-DDS、携帯OPAC等を導入し、webによる利用者サービスの向上を図っている。

### 7. 図書館webサイトリニューアル

平成20年11月に図書館webサイトをリニューアルした。より使いやすいサイトを目指してナビゲーション機能を向上するとともに、学習支援の一環として「調べものサポート」を新設した。また、CMS(コンテンツマネジメントシステム)を使用することでコンテンツの作成・管理が容易になった。

#### ■企画展コーナーを開設

平成20年5月より新しい試みとして、本館ロビー正面に「企画展コーナー」を開設しました。このコーナーでは、約2か月毎にテーマを変えて、利用者のみなさまへオススメする本等を紹介しています。

- 5～6月「図書館オススメの本～新入生のあなたへ～」
- 7～8月「環境展：みんなで考えてみよう」
- 9～10月「作家にチャレンジ！びぶりお文学賞大募集」
- 11～12月「アートな秋～Okinawan Art～」



### ■講演会「明治大学における『教育の場』としての図書館の積極的利用」の開催

10月10日(金)15時から、琉球大学附属図書館多目的ホールにて上記講演会を開催しました。明治大学図書館では、文部科学省平成19年度特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)に「『教育の場』としての図書館の積極的活用」が採択されており、その取り組み内容について同図書館副館長の広沢絵里子教授と同学術社会連携部の飯澤文夫部長に講演いただきました。講演当日は、琉球大学内外から大学教員、図書館職員、事務職員など64人の参加があり、大学図書館が今後ますます教育の場として活用可能であると確信する機会となりました。



### ■琉球大学附属図書館貴重書展「文献資料に見る琉球・沖縄in豊見城」・学内リバイバル展を開催

琉球大学附属図書館は、毎年、公共図書館と連携して、資料の公開や地域貢献・地域連携の一環として行っている貴重書展を今年は沖縄本島南部にある豊見城市立中央図書館で11月11日から16日の間、開催しました。

展示会テーマは「文献資料に見る琉球・沖縄in豊見城」で、本学所蔵資料の中から開催地に係わる資料、県指定文化財、過去展示したことのないものを中心に選定した26点のほか、共催機関からの展示として豊見城市指定有形文化財2点を加えた総28点の原資料を展示しました。さらに、大正期の沖縄を撮影したガラス版写真のパネル、収集した明治期沖縄の写真アルバムなどをパネル展示しました。期間中、約1100名の方が見学し、その模様は地元のテレビや新聞でも紹介されました。見学者からは「歴史の重みを感じました」「各市町村図書館を巡回して

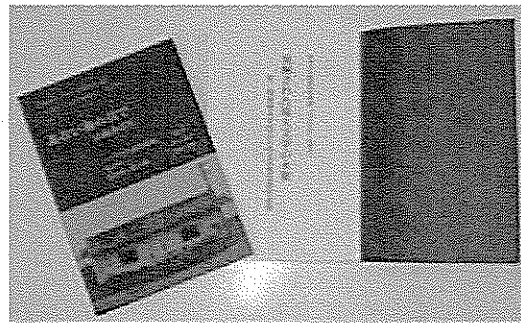
ほしい」といった感想・要望を書いたアンケートが多く寄せられました。

また、同様の展示内容をもとに、リバイバル展「文献資料に見る琉球・沖縄」を12月15日から19日の間、学内(附属図書館多目的ホール)において開催しました。この展示会では初めての試みとして、研究開発室の教員によるギャラリートークが行われ、見学者からは「資料に対して新たな見方を学ぶことが出来て面白かった」などの意見が寄せられ、好評を博しました。



### ■「琉球大学びぶりお文学賞」第1回作品集を発行、つづく第2回を募集

本賞は、本学が基本目標として掲げる「地域及び広く社会に貢献する人材」「意欲と自己実現力を有する人材」育成の一環として、言語力(読む力、書く力)を向上させ、想像力、表現力、創造力豊かな学生を育成するとともに、文学の啓蒙活動を高め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出することを目的に、琉球大学に在学する学生を対象に平成19年度に創設しました。



第1回受賞作品集は、琉球大学附属図書館報「びぶりお」特別号)として冊子体(単行本)で発行するとともに、附属図書館のホームページでも全文を公開しています。

(→<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/prize/2007/bungaku-sho.htm>)

また、平成20年度（第2回）は、10月31日で応募締め切りしましたが、27編の応募があり、

本学学生の関心の高さが表れる結果となりました。応募作品は、学内の教員でつくる選考委員会で慎重に選考され、受賞作1編、佳作3編を選出し、12月9日に発表しました。

## 図 書 館 活 動 報 告

### 福岡県・佐賀県大学図書館協議会

#### 〔総 会〕

日 時：平成20年5月29日(木)

13：30～16：15

場 所：福岡教育大学事務局第1会議室

当番館：福岡教育大学附属図書館

出席者：38館50名

#### 協議事項

- (1) 協議会入会について
- (2) 平成19年度決算報告および監査報告について
- (3) 平成20年度事業計画および予算案について
- (4) 次期理事館および監事館の選出について  
理事館 佐賀大学附属図書館  
監事館 佐賀短期大学附属図書館

(5) 福岡県図書館協会理事の選出について  
地区研究会報告

#### (1) 北部地区

福岡県立大学附属図書館

総務企画班長 鬼丸健二氏

主査 矢崎美香氏

#### (2) 福岡地区

福岡女子大学附属図書館

学生支援班長 松中隆泰氏

#### (3) 南部地区

西九州大学附属図書館

図書課長 飯盛貞明氏

#### 講 演

演 題：古川古松軒の「東遊雑記」について

講 師：福岡教育大学教授 板坂耀子氏

### 長崎県大学図書館協議会

#### 1. 平成20年度総会

期 日：平成20年6月6日(金)

15：00～17：30

場 所：長崎国際大学事務棟2階会議室

出席者：11館16名（他に長崎県公共図書館等

協議会より3名列席）

#### 議 題

- (1) 平成19年度事業報告
- (2) 平成19年度決算報告・監査報告
- (3) 平成20年度事業計画（案）について
- (4) 県内共同大学リポジトリについて
- (5) 平成20年度予算（案）について
- (6) 平成21年度総会会場館について
- (7) 平成20～21年度役員会の改選について
- (8) その他

#### 報告事項

- (1) 日本図書館協会評議会について
- (2) 各館の当面する諸問題について
- (3) その他

#### 2. 研修事業（平成20年1月～12月）

##### (1) 実務研修会①

テーマ：危機・安全管理

日 時：平成20年3月10日(月)

14：00～17：00

会 場：長崎大学附属図書館1階会議室

#### 内 容：

「事例集報告：図書館の安全（危機）管理」

講師：奥山 尚氏（長崎県立長崎図書館）

一瀬智信氏（長崎県立長崎図書館）

「大学図書館における危機管理」

講師：郷原正好氏（長崎大学附属図書館）

「防犯について」及び「さすまた」体験

講師：入江孝則氏（長崎県浦上警察署）

藤澤 巧氏（長崎県浦上警察署）

参加者：23名

##### (2) 学術機関リポジトリ勉強会①

テーマ：学術機関リポジトリの概要

日 時：平成20年9月18日(木)

15：00～17：00

会 場：長崎大学附属図書館1階会議室



内 容：  
「学術機関リポジトリの概要」  
講師：岡村泰子氏（長崎外国語大学）  
「学術機関リポジトリの国内外動向」  
講師：伴 卓士氏（長崎総合科学大学）  
「長崎大学における学術機関リポジトリの運用」  
講師：森石みどり氏（長崎大学）  
参加者：16名

14：00～17：00  
会 場：長崎総合科学大学17号館 2階201  
講義室  
内 容：  
「eBookサービスの導入と電子情報資源管理」及び「洋書の現在」  
講師：田村 淳氏（紀伊国屋書店）  
香川 博氏（紀伊国屋書店）  
参加者：16名

- (3) 公共図書館等協議会との合同実務研修会  
テーマ：長崎市立図書館  
日 時：平成20年9月29日(月)  
13：20～16：30  
場 所：長崎市立図書館多目的ホール  
内 容：  
「長崎市立図書館の概要」及び施設見学  
講師：黒岩秀文氏（長崎市立図書館）  
参加者：76名（大学13名、公共等63名）
- (4) 実務研修会②  
テーマ：海外の出版情報  
日 時：平成20年11月5日(水)

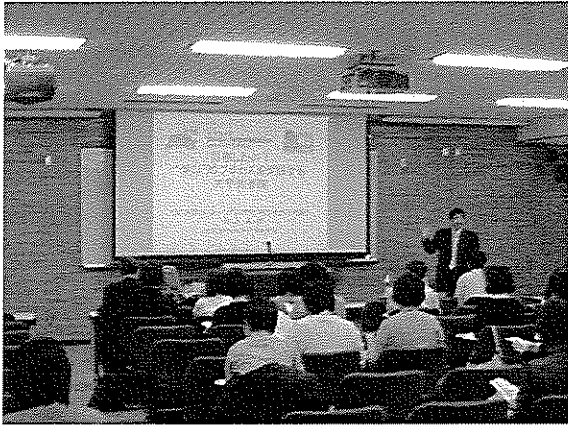
- (5) 学術機関リポジトリ勉強会②  
日 時：平成20年11月18日(火)  
14：00～17：20  
会 場：長崎大学附属図書館1階会議室  
内 容：  
「広島県大学共同リポジトリ（HARP）構築への軌跡」  
講師：西川英治氏（広島経済大学図書館）  
「HARP公開までのあれこれ」  
講師：森保信吾氏（広島工業大学附属図書館）  
上記講演の他にフリーディスカッション  
参加者：18名

### 宮崎県大学図書館協議会

1. 平成20年度宮崎県大学図書館協議会総会  
日 時：平成20年8月25日(月)  
14：00～16：00  
会 場：南九州学園宮崎キャンパス会議室  
出席者：加盟6大学、1高専及び宮崎県立図書館（オブザーバー館）計18名  
議 事  
(1) 平成19年度決算報告及び監査報告  
(2) 平成20年度事業計画及び収支予算  
(3) 協議事項  
① 図書館内での「飲食」について  
② 学生の読書指導の現状について  
(4) 承合事項  
① 「宮崎県大学図書館協議会と宮崎県公共図書館連絡協議会における図書館資料の現物貸借要領」にもとづく実績について  
② 図書館の危機管理マニュアル等の整備状況について

- ③ 資格試験問題集の購入について
2. 平成20年度宮崎県大学図書館職員研修会  
日 時：平成20年10月17日(金)  
10：00～15：00  
会 場：宮崎大学附属図書館視聴覚室  
テーマ：「利用者にとって魅力ある図書館とは」  
参加者：46名  
講 師  
井上真琴氏（財団法人大学コンソーシアム  
京都事務局次長：同志社大学所属）  
講演1  
「目指したい！“学び”のプロセスを支援する大学図書館」  
講演2  
「図書館力で“魅せる”職員のつくり方」





## 鹿児島県大学図書館協議会

### 1. 第29回鹿児島県大学図書館協議会総会

日 時：平成20年5月29日(木)

15:00～17:00

会 場：鹿児島県民交流センター小研修室第2

出席者：11館27名

議 事

- (1) 平成19年度会務報告
- (2) 平成19年度決算報告及び監査報告
- (3) 平成20年度事業計画
- (4) 平成20年度予算審議
- (5) 協議事項  
「鹿児島県図書館大会への参加問題の総括について」

### 2. 平成20年度鹿児島県大学図書館協議会研修会

日 時：平成20年10月24日(金)

10:00～12:00

会 場：鹿児島県立短期大学附属図書館視聴覚室ほか

テーマ：「本の修復」

講 師：有馬純氏（前鹿児島県立図書館奉仕課長）

参加者：20名

### 3. 平成20年度鹿児島県大学図書館協議会講演会（共催 メディア教育開発センター）

日 時：平成20年10月24日(金)

13:30～16:00

会 場：鹿児島県立短期大学附属図書館視聴覚室

テーマ：「著作権セミナー」

講 師：尾崎史郎氏（メディア教育開発センター教授）

参加者：56名

## 沖縄県大学図書館協議会

### 1. 平成20年度（第36回）総会

日 時：平成20年8月5日(火)

会 場：沖縄キリスト教学院チャペル

出席者：37名

議 題

平成19年度事業報告について

平成19年度決算報告および監査報告について

て

平成20年度事業計画（案）および予算（案）について

次期当番館、監査館、および幹事館について

### 2. 講演会・研修会

#### (1) 共催講演会

日 時：平成20年9月19日(金)

13:30～15:00

会 場：沖縄国際大学図書館4階AVホール

演 題：「学校図書館と読書指導－滑川道夫の読書指導論との関連で－」

講 師：大城善盛氏（専門領域：図書館情報学、元同志社大学教授）  
出席者：112名  
主 催：沖縄国際大学図書館

講 師：飯沢文夫氏（明治大学図書館事務長）  
出席者：64名  
主 催：琉球大学附属図書館

(2) 共催講演会

日 時：平成20年10月10日（金）  
15：00～17：00  
会 場：琉球大学附属図書館1階多目的ホール  
テーマ：「明治大学における「教育の場」としての図書館の積極的利用」  
演 題：「これまでの取組と将来への課題」  
講 師：広沢絵里子氏（明治大学図書館副館長・商学部教授）  
演 題：「図書館員の役割」

(3) 研修会

日 時：平成20年12月11日（木）  
14：00～17：00  
会 場：琉球大学附属図書館1階オープンサテライト  
テーマ：「行列のできるレファレンス・デスク！～国立国会図書館とネットを賢く使う～」  
講 師：兼松芳之氏（国立国会図書館主題情報部 参考企画課 課長補佐）  
参加者：36名

平成20年度第38回九州地区国立大学図書館協会総会

日 時：平成20年4月17日（木）  
13：30～17：00  
会 場：ウェルシティ長崎4階「アンジェラス(A)」  
出席者：11館31名  
協議事項

- 1) 今後の電子ジャーナルのあり方について（学術情報流通改革検討WGによる報告案をふまえて）
- 2) 持続可能な機関リポジトリのための人材育成と財政基盤の確保について
- 3) 国立大学図書館職員の採用について
- 4) 九州地区国立大学図書館協会の代表館選出について

- 5) 国立大学図書館協会等の運営について
    - ① 第55回総会のワークショップで扱うテーマについて
    - ② 平成20年度九州地区選出理事候補館の選出について
    - ③ その他
  - 6) 九州地区大学図書館協議会の運営について
    - ① 平成20年度九州地区大学図書館協議会の役員館の選出について
    - ② その他
  - 7) その他
- 承合事項  
外国雑誌整備における意思決定方法

平成20年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：平成20年12月4日（木）  
13：15～14：45  
会 場：九州大学附属図書館会議室（新館4階）  
出席者：10大学10名  
懇談会

・テーマ

1. 第2期中期目標・中期計画期間に向け

- ての諸課題について  
今後の電子ジャーナル購読について  
大学図書館の学習・教育支援についてなど
2. その他

## 平成20年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

- 日 時：平成20年12月4日（木）  
13：15～14：45
- 会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール  
（新館4階）
- 出席者：11大学19名
- 議 事
- ・報 告
  - 1. 国立大学図書館協会理事会報告
  - 2. 九州地区国立大学附属図書館協会実務者連絡会議報告
  - 3. その他
- ・協 議 題
- 1. 平成21年度九州地区国立大学法人等職員採用合同図書系二次専門試験について
  - 2. 今後の電子ジャーナル購読について
  - 3. その他

## 平成20年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課長）会議

- 日 時：平成20年12月4日（木）  
15：00～17：15
- 会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール  
（新館4階）
- 出席者：11大学29名
- 議 事
- ・報 告
  - 1. 館長懇談会報告
  - 2. 事務（部・課）長会議報告
  - 3. 国立大学図書館協会理事会報告
  - 4. その他
- ・協 議 題
- 1. 国立大学図書館協会関係規則等の改正について
  - 2. 「九州地区国立大学図書館協会申し合わせ」の改正について
  - 3. 国立大学図書館協会地区助成事業について
  - 4. 今後の電子ジャーナル購読について
  - 5. 次期中期目標・中期計画の策定について
  - 6. その他

## 平成20年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

### 第1日目

- 日 時：平成20年10月16日（木）  
13：30～17：15
- 場 所：長崎大学附属図書館中央図書館1階会議室
- 出席者：11大学15名
1. 協議事項
- テーマ「学習図書館機能を高める」
- (1) ラーニングコモンズの効果と問題点について
  - (2) 閲覧スペースの多様な使い方について
  - (3) 図書館内における飲食の実態と防止策について
  - (4) 一部フロア24時間化の学習効果と問題点について
2. 承合事項
- (1) 個人利用を前提とした閲覧室以外の設備について
  - (2) 図書館内での飲食について
  - (3) 入館者数の維持・増加と節電対策の両立について
  - (4) 利用者用プリンターの設置状況について
  - (5) 学外利用者の図書館内パソコンの利用について
  - (6) 学習図書館機能を高めるための教員・授業との連携について
  - (7) 過去3年間の入館者数及び貸出冊数の推移について

### 第2日目

- 日 時：平成20年10月17日（金）  
10：00～12：00

場 所：長崎大学附属図書館及び長崎歴史  
文化博物館

1. 施設見学
2. 古写真展見学

**私立大学図書館協会 西地区部会**  
**2008（平成20）年度 第1回九州地区協議会**

開催日時：2008（平成20）年4月17日（木）  
15：00～17：30  
会 場：ロワジュールホテル長崎4階「花鳥風  
月」の間  
出席者：43館78名  
新規加盟館他紹介  
新規加盟予定館 日本赤十字九州国際看護大  
学図書館

**I. 報告事項**

- (1) 九州地区協議会関係
- (2) 九州地区大学図書館協議会関係
- (3) 西地区部会関係
- (4) 私立大学図書館協会関係

**II. 協議事項**

- (1) 九州地区協議会関係
  - ① 西地区部会研究会の本部からの研究発表者発掘について
    - ・2008年度研究発表者として、当初、福岡大学の工藤氏を推薦していたが、発表者が多数でスケジュール等の都合により、辞退することになった。
  - ② 九州地区協議会研究会について
    - ・2008年9月26日（金）に九州国際大学で実施要領（案）に基づき、開催予定である。
    - ・講演については、以下のとおり変更になった。  
長崎大学 長澤多代氏「大学図書館が実施する学習支援に関して」（未定）

- (2) 九州地区大学図書館協議会関係
  - ① 平成20年度九州地区大学図書館協議会の役員校について
    - ・表彰委員館 別府大学
    - ・編集委員館 鹿児島国際大学

**III. 承合事項**

以下の3件の承合事項があり、各提案校より提案理由の説明があった。

なお、各大学の回答については、承合事項回答綴を参照することにし、不明な点は、直接、当該大学に問い合わせることとした。

- ・寄贈資料の受入規程および基準について（鹿児島国際大学）
- ・図書館の地域開放について（志学館大学）
- ・ILL複写依頼、相互貸借業務について（別府大学）

**IV. 確認事項**

- (1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について
- (2) 外国新聞分担保存について
- (3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表（2008年度版）及び同表解説
- (4) 九州地区協議会年度別幹事校
- (5) 本会関係行事・会議等スケジュール

**V. その他**

- (1) 2008（平成20）年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介
- 最後に、加盟各館の現状や各館が抱えている問題点や懸案事項について、議事録に残さない、フリートーキング形式の情報交換をおこなった。

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2008（平成20）年度 第1回定例幹事会

1. 期 日：平成20年5月22日（木）  
13：30～14：15
2. 会 場：九州国際大学図書館会議室
3. 当 番 館：九州国際大学
4. 参 加 者：福岡大学・東海大学・西日本工業大学・福岡歯科大学・立命館アジア太平洋大学・鹿児島純心女子大学・九州国際大学 12名
5. 内 容
  - I. 協議事項
    1. 2008年度九州地区研究会開催（案）について
    2. 本会の未加盟館への入会勧誘について
  - II. 確認事項
    1. 九州地区協議会年度別幹事校について
  - III. 報告事項
    1. 協会賞の申請内容及び選考の経緯について
    2. その他  
西地区部会研究会での発表者発掘についてお願い
3. その他  
私立大学図書館協会ホームページに掲載している各加盟館の変更手続きについて

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2008（平成20）年度 第2回定例幹事会

1. 期 日：平成20年12月19日（金）  
14時00分～15時30分
2. 会 場：名桜大学本部棟第1会議室
3. 当 番 館：名桜大学
4. 参 加 者：福岡大学・九州産業大学・西日本工業大学・福岡歯科大学・立命館アジア太平洋大学・鹿児島純心女子大学・活水女子大学・名桜大学 13名
5. 内 容
  - I. 協議事項
    1. 2008年度九州地区協議会総会の報告について
  2. 2009年度九州地区協議会総会実施計画（案）について
  3. 2008年度九州地区協議会・研究会の会計報告について
  4. 西地区研究会の本会からの研究発表者の発掘について
  5. 2009年度九州地区大学図書館協議会の私立大学部会の表彰委員館・編集委員館の選出について
  6. 私立大学図書館協会役員校・当番校の選出について
  7. その他

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2008（平成20）年度 九州地区研究会

1. 期 日：平成20年9月26日（金）
2. 場 所：九州国際大学図書館KIUホール
3. 幹 事 校：九州国際大学
4. テ ー マ：図書館における利用者支援について
5. 参 加 者：38館58名
6. 内 容
  - 1) 講 演  
演題 「大学図書館が実施する学習・教育活動の支援」  
講師 三重大学高等教育創造開発センター 准教授 長澤多代氏

- 2) 事例発表
- ① テーマ：「レファレンス図書を活用するための試み」  
久留米大学御井図書館 田中 薫氏
- ② テーマ：「ICタグシステムの導入に向けて」  
鹿児島純心女子大学附属図書館 岩永 眞佐子氏
- ③ テーマ：「OPACによる学生の感想の活用」  
尚綱学園図書館 鎌田由佳里氏、角田 裕之氏、上田恵理氏、北口己津子氏
- ④ テーマ：Web検索データを加工、利用した文献リストの作成」  
長崎国際大学図書館 飯島芳典氏

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2008（平成20）年度 九州地区研究会準備委員会

- |                                     |                      |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 期 日：平成19年11月9日(金)<br>13:30～15:20 | 4. 内 容<br>協議事項       |
| 2. 会 場：九州国際大学 図書館会議室                | 1) 2007年度九州地区研究会について |
| 3. 参加者：7館11名                        | 2) 2008年度九州地区研究会について |

平成20年度九州地区私立短期大学図書館協議会夏期研修会概要

- |   |  |
|---|--|
| 1. 日 時：平成20年8月29日(金)<br>13:30～17:00   | 講演②  |
| 2. 会 場：精華女子短期大学   | 演題 『図書館を学術情報センターとして機能させるには～ラーニング・コモンズ 学習を支援する図書館』  |
| 3. 参加者：16館22名   | 講師 丸善株式会社教育学術事業本部ソリューションセンター<br>近藤午郎氏  |
| 4. 会 次 第  |  |
| (1) 開 会   |  |
| 会長挨拶 精華女子短期大学附属図書館<br>館長 高橋哲郎   |  |
| (2) 研 修   |  |
| 講演①   |  |
| 演題 『情報活用術（文献検索）の指導について～インターネット時代の情報リテラシー実践指導』   |  |
| 講師 私立短期大学図書館協議会会長 毛利和弘氏<br>(亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館)  |  |
| 学生が、レポートや研究論文を作成する際に欠くことのできない文献検索について具体的な指導方法が示された。また、NDL OPACの機能的な活用方法や各種データベースについて紹介され、有効なレファレンスツール構築の重要性が語られた。さらに、レポート・論文の作成法について段階的に進める方法が語られた。 | 教育或いは大学が直面している課題を明確に捉え、今後の大学の発展のためには、図書館が中心となり学生が意欲的に学習する環境をつくるのが重要であるということから、学習活動全般において図書館が学生を支援する環境づくり「ラーニング・コモンズ」という新しい形態についての情報が紹介された。<br>また、そのような環境改善を実現するために利用したい補助金の活用状況について語られた。 |
|   | (3) 連絡・報告事項その他   |
|   | ① ニュースレター原稿の募集について<br>(近畿大学九州短期大学 平山紀子氏)   |
|   | ② 『短期大学図書館研究』第28号の原稿募集について (精華女子短期大学)  |
|   | ③ アンケートのお願い(精華女子短期大学)  |

## 事務局報告

### 平成20年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成20年12月17日(水)に書面回議により開催の結果、意見等の申し出がなかったため、原案のとおり承認されました。

#### 議 題

##### 1. 平成21年度九州地区大学図書館協議会総会について

次期当番館 琉球大学附属図書館から「平成21年度九州地区大学図書館協議会等実施計画(案)」の提出がありました。日程等内容をご確認ください。

##### 2. 第59回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)について

今年度当番館 長崎大学附属図書館から「第59回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)」の提出がありました。内容をご確認ください。

##### 3. その他

##### ① 九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がございましたらお知らせください。

なお、協議事項等は別途当番大学から照会予定です。

##### ② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、平成21年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長をお願いいたします。

(参 考)

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)  
福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)  
鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)  
沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)  
福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)  
宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)  
筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)  
九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)  
長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)  
熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)  
宮崎県立看護大学

##### ③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

平成21年度は副幹事館を選出いただく年です。各部会で当番館の検討をお願いします。

また、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間(再任は妨げない。)ですので、各部会で当番館の検討を併せてお願いします。

##### ④ 平成22年度の総会は福岡地区の当番で国立大学部会の当番館は九州工業大学に内諾を得ていますので、各部会でも当番館をお決めになるときは考慮していただくようお願いします。

## 第59回九州地区大学図書館協議会総会記録

### 日 程 表

1. 期 日 平成20年4月18日(金)
2. 会 場 ウェルシティ長崎2階「西海ホール」  
〒852-8104 長崎市茂里町3番20号  
TEL 095-845-0860 FAX 095-849-4871  
URL [http://www.kjp.or.jp/hp\\_35/](http://www.kjp.or.jp/hp_35/)
3. 日 程
- 9 : 30 受付開始
- 10 : 00 1. 開 会  
2. 当番館長挨拶  
3. 幹事館長挨拶  
4. 会議日程・配布資料の説明  
5. 議長、副議長の選出  
6. 議長、副議長の挨拶  
7. 新任館長等紹介  
8. 表 彰 式  
9. 新規加入館の承認  
10. 幹事館報告  
11. 平成19年度決算及び監査報告  
12. 平成20年度予算(案)
- 11 : 00 13. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告
- 12 : 00 昼 食
- 13 : 00 14. 講 演  
講師：武蔵野大学図書館長 小西和信  
演題：大学図書館の経営：難問に立ち向かうために
- 14 : 30 15. 協議事項  
16. 承合事項  
17. 次期役員館の選出  
18. 次期当番館の挨拶  
19. 議長、副議長の解任
- 16 : 00 20. 閉 会



出席者名簿 (○は新任者)

【国立大学】

九州工業大学附属図書館

附属図書館長 前田 博  
事務長 ○石丸 克己

福岡教育大学附属図書館

附属図書館長 ○石黒 正紀  
図書館課長 ○古城戸 典子

九州大学附属図書館

附属図書館長 有川 節夫  
事務部長 濱崎 修一  
図書館企画課長 益森 治巳  
コンテンツ整備課長 鈴木 秀樹  
図書館企画課課長補佐 ○江島 香代子

佐賀大学附属図書館

情報図書館課長 瓜生 照久

熊本大学附属図書館

附属図書館長 田口 宏昭  
学術情報部長 ○梅原 眞一  
図書課長 ○永田 正次

大分大学学術情報拠点

学術情報拠点長 ○大嶋 誠  
学術情報課長 飯田 昇平

宮崎大学附属図書館

副館長 原田 隆典  
学術研究協力部副部長 水井 義武  
情報図書館課長 ○大山 貢

鹿児島大学附属図書館

附属図書館長 ○井上 佳朗  
情報管理課長 吉田 英明

鹿屋体育大学附属図書館

附属図書館長 志村 正子  
学術図書情報課長 能勢 明雄

琉球大学附属図書館

附属図書館長 親川 兼勇  
事務部長 金城 孝夫  
情報管理課長 古賀 幸成

長崎大学附属図書館

附属図書館長 柴多 一雄  
学術情報部長 ○片山 淳  
学術情報管理課長 甲斐 重武  
学術情報サービス課長 郷原 正好

出席館 11館 29名

欠席館 なし

【公立大学】

北九州市立大学 学術情報総合センター

学術情報課長 江上 照明  
主査 ○鈴木 吉美

九州歯科大学附属図書館

嘱託職員 大峯 紀美恵

福岡女子大学附属図書館

附属図書館長 ○森 邦昭

長崎県立大学附属図書館

シーボルト校図書課長 吉村 勝徳  
佐世保校図書課長 永松 和人

熊本県立大学学術情報メディアセンター

事務長 田中 彰

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

附属図書館長 凍田 和美  
図書管理グループ主査 ○増本 貴光

大分県立看護科学大学附属図書館

附属図書館長 市瀬 孝道  
副館長 関根 剛  
図書館管理グループリーダー 小野 永子  
非常勤職員 牛島 聡子  
非常勤職員 中野 美佐子

宮崎公立大学附属図書館

事務長補佐 佐伯公博  
主 事 ○小林元気

沖縄県立看護大学附属図書館

附属図書館長 金城芳秀  
主 幹 幸地 哲

宮崎県立看護大学附属図書館

附属図書館長 赤星 誠  
主 査 ○森園 香代子

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

主 査 ○当間 徳雄

鹿児島県立短期大学附属図書館

附属図書館長 朝日 吉太郎

出席館 12館 22名

欠席館 1館

【私立大学】

西日本工業大学図書館

室 長 宗 広 明 則

福岡大学図書館

図書館長 ○平 兮 元 章

事務部長 石 田 積

西南女学院大学図書館

図書館長 ○齋 藤 育 子  
図書館課長 渡 橋 英 子

課 長 中 村 芳比古

課 長 世 戸 英 雄

九州国際大学図書館

図書館室長 甲 斐 富美子

中村学園大学図書館

図書館課長 猿 渡 健 一

図書館係長 今 藤 覚

九州共立大学附属図書館

図書館長 ○成 富 勝  
業務課長 古 賀 進

西南学院大学図書館

事務次長 伊 籐 邦 厚

課長補佐 古 庄 敬 文

九州女子大学・短期大学附属図書館

図書館長 高 橋 昇  
業務課長 松 尾 伸 二

第一薬科大学図書館

図書館長 原 千 高

事務職員 出 口 朋 恵

福岡工業大学附属図書館

主 任 久 我 薫

筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館

図書館課長 ○福 田 千代子

福岡女学院大学図書館

図書館課長補佐 鶴 典 子

福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

図書館長 ○野 口 雅 子

課 長 下 條 瑞 恵

九州産業大学図書館

図書館長 高 橋 公 忠  
事務部長 山 本 正 三  
事務室長 城 戸 武 文

久留米工業大学図書館

図書館長 渡 邊 孝 司

図書館事務室長 萩 尾 文 子

聖マリア学院大学図書館

図書館長 熊 井 昭 彦

久留米大学附属図書館

図書館長 遠山 潤  
 図書課長 熊谷 まゆみ

西九州大学附属図書館

図書館長 酒井 出  
 図書課長 飯盛 貞明

活水女子大学図書館

図書館長 田中 俊廣  
 図書課長 森 茂樹  
 図書課主任 安藝 真由美  
 図書課主任 原 久美

長崎総合科学大学附属図書館

図書係長 山川 邦子

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学

マルチメディア・ライブラリー  
 マルチメディア・ライブラリー事務室長 岡村 泰子

長崎純心大学早坂記念図書館

図書館長 岩下 康夫  
 図書館事務室長 岩崎 由希子

長崎ウエスレヤン大学附属図書館

司書 植松 久子

長崎国際大学図書館

図書館長 正山 征洋  
 課長 飯島 芳典

崇城大学図書館

図書館長 恒松 郁生  
 課長 原 みゆき

九州ルーテル学院大学図書館

司書係長 水谷 江美子

熊本学園大学附属図書館

図書館長 村松 茂美  
 図書館事務次長 加茂田 憲治  
 奉仕課長 津村 秀夫

東海大学附属図書館 熊本・阿蘇図書館

熊本図書館課長 ○下村 隆則  
 熊本図書館課長補佐 板東 弘

九州看護福祉大学附属図書館

附属図書館長 ○佐藤 林正

日本文理大学図書館

係長 小平 正典

立命館アジア太平洋大学ライブラリー

メディア・センター課長 北村 滋朗

別府大学附属図書館

図書館長 ○石井 保廣  
 事務長 吉岡 義信

九州保健福祉大学附属図書館

主任 伊藤 倫子

南九州大学・南九州短期大学図書館

図書館長 佐保 忠智  
 学務部長兼図書課長 中村 稔

鹿児島国際大学附属図書館

図書館長 野中 哲照  
 図書館次長 藤田 淳二

鹿児島純心女子大学附属図書館

図書館長 犬塚 孝明  
 図書課長 森山 学

志學館大学図書館

図書館長 ○長瀬 二三男  
 図書係長 木佐木 和代

沖縄国際大学図書館

図書館長 ○照屋 寛之  
 図書館次長 門口 政秀

沖縄キリスト教学院図書館

図書館長 ○仲地 弘善

名桜大学附属図書館

図書館長  
参与  
係長

○高宮城繁  
又吉純  
市原修

出席館 40館 72名

欠席館 5館

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館

図書館長  
図書館課長

山田千秋  
小林由憲

鹿児島女子短期大学附属図書館

図書館係長 濱田みゆき

九州大谷短期大学図書館

司書

溝田イミ子

鹿児島純心女子短期大学図書館

図書館課長 西真知子

東九州短期大学図書館

司書

釘丸知子

出席館 5館 6名

欠席館 3館

## 第59回九州地区大学図書館協議会総会議事要録

### 1. 開 会

当番館の長崎大学附属図書館 甲斐学術情報管理課長より、開会宣言があった。

### 2. 当番館長挨拶

当番館である長崎大学附属図書館 柴多館長より、挨拶があった。

### 3. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館 有川館長より、挨拶があった。

### 4. 会議日程・配布資料の説明

甲斐学術情報管理課長より、日程説明、配布資料、正誤表および追加の資料について説明があった。

### 5. 議長の選出、挨拶

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第2項に基づき、当番館長である柴多長崎大学附属図書館長が選出され、続いて挨拶があった。

### 6. 副議長の選出、挨拶

議長より、副幹事館である宮崎県立看護大学附属図書館の赤星館長が副議長として指名され、承認された。続いて挨拶があった。

### 7. 新任館長等紹介

今年度は新任者多数のため、資料1の出席者名簿に基づき、確認のみ行われた。また、正誤表に基づき、資料に訂正があることが伝えられた。

### 8. 表彰式

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」に基づき、19名が表彰された。被表彰者を代表して、活水女子大学図書館の原久美氏へ、表彰状が授与された。

#### (1) 勤続期間20年以上の者で退職した者（表彰規程第2条第2項）

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2号	九州大学附属図書館	穴見 一博
2	〃	〃	木村 由美子
3	〃	〃	原田 紀子
4	〃	〃	渡辺 龍之助
5	〃	長崎大学附属図書館	塩塚 一枝
6	〃	〃	峯 洋子
7	〃	福岡教育大学附属図書館	栗山 平

#### (2) 勤続期間20年に達した者（表彰規程第2条第1項）

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1号	活水女子大学図書館	原 久美
2	〃	九州共立大学附属図書館	矢崎 美香
3	〃	九州大学附属図書館	井ノ上 俊哉
4	〃	〃	高田 宏明

	表彰の区分	所属大学名	氏名
5	〃	久留米大学附属図書館	石橋扶佐子
6	〃	佐賀大学附属図書館	浅岡宏信
7	〃	〃	白武由里
8	〃	〃	武広光子
9	〃	〃	宮地芳子
10	〃	西南学院大学図書館	田代二三生
11	〃	〃	古庄敬文
12	〃	長崎大学附属図書館	宮脇英俊

### 9. 新規加入館の承認

議長より、新規加入館の承認にあたっては、「九州地区大学図書館協議会会則」（以下「会則」）及び「九州地区大学図書館協議会入会に関する細則」（以下「細則」）の一部改正について検討する必要がある旨の説明があり、この件についての提案である協議題1について審議が行われた。幹事館より協議題1の提案理由について、「入会申込書を提出した北九州学術研究都市学術情報センターは、大学図書館ではないがそれに準じた施設と考えられるので、「会則」及び「細則」を一部改正して同センターの入会申込に対応したい」との説明があり、質疑応答の後、賛成多数により「会則」及び「細則」の一部改正が承認された。

続いて、資料3に基づき、2件の新規加入館の承認について審議された。北九州市立大学学術情報総合センターより北九州学術研究都市学術情報センターが、聖マリア学院大学図書館より保健医療経営大学情報メディアセンター図書館が紹介され、承認された。続いて、オブザーバーとして参加していた各新規加入館より挨拶があった。

### (休憩)

議長より、配布資料の訂正について説明があった。

### 10. 幹事館報告

幹事館の九州大学より、以下の4点について、報告があった。

- (1) 平成19年度は新規加盟館はなく、長崎県立大学と県立長崎シーボルト大学の統合により、公立大学部会が1減となり、平成20年4月1日現在の加盟館は国立11大学、公立13大学、私立45大学、私立短大8大学の合計77大学である。また、九州東海大学が東海大学に、宮崎女子短期大学が宮崎学園短期大学に名称を変更した。今後も加盟活動を活発に行うので、各部会で広報等の協力をお願いしたい。
- (2) 平成20年3月に『九州地区大学図書館協議会誌第50号』を発行し、加盟館に発送済みである。編集館および原稿を寄せていただいた各大学に感謝の意を表す。
- (3) 平成19年度は協議会として、平成19年7月13日に開催された九州大学主催の九州大学図書館学術情報セミナー「コンテンツバリューとユーザーニーズ」及び、8月27日に開催された福岡アメリカンセンター主催の「米国国立公文書館における機密情報開示政策」の2件を後援した。加盟館開催の各種図書館事業を後援することも、重要な事業であると位置づけている。現在、協議会のメーリングリストを整理中なので、各加盟館で各種事業を開催される際は、メーリングリスト等を活用して欲しい。
- (4) 昨年度の総会でも案内したフレッシュパーソンセミナーを、国立部門の九州地区・

中四国地区で共同開催した。本協議会の事業ではないが、セミナーの参加は国公私問わずであるので、この場を借りて案内する。このセミナーは隔年の開催で、九州地区が担当した平成19年は、九州大学にて9月6日、7日の2日間で開催した。35名の参加があり、九州地区からは国立13名、公立3名、私立・私立短期大学から8名の計24名が参加した。今後も継続予定であり、本協議会の直接事業ではないが、地区の共同研修としてきわめて大きな意味を持つと思うので、積極的に参加して欲しい。

#### 11. 平成19年度決算及び監査報告

幹事館より、資料4の決算案に基づき報告があり、広告掲載料については、協議会誌の発行が遅れたために、入金が3月に間に合ったのは9社のみであり、残り11社分は平成20年度の収入に充てられることが説明された。続いて、監査館である中村学園大学図書館より、監査の結果、収入・支出とも適切な処理がされている旨、報告された。審議の結果、承認された。

#### 12. 平成20年度予算(案)

幹事館より、資料5の予算案に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

#### 13. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告

##### (1) 国立大学部会報告

長崎大学の柴多附属図書館長より、協議事項及び承合事項について、以下の報告があった。

##### 1) 今後の電子ジャーナルのあり方について(学術情報流通改革検討WGによる報告案をふまえて)

電子ジャーナルを取り巻く環境は非常に厳しく、このまま値上がりが続けばいずれ購読モデルが破綻する事態となる。この問題には一大学だけで対応することは不可能であり、国立・公立・私立の枠組を超えて、さらには大学の枠を超えて国全体で対策を考えるべき問題であると確認した。その上で、現在出てきているさまざまな動きや各大学の取り組みにつ

いて情報を共有し、また協力して問題にあたっていくことを確認した。

##### 2) 持続可能な機関リポジトリのための人材育成と財政基盤の確保について

国立情報学研究所のCSI事業により、各大学で機関リポジトリの立ち上げは進んでおり、リポジトリに対する認識も広まっている。しかし、今後各大学が自立してリポジトリを運用していくには、人材面、また財源面で課題がある。九州地区においては、九州大学の取り組みが先行しているため、そのノウハウを提供してもらい、九州地区の各館が協力して機関リポジトリを進めていくことを確認した。

##### 3) 協議事項の3)から6)については提案どおり了承された。

##### 4) その他、統計データの利用と大学図書館経営について意見を交換した。また、学生懇談会を開いて、学生の意見を図書館がどのようにくみとっていかにかについても意見を交換した。

#### (2) 公立大学部会報告

大分県立看護科学大学の市瀬附属図書館長より、以下の報告があった。

13館24名が出席した。

##### 1) 協議事項：公立大学の法人化における図書館の現況と課題について

ほとんどの大学で問題になっているのは資産管理の厳格化と中期計画の立案・達成であった。資産管理には図書館と研究室の蔵書点検が不可欠である。法人化にあたり蔵書点検を行ったところ、問題が多い大学がほとんどであった。

##### 2) 承合事項3件

##### ○ 図書館における安全性について

危機管理マニュアルを作成している大学もあったが、ほとんどの大学は耐震工事を行っている程度であった。不審者への対応としては、防犯カメラを設置している大学が多く、効果的なようであった。

##### ○ 図書館における省エネルギー対策等について

現時点では冷暖房の温度設定による

対策を行っている大学がほとんどであった。例年より暑い・寒いという場合に臨機応変に対応できるように、大学全体として取り組む必要があるという意見が多く出された。

○ 教員の業績収集・保管について

実施している大学もあったが、すべてを収集している大学はなかった。紀要等の電子化に取り組む大学もあり、今後の参考となる意見が多く出た。

3) 最後に役員館の選出を行った。

(3) 私立大学部会報告

活水女子大学の田中図書館長より、以下の報告があった。

52館中、43館78名が出席した。

1) 報告事項 4件

○ 九州地区協議会関係

2007年度は定例幹事会が2回、九州地区研究会準備委員会が1回開催された。その中で、2008年度九州地区研究会の開催案、2008年度九州地区協議会開催案、2008年度九州地区研究会実施に向けての準備案について協議された旨報告があった。

○ 九州地区大学図書館協議会関係

総会開催案について報告が行われた。

○ 西地区部会関係

・2008年度総会は愛知学院大学で開催される予定。

・予算案について報告があった。

・2008年度研究会は広島経済大学で「私立大学図書館の未来」というテーマで開催する予定。

○ 私立大学図書館協会関係

・2008年度の総会・研究大会は国学院大学で開催される予定。

2) 協議事項 2件

○ 九州地区協議会関係

2008年度の九州地区研究会実施要領についての協議が行われた。9月に九州国際大学を会場に行われる研究会の、講演と研究発表などの概要について提案があり、了承された。

○ 九州地区大学図書館協議会関係

表彰委員館を別府大学、編集委員館

を鹿児島国際大学に引き受けてもらうことでも了承された。

3) 承合事項 3件

「寄贈資料の受入規程および基準」

「図書館の地域開放」「ILL複写依頼、相互貸借業務」について、各大学の事例を報告し、情報交換を行った。

4) 確認事項が5件あった。

最後に、各館の現状や、抱えている問題についてフリートーキングで情報交換を行った。

(4) 私立短期大学部会報告

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の山田図書館長より以下の報告があった。

1) 協議事項

○ 会長館に対して支出される補助費の予算金額について

平成20年度の予算案の審議に際して、会長館に対して支出される補助費の予算金額が少ないのではないかという意見が出され、審議の結果、大幅に金額を増やす提案が出され、満場一致で了承された。

2) 研修会

「図書館業務と著作権問題」というテーマで近畿大学九州短期大学附属図書館の平山紀子氏より講演があった。

3) 承合事項 2件

「蔵書点検」および「館内への手荷物持ち込み」について、各大学の事例を報告し、情報交換を行った。蔵書点検については、公認会計士の監査において実施の有無を問われることが多く、重要事項であるという報告があった。

4) 図書館業務における問題点についてフリーディスカッションを行った。契約業者が民事再生法の適用を受けた場合の対応について、寄贈図書の入冊数について、地域開放について、などについて情報交換を行った。

5) 連絡・報告事項

会長館より全国理事会報告が行われた。また平成21年-22年度の幹事館の選出を行った。



ここで、日程では昼食となる予定であったが、時間があつたので、引き続き協議題の審議に入ることとなった。

#### 15-1. 協議題2 『九州地区大学図書館協議会表彰規程』の一部改正について

九州大学の益森図書館企画課長より提案理由について「勤務期間の定義を分かりやすくするため一部改正を行いたい。表彰事業の趣旨を変えるものではない」との説明があり、また具体的に条文の改正部分と、表彰者調書の書式の改正部分の説明があつた。

質問・意見は出なかったため、多数決を取り、賛成多数により改正が承認された。

#### (昼 食)

#### 14. 講 演

「大学図書館の経営：難問に立ち向かうために」 武蔵野大学図書館長 小西和信氏

長崎大学の甲斐学術情報管理課長より、講師の紹介があつたのち、小西氏によるパワーポイントを使った講演があつた。

講演ののち、「図書館長として、人をどう育てるかということについてさらに研究を進めていただき、知見を発表していただきたい」という感想があつた。

#### 15-2. 協議題3 「学生のニーズにあわせた図書館の機能・空間の整備について」

九州大学の濱崎事務部長より提案理由について「大学図書館の重要な機能として学生の学習支援があるが、最近では情報環境の変化や学生の学習スタイルの多様化により、従来型の閲覧サービスだけでは学生のニーズを満たすことはできない。海外ではラーニング・コモンズの整備など新しい動きも見られる。九州大学では講義の前に図書館に立ち寄れるよう午前8時開館、館内にリフレッシュコーナーを設けて飲食可能とする、講義棟の中に図書館と連動した学習スペースを設置する、などの試みを行っている。学生にとって魅力的な図書館となるために、各大学でどのような取り組みを

されているか伺いたい」との説明があり、その後、各大学の事例が紹介された。

#### 【熊本学園大学 津村奉仕課長】

現在、図書館の整備を検討中である。図書館のフロアの改装をして、パソコン端末を100台程度まで増やし、資料を持ち込んで利用できる空間を作ることを計画している。またレファレンスカウンターの近くにも端末を準備し、グループ学習もできるスペースを作ることも計画している。ただ、予算の問題があり、実現するかどうかはわからない。

#### 【長崎大学 郷原学術情報サービス課長】

- ・学生懇談会で出てきた意見を元に、細かいことでも改善をするようにしている。例えばレファレンスデスクの向きを変えて、利用者が職員に声をかけやすいようにした。
- ・図書館案内ビデオを作ったり、新入生オリエンテーションの際、図書館長が学生生活にとっての図書館の重要性を話し、その後具体的にガイダンスをすることで、利用が少しずつ増えているように思う。
- ・学生選書ツアーを試行したところ、学生が選書した図書はよく利用されていることがわかった。
- ・図書館内での飲食は、蓋付きのペットボトルは持ち込み可としている。

#### 【九州産業大学 高橋館長】

「学生支援型図書館」を掲げて機能の充実を図っている。図書館は授業料を払っている学生に対し、与えられた予算をどのように使っているか説明する責任がある。しかし学生支援型というと、各学部の教員からは「研究の軽視」と言われる。教員に対して、時間をかけて取り組みを理解してもらう必要があると思う。

#### 【武蔵野大学図書館長 小西氏】

学生に対して行ったアンケート調査を元に、改善を進めようとしている。学生にとって図書館が魅力ある空間であることと、利用の増加には因果関係があると考える。

#### 【九州工業大学 前田館長】

最近では図書館の資料に、ネットワーク利用を前提とした授業教材(e-learning教材など)が増えている。しかし、利用率が上がらない。教員に対して、学内の委員会等の機会

に、図書館が所蔵しているこれらの教育資源を授業の中でもっと利用してもらえよう、情報を提供することを考えている。

最後に、議長が以下のように総括した。

学習支援の場としての図書館の重要性については共通の理解を得られたと思う。そのような図書館を作り上げていくためには、財政的基盤が必要であり、また全学的に教員の理解と協力を得ることが重要であるとする。

(休憩)

#### 15-3. 協議題4「大学における研究紀要等の電子化に係る大学図書館の関与」

長崎大学の甲斐学術情報管理課長より提案理由について「大学紀要の電子化と機関リポジトリへの搭載が進み、紀要論文が広く社会に利用されるようになってきている。大学図書館は紀要の電子化、メタデータ付与、また著作権処理に関わっており、その役割が評価されている。今後も大学図書館は紀要の電子化に積極的に関わっていくべきであると思うが意見を伺いたい」との説明があった。

議長より、16. 承合事項とも関連すること及び追加資料が1枚ある旨補足があった。

九州女子大学の高橋館長から「NIIの紀要電子化事業に参加して、電子化を行った。紀要の編集委員長が図書館長という事情もあり、教員に対して、教員は著作権は譲渡せず公衆送信権だけ図書館に委託するという説明を行い了承されたので、電子化することができた」との報告があった。また「図書館が行う著作権処理、メタデータの付与とは具体的にはどのような作業か」との質問があり、九州大学の鈴木コンテンツ整備課長より著作権処理とは「著作権の所在を確認し、著作権者から公衆送信権について許諾を得て電子的に送信することである」と回答があった。また甲斐学術情報管理課長より「過去の紀要論文については『一括の告知』という方法があり、学会誌やJST発行誌でこの方法が定着しつつある」との補足説明があった。メタデータの

付与については甲斐学術情報管理課長より「論文にキーワード等を付与し、検索でヒットしやすくすることである」と回答があったが、高橋館長からは「NIIで一括に電子化され、本文情報もNII側に置いてある論文にメタデータを付与するという作業は、小規模大学では困難である」とのコメントがあった。

さらに、事例報告が2件あった。

#### 【佐賀大学 瓜生情報図書館課長】

九州地区の国立大学の共同編集による教育系・文系の論文集を創刊した。①各大学の機関リポジトリを活用した電子出版とし、②レフェリー制度を設けて質の高い論文を出版する、③若手研究者の育成を目的として大学院生による成果物も受け付ける、という事業である。学協会誌、大学発行紀要に続く、新しい研究成果の公開手段と位置づけている。

#### 【別府大学 石井館長】

紀要の電子化をするにあたって、職員だけでは人手が足りないので、大学の司書課程の学生に実習として電子化をさせてみる計画を立てているところである。

最後に、議長が以下のように総括した。

電子化への関与には、図書館の規模によりいろいろな形があるが、この取り組みが重要であることには共通の理解が得られたように思う。お互い情報を提供しあい、また先行している九州大学のノウハウを提供いただいて、取り組みをさらに進めていきたい。

#### 16. 承合事項

#### 17. 次期役員館の選出（進行を副議長の赤星館長へバトンタッチ）

##### (1) 幹事館、副幹事館の確認

副議長より、幹事館と副幹事館の任期は平成19年度から平成20年度までの2年間であるので、幹事館は九州大学、副幹事館は国立、公立、私立、私立短大の順に、熊本大学、宮崎県立看護大学、福岡大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学である旨の確認を行った。

(2) 監査館の選出

幹事館の九州大学の益森図書館企画課長より、監査館は幹事館に近い福岡市内の大学が適しているため、福岡教育大学にお願いして内諾を得ている旨の説明があり、承認された。

(3) 表彰委員館、編集委員館の選出

昨日の各部会での検討の結果、以下の大学が選出されたとの説明があり、承認された。(いずれも、国立、公立、私立、私立短大の順)

- 表彰委員館：宮崎大学、大分県立看護科学大学、別府大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
- 編集委員館：長崎大学、九州歯科大学、鹿児島国際大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

18. 次期当番館の挨拶

九州大学の益森図書館企画課長より、次期当番館は、南部地区から選出することになっており、21年度は琉球大学が当番校となる旨の説明があり、承認された。続いて、次期当番館の琉球大学附属図書館の親川館長より挨拶があった。

19. 議長、副議長の解任

予定していた議事が終わったため、議長、副議長が解任された。

20. 閉 会

当番館の長崎大学附属図書館 甲斐学術情報管理課長より、閉会の宣言がなされた。

平成19年度決算

一般会計

(単位：円)

収入の部		支出の部					
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	468,000	468,000	6,000×78館	総会運営費	300,000	270,910	当番館：九州大学
協議会誌代	126,400	127,200	49号(2006) @800×159部	協議会誌発行費	160,000	246,750	50号(2007) 200部
広告掲載料	280,000	150,000	9社	事務費	55,000	38,060	会誌送料、通信費、会議費等
				積立金会計へ繰入	359,400	189,480	総会関係研修事業補助
小計	874,400	745,200		小計	874,400	745,200	

積立金会計

(単位：円)

収入の部		支出の部					
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	471,958	471,958		表彰経費	65,000	64,617	12名(1号該当8名、2号該当4名)
預金利息	400	876	8月416円、2月460円	研修会経費	70,000	50,000	総会講演謝金等
一般会計繰入	359,400	189,480		研修会補助費	270,000	257,000	各県協議会(9地区)研修経費補助
				次年度繰越金	426,758	290,697	
小計	831,758	662,314		小計	831,758	662,314	

総計	1,706,158	1,407,514		総計	1,706,158	1,407,514	
----	-----------	-----------	--	----	-----------	-----------	--

平成20年3月27日

監査館 中村学園大学図書館

図書課長 猿渡健一 監査済

平成 20 年 度 予 算

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
会 費	462,000	6,000円×77館	総会運営費	300,000	当番館：長崎大学
協議会誌代	125,600	50号(2007) @800円×157部	協議会誌発行費	250,000	51号(2008) 200部
広告掲載料	300,000	20社	事 務 費	40,000	会誌送料、通信費、会議費等
広告掲載料	170,000	11社 19年度分	積立金会計へ繰入	467,600	総会関係研修事業補助
小 計	1,057,600		小 計	1,057,600	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	290,697		表彰経費	101,000	19名(1号該当12名、2号該当7名)
預金利子	800		研修会経費	70,000	総会講演演謝金等
一般会計繰入	467,600		研修会補助費	270,000	各県協議会(9地区)研修経費補助
小 計	759,097		次年度繰越金	318,097	
			小 計	759,097	

総 計	1,816,697		総 計	1,816,697	
-----	-----------	--	-----	-----------	--

## 九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行  
昭和32年9月12日改正  
昭和41年6月2日改正  
昭和51年4月23日改正  
昭和55年5月9日改正  
平成9年4月25日改正  
平成10年4月24日改正  
平成20年4月18日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。

可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

## 九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。  
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。
5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、

- 調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
  7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
  8. 総会と同時に研修会を開催し、研究発表者は九州地区内の大学図書館職員とし3年位に1回の割合で、文部省・国会図書館或は他地区の大学より最適任者を招聘する。
  9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
  10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。  
福岡地区 福岡県  
中部地区 長崎県、佐賀県、熊本県、大分県  
南部地区 鹿児島県、宮崎県、沖縄県
  11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
  12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

## 九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和32年9月1日施行

平成9年4月25日改正

平成20年4月18日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会会員の紹介書（別記様式1）により、入会申込書（別記様式2）を、総会の3ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。  
(1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。  
(2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。



別記様式 1

## 九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大 学 名

図 書 館 名

図書館長名

公 印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

### 記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

## 九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大 学 名

図 書 館 名

図 書 館 長 名

公 印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

### 記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：  
（電話、FAX番号）
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：（別紙）
9. 紹 介 館 名：

## 図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号 )		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m <sup>2</sup>	閱 覧 座 席 数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年 間 受 入 図 書 冊 数	冊	年 間 受 入 雑 誌 種 数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉 仕 対 象 教 職 員 数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学 外 者 へ の サ ー ビ ス	1 実施 2 未実施		
コ ン ピ ュ ー タ の 導 入	1 導入済 2 未導入		
コ ン ピ ュ ー タ の 適 用 業 務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネ ッ ト ワ ー ク 環 境	1 学内LAN接続済 2 インターネット接続済		
国 立 情 報 学 研 究 所 と の 接 続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

## 九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成2年4月20日施行

平成5年4月23日改正

平成11年4月23日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。  
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。  
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記2- (1)の編集委員館を兼ねることができる。  
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。  
(4) 編集委員館の任期は1年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。  
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。  
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

## 九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第2条 表彰は、次の各号の1に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間20年に達した者
- (2) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第3条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第2条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第4条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長

殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

## 平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。  
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

# 表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号	第2条第2号	第2条第3号		
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無                      有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での 勤務期間	その他の図書館 等での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
					合計      年      月      日

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とするこ  
と。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる  
資料等を添付すること。

表彰状様式(1)第2条第1号および第2号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいもの  
があります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

-----

表彰状様式(2)第2条第3号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあ  
ります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会



## 研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定  
平成7年9月1日改正  
平成8年4月24日改正  
平成9年4月25日改正  
平成10年4月25日改正  
平成15年4月25日改正  
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して3万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

### 別 紙

#### 経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会  
幹事館 殿

組 織 名  
代 表 者  
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 平成 年 月 日 ( ) 時 分 至 平成 年 月 日 ( ) 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講師謝金 _____ イ. 資料代金 _____ ウ. 会場借上費 _____ エ. その他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

※ 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

## 副幹事館の役割

平成10年8月31日

幹事館・副幹事館会議

### 1 通常時

1. 年度の事業・活動についての立案・協議
2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
4. ホームページ充実のための提言等、意見具申

### 2 会誌発行時

各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが

- ・ 所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等

### 3 総会時

1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認

### 4 その他

- ・ 別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

## 九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成10年8月31日

平成20年1月30日改正

幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。

（URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>）

2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。

3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。

#### ・トピックス&NEWS

加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成

総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成

- ・役員館一覧 事務局が作成

- ・当番館一覧 事務局が作成
  - ・九州地区大学図書館協議会誌  
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
  - ・地区内の図書館活動  
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
  - ・各種関連資料集 事務局が作成
  - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
  - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
  - ・フォーラムページ  
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。  
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

## 九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

21. 1. 未 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
国	九州工業大学 附属図書館 (館長 前田 博, 事務長 石丸克巳)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3072 (093-884-3075)
	福岡教育大学 附属図書館 (館長 石黒正紀, 図書館課長 古城戸典子)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1257 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 丸野俊一, 事務部長 濱崎修一)	812-8581	福岡市東区箱崎6丁目10の1	092-642-2325 (092-642-2330)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 相澤照明, 学術研究協力部長 下川辰彦)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 柴多一雄, 学術情報部長 片山 淳)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 田口宏昭, 学術情報部長 梅原眞一)	860-8555	熊本市黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 大嶋 誠, 研究・社会連携部長 松田充功)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 碓 哲雄, 学術研究協力部副部長 水井義武)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1	0985-58-7759 (0985-58-2896)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 井上佳朗, 学術情報部長 寺垣敏司)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21の35	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 志村正子, 学術図書情報課長 能勢明雄)	891-2393	鹿児島市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
琉球大学 附属図書館 (館長 成富研二, 事務部長 金城孝夫)	903-0214	中頭郡西原町字千原1	098-895-8153 (098-895-8154)	
公立	北九州市立大学 学術情報総合センター (センター長 赤塚正幸, 課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4040 (093-964-4038)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 高田 豊, 事務長 神菌勝義)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (学術情報担当部長 都築信男, 学術情報担当課長 伊藤 仁)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 附属図書館 (館長 森 邦昭, 学務部長 堀内重隆)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2411 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 松浦賢長, 学務部長 井上裕一)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 河野健一, シーボルト校図書館課長 吉村勝徳, 佐世保校図書館課長 永松和人)	858-8580	佐世保市川下町123 (0956-26-2100)	0956-47-5958
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター (センター長 松岡 泰, 事務長 田中 彰)	862-8502	熊本市月出3丁目1番100号	096-383-2929 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 凍田和美, 図書管理グループ 増本貴光)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 市瀬孝道, 図書館管理グループリーダー 小野永子)	870-1201	大分県大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 田縁正治, 事務長 黒木雄三)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 赤星 誠, 総務課長 高橋伊津子)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
	鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 朝日吉太郎, 副館長 愛甲照子)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-220-1111 (099-220-1115)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 金城芳秀, 主幹 幸地 哲)	902-0076	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 田中陸治, 主査 当間徳雄)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 安部晴男, 室長 宗広明則)	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南学院大学 図書館 (館長 齊藤育子, 課長 渡橋英子)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 西堀喜久夫, 室長 甲斐富美子)	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 成富 勝, 業務課長 古賀 進)	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1の8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 高橋 昇, 業務課長 松尾伸二)	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 村山理一, 事務長 武 哲也)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 辻 厚治, 課長補佐 鶴 典子)	811-1313	福岡市南区臼佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 高橋公忠, 事務部長 岩佐哲朗)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 平今元章, 事務部長 石田 積)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 図書館 (館長 藤田 守, 図書課長 猿渡健一)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 後藤新治, 事務次長 伊藤邦厚)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	第一薬科大学 図書館 (館長 原 千高, 事務職員 出口朋恵)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-553-5698)
	九州情報大学 図書館 (館長 宮木英幸, 図書館司書 藤 理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学・短期大学部 附属図書館 (館長 川邊武芳, 課長 福田千代子)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	福岡国際大学・福岡女子短期大学 図書館 (館長 野口雅子, 課長 下條瑞恵)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	久留米工業大学 図書館 (館長 渡邊孝司, 事務室長 萩尾文子)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-22-2345 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 熊井昭彦, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422番地	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 遠山 潤, 課長 熊谷まゆみ)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 中村康寛, 図書係長 砂濱正典)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960番地4	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	西九州大学 附属図書館 (館長 酒井 出, 課長 飯盛貞明)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-52-4191 (0952-53-7869)
活水女子大学 図書館 (館長 田中俊廣, 課長 森 茂樹)	850-8515	長崎市東山手町1の50	095-822-4107 (095-823-3701)	
長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 野瀬幹夫, 課長 伴 卓士)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5140 (095-838-2072)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号	
私	長崎外国語大学・長崎外国語短期大学 教育研究 メディアセンター マルチメディア・ライブラリー (センター長 山川欣也, 事務室長 岡村泰子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)	
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 岩下康夫, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)	
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 亘 明志, 司書 植松久子)	854-0081	諫早市栄田町1057	0957-26-8203 (0957-26-0244)	
	長崎国際大学 図書館 (館長 正山征洋, 図書課長 飯島芳典)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)	
	崇城大学 図書館 (館長 恒松郁生, 課長 原 みゆき)	860-0082	熊本市池田4丁目22の1	096-326-3419 (096-359-3002)	
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 板楠和子, 司書係長 水谷江美子)	860-8520	熊本市黒髪3丁目12-16	096-343-2494 (096-343-0354)	
	熊本学園大学 附属図書館 (館長 村松茂美, 事務次長 加茂田憲治)	862-8680	熊本市大江2丁目5の1	096-364-5161 (096-362-5967)	
	東海大学 附属図書館 熊本・阿蘇図書館 (館長 西崎信男(熊本), 星 良和(阿蘇), 熊本図書館課長 下村隆則)	862-8652	熊本市渡鹿9-1-1	096-386-2632(熊本) 0967-67-3907(阿蘇)	
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 岡部由紀子, 事務 山崎栄子)	861-5591	熊本市和泉町亀の甲325	096-275-2264 (096-275-2265)	
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 佐藤林正, 主任 福本直子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)	
	日本文理大学 図書館 (館長 小幡 章, 係長 小平正典)	870-0397	大分市大字一木1727	0975-92-1600 (0975-93-2071)	
	立命館アジア太平洋大学ライブラリー (センター長 汪 正仁, メディア・センター課長 大菅康夫)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)	
	別府大学 附属図書館 (館長 石井保廣, 事務長 吉岡義信)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)	
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 坂本正徳, 主任 伊藤倫子)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)	
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 田代裕子, 課長 園田真二)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)	
	立	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 佐保忠智, 学務部長 中村 稔)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)
		宮崎学園 図書館 宮崎国際大学・宮崎学園短期大学 (館長 米良栄州, 事務長 長友聖次)	889-1605	宮崎郡清武町大字加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
		鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 野中哲照, 図書館次長 藤田淳二)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-261-3211 (099-261-1198)
		鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 犬塚孝明, 図書課長 森山 学)	895-0011	鹿児島県薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
		志学館大学 図書館 (館長 長瀬二三男, 課長 福本英司)	899-5194	鹿児島県霧島市隼人町内1904-1	0995-42-5197 (0995-43-1114)
沖縄国際大学 図書館 (館長 照屋寛之, 次長 門口政秀)		901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 八幡幸司, 事務長事務取扱 垣花留美子)		902-8521	沖縄県那覇市宇国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 仲地弘善, 課長 宮元和子)		903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ( )内はFAX番号
私立	名桜大学 附属図書館 (館長 高宮城 繁, 参与 又吉 純)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 山田千秋, 図書課長 小林由憲)	803-8511	北九州市小倉北区下到津5の1の1	093-561-3541 (093-561-9728)
	九州造形短期大学 図書館 (館長 吉武弘喜, 事務部長 荒川博一)	813-0004	福岡市東区松香台2丁目3の2	092-673-5151 (092-673-5199)
私立	九州大谷短期大学 図書館 (館長 斉藤英雄, 情報課長 坂川和彦)	833-0054	福岡県筑後市蔵敷495-1	0942-53-9893 (0942-53-9893)
	中九州短期大学 附属図書館 (館長 田中善典, 事務職 段原佳子)	866-8502	八代市平山新町4438	0965-34-7651 (0965-43-7117)
短大	東九州短期大学 図書館 (館長 錦 萬代, 事務長 山本博宣)	871-0014	中津市大字一ツ松211	0979-22-2425 (0979-25-3935)
	別府溝部学園短期大学 図書館 (館長 田邊 勲, 司書 宗岡千尋)	874-8567	大分県別府市野田78	0977-66-0224 (0977-67-8133)
大	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 前原隆綱, 課長 小平田一彦)	890-8565	鹿児島市紫原1丁目59の1	099-254-9191 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 三浦嘉久, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)



## 九州地区大学図書館協議会役員館一覧

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短 大 鹿 児 島 大 学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短 大 西 南 大 学	佐賀大学 熊本女子大 学 中 村 学 園 大 学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大 学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大 学 熊本商科大 学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大 学 福岡大 学 福岡女子短期大 学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大 学 久留米大 学	鹿児島大 学 長崎県立大 学 西日本工業大 学	九州大学 鹿屋体育大 学 九州歯科大 学 中村学園大 学 筑紫女学 園短期大 学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大 学 鹿児島経済大 学	大分大 学 九州歯科大 学 活水女子大 学	九州大学 福岡教育大 学 北九州大 学 九州国際大 学 東筑紫短期大 学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大 学 活水女子大 学	大分医科大学 鹿児島県立短期大 学 鹿児島経済大 学	九州大学 熊本大学 福岡女子大 学 西南学院大 学 筑紫女学 園短期大 学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大 学 活水女子大 学	佐賀医科大学 宮崎公立大 学 鹿児島経済大 学	九州大学 宮崎大 学 福岡県立大 学 九州産業大 学 筑紫女学 園短期大 学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大 学	琉球大学 長崎県立大 学 南九州大 学	九州大学 九州工業大 学 九州歯科大 学 久留米大 学 筑紫女学 園短期大 学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大 学 九州東海大 学	佐賀大学 九州歯科大 学 熊本学 園 大 学	九州大学 大分大 学 北九州大 学 九州共立大 学 西南女学院短期大 学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大 学 九州女子大 学	宮崎大学 鹿児島県立短期大 学 久留米工業大 学	九州大学 佐賀大 学 九州歯科大 学 福岡大 学 西南女学院短期大 学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館	監査館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 九州芸術工科大学 公 福岡女子大学 私 九州国際大学 私短 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 九佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 九州工業大学 公 大分県立芸術文化短期大学 私 鹿児島経済大学 私短 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 九佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 九州工業大学 公 大分県立芸術文化短期大学 私 鹿児島国際大学 私短 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 福岡教育大学 公 宮崎公立大学 私 福岡工業大学 私短 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 福岡教育大学 公 宮崎公立大学 私 福岡工業大学 私短 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 佐賀大学 公 北九州市立大学 私 九州共立大学 私短 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・ 短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 佐賀大学 公 北九州市立大学 私 九州共立大学 私短 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・ 南九州短期大学 西南女学院大学・ 短期大学

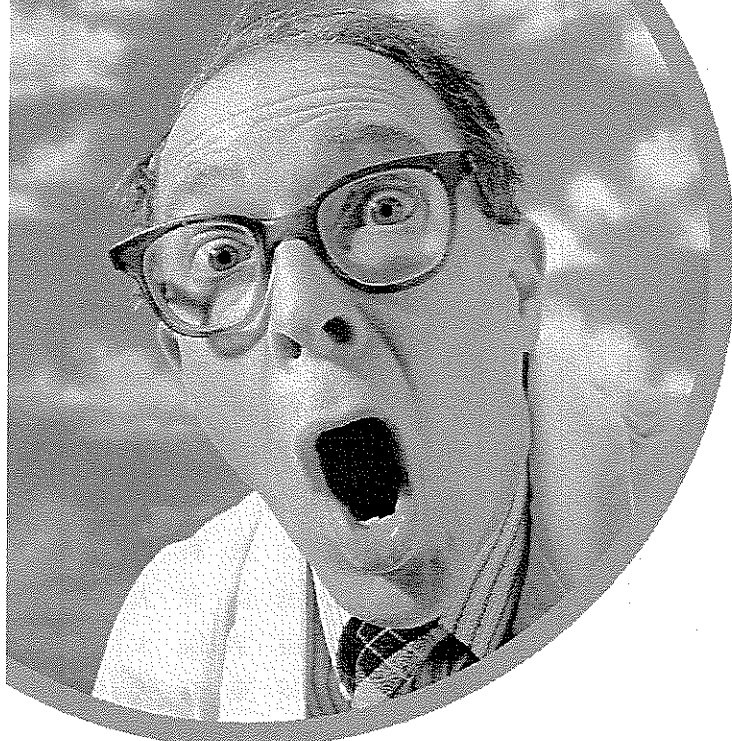
年次 (回数)	幹事館	副幹事館		監査館	表彰委員館	編集委員館
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成20年度 (59)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護大学 別府大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成21年度 (60)		国 公 私 私短				
平成22年度 (61)		国 公 私 私短				
平成23年度 (62)		国 公 私 私短				

## 九州地区大学図書館協議会総会当番館一覽

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		"	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		"	福岡女子大学
		"	福岡県社会保育短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学

回次	年度	県別	大 学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		"	鹿児島県立短期大学
		"	鹿児島経済大学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	中部	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	
62	23		

# Scopusは、研究活動のあらゆる段階における 情報活用をサポートするツールです。



- 読んでおくべき論文を、本当に漏れなく  
集められているのだろうか？
- あの論文の発表後、どのように研究が  
進んでいるのだろうか？
- 入手可能なフルテキストをもっと効率よく  
集められないだろうか？
- 自分の論文がどのように引用されている  
か素早く調べられないだろうか？

Scopusが  
このような悩みを解消します。

[www.scopus.com](http://www.scopus.com)

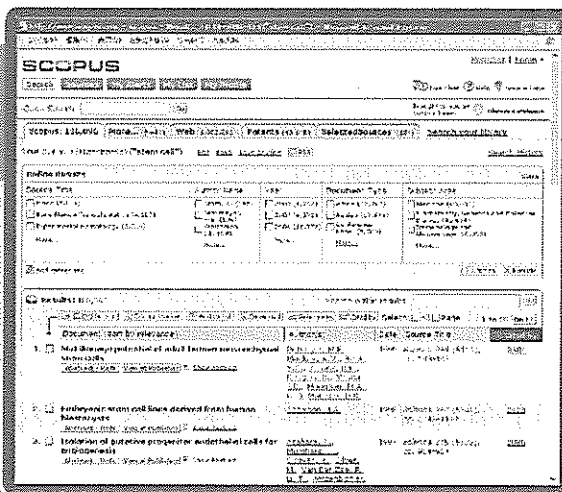
世界最大規模の学術情報ナビゲーションツール  
— 研究者のための書誌・引用文献データベース —  
**Scopus (スコパス)**

### 圧倒的なコンテンツ量：

- 4,000以上の出版社の15,600以上の  
学術ジャーナル
- 1996年以降の参考文献情報
- 1800年代からの抄録情報

### 研究活動を最適化する支援ツール：

- 引用分析、著者／機関識別機能
- h指数グラフなど、各種グラフ機能



お問い合わせ先  
エルゼビア・ジャパン株式会社  
電子図書館サービス  
TEL: 03-5561-5034 FAX: 03-5561-5047  
E-mail: [jpinfo@scopus.com](mailto:jpinfo@scopus.com)

refine your research  
**SCOPUS™**

# ジュンク堂書店

淳久堂書店

**ジュンク堂書店福岡外商部は迅速です！**

**福岡市、春日市、太宰府市の先生方が福岡店で直接お選びいただきました書籍は翌日お届けいたします。**

月曜日お届け 飯塚、田川地区  
火曜日お届け 熊本市内  
水曜日お届け 佐賀、久留米地区  
木曜日お届け 北九州地区  
月・木の週2回お届け 宗像地区

**その他の九州地区 配送でお届けいたします。**

お問合わせ先 E-mail [fk-gai@junkudo.co.jp](mailto:fk-gai@junkudo.co.jp)

電話 092-738-3405 FAX092-738-3230



ROYAL FURNITURE COLLECTION  
SINCE 1988

<http://www.royal-furniture.co.jp>

北欧諸国では、グリーンアカウントという樹木を伐採したら代わりを植樹する植替えのシステムが長年確立されており、尚且つ天然素材を多用することで環境負荷の軽減を目指しています。近年問題となって久しい揮発性有機化学物質の研究、対策にも早くから取り組み、1979年にはデンマークにおいて家具に使用されるウレタンを製造する際、その工程でフロンを使用せず、水で代替することでホルムアルデヒドの発生を抑制するなど、使用する材料を厳しく規制する法律も整っています。ロイヤルファニチャーコレクションの各家具メーカーはそのような条件、環境のもとで家具づくりを行っております。



Eurobib



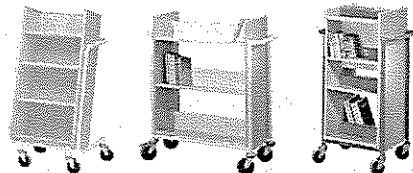
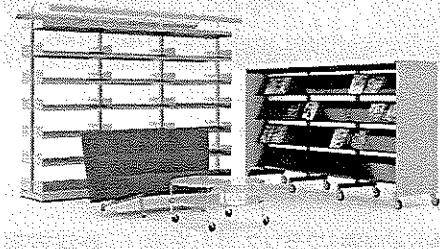
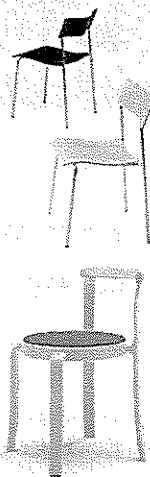
MAGNUS OLESEN

HOWE LAMMHULTS

上記メーカー輸入総代理店

<主な納入先>

- ・図書館、コミュニティセンター等の公共施設
- ・大学、専門学校等の教育施設
- ・病院、医療福祉施設
- ・オフィス、商業施設



株式会社 ロイヤルファニチャーコレクション

福岡事務所：810-0001 福岡市中央区天神4-5-10-1009

TEL:092(752)0103 FAX:092(752)0210

本社：105-0001 東京都港区虎ノ門2-7-16 ビュロー虎ノ門

TEL:03(3593)3801 FAX:03(3593)3802

大阪事務所：530-0005 大阪市北区中之島5-3-92-603

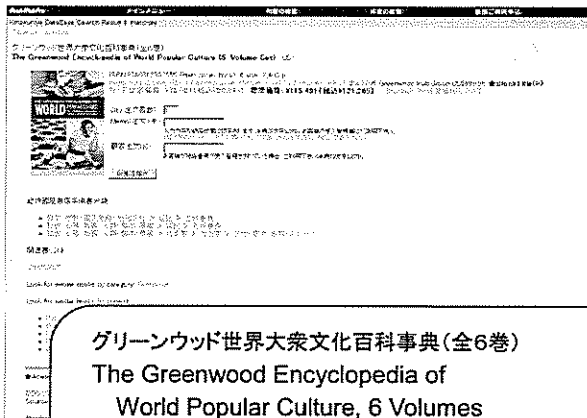
TEL:06(6225)0700 FAX:06(6225)0677

プロフェッショナルのためのインターネット書店

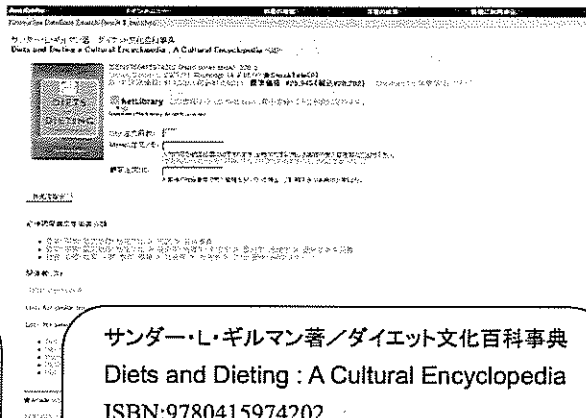
# 紀伊國屋書店 BookWeb Pro

## Web 販売価格で 洋書が格安に お求めいただけます !!

BookWeb Pro でご注文いただくと、Web 販売価格で洋書を格安にお求めいただけます！  
お支払方法は、請求書決済で OK! ※  
公費での書籍購入をご検討の際には、ぜひ BookWeb Pro をご利用下さい！



グリーンウッド世界大衆文化百科事典(全6巻)  
The Greenwood Encyclopedia of  
World Popular Culture, 6 Volumes  
ISBN:9780313332555  
**Web販売価格: ¥68,595 (税込¥72,024)\***  
**標準価格: ¥102,892 (税込¥108,036)\***  
\*2008年12月現在の価格です



サンダー・L・ギルマン著/ダイエツ文化百科事典  
Diets and Dieting: A Cultural Encyclopedia  
ISBN:9780415974202  
**Web販売価格: ¥12,920 (税込¥13,566)\***  
**標準価格: ¥19,380 (税込¥20,349)\***  
\*2008年12月現在の価格です

下記 URL よりご覧いただけます

## <http://bookwebpro.kinokuniya.co.jp>

BookWeb Pro は...

- ◆送料無料 (勤務先納品)!
- ◆公費請求書での決済も可能!
- ◆ドイツ書・フランス書も充実!
- ◆洋古書(品切絶版)発注 OK!
- ◆重複発注にはアラーム!
- ◆外商営業部門によるサポート!

分野別・学術新刊案内 Web+  
メール配信サービス (無料)

**Kinokuniya e-Alert**

<http://ea.kinokuniya.co.jp>

と併せてご利用ください。

※ Web 販売価格は、法人のお客様が BookWeb Pro でご注文され、付帯的な作業を伴わない納品を行い、標準書式による請求書を発行しお支払いいただく場合、またはクレジットカード及び口座振替でお支払いいただく場合に適用される販売価格です。(2008.12)

BookWeb Pro と自動決済のお申し込みは、弊社担当営業部・所または下記までどうぞ

(株)紀伊國屋書店 営業企画部

TEL.03-6910-0527 FAX.03-6420-1356 E-mail: [bwpro@kinokuniya.co.jp](mailto:bwpro@kinokuniya.co.jp)



# Version 12 EndNote X2

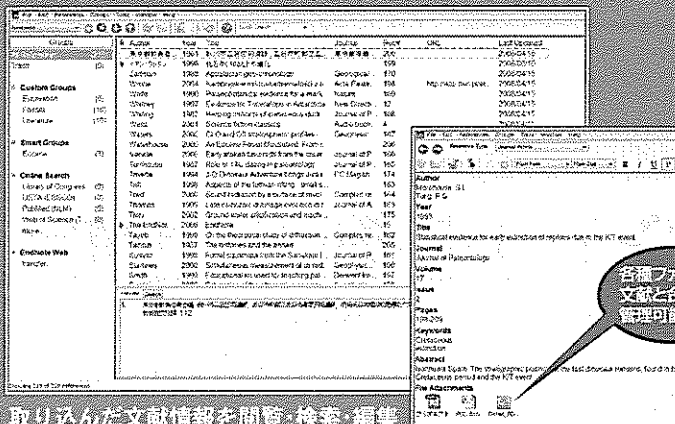
世界が認める  
論文作成支援ソフト

## 1 文献情報の取り込み

- PubMed ● 医中誌Web ● Web of Science®
- OvidSP ● JDream II ● Google Scholar etc

各種データベースで文献を検索し、EndNoteへ簡単に取り込み

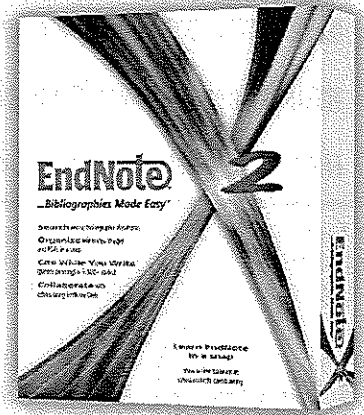
## 2 文献情報の管理



取り込んだ文献情報を閲覧・検索・編集

各種ファイルも  
文献と合わせて  
管理可能!

EndNote X2.0.1から、  
EndNote Webの個人用アカウントが  
新たに追加されました!



## EndNote X2 新機能!

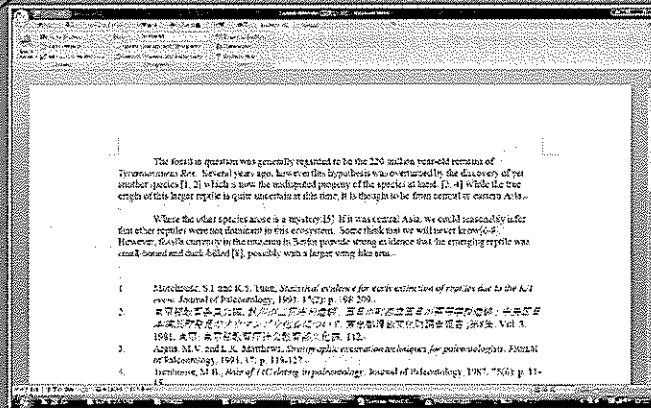
- EndNoteに取り込んだ文献情報のフルテキストPDFファイルを、簡単操作で自動的にバックアップ&添付!
- グループ機能がさらに充実!  
(文献取り込み時に自動的に分類、オンライン検索に簡単アクセス)

注) ご所属の機関および出版社によっては、フルテキストのダウンロードに制限・規制が設けられている場合があります。ご担当者様に確認の上、お客様の自己責任の下でご利用ください。

### EndNoteはこんな方におすすめ!

- 論文の参考文献リストを手軽に作成したい
- データベースでの検索結果を保存・管理したい
- フルテキストPDFファイルを一元管理したい

## 3 論文作成支援 (参考文献リストの自動作成)



投稿するジャーナルに合わせて参考文献リストを自動作成  
(対応する投稿規程は3,600誌以上)

お申し込み・お問い合わせは

EndNoteは Thomson Reutersの登録商標です



ユサコ株式会社



THOMSON REUTERS

ホームページ: <http://www.usaco.co.jp/endnote/>

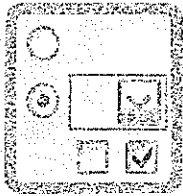
E-mail: [en-order@usaco.co.jp](mailto:en-order@usaco.co.jp)

● 東日本営業所: 〒106-0044 東京都港区東麻布2-17-12

Tel.03-3505-3256 Fax.03-3505-6282

● 西日本営業所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-10

Tel.06-6393-0303 Fax.06-6393-0617



フレキシブル アンケートシステム

# MatchAsk

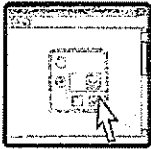


## ✓ こんな悩みありませんか??

- アンケートをデータベースに蓄積したい
- 職員の声を集めたい
- 会員限定でアンケートをしたい
- 集計の手間をなくしたい
- 携帯電話から回答を受け付けたい
- アンケート費用を抑えたい
- HPでプレゼントキャンペーンをしたい
- アンケート情報を安全に管理したい

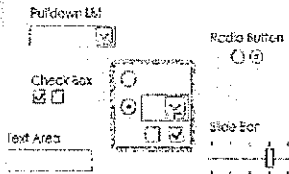
MatchAskはHTMLやプログラミングの知識が無くても、アンケートフォームの作成からアンケート結果の集計・分析までを簡単に行うことができるWebアンケートツールです。説明書もいらないほど使いやすいインターフェイスで、あなたのアンケート業務を強力にサポートいたします!

## ✓ 多彩な機能でアンケート業務を強力サポート!



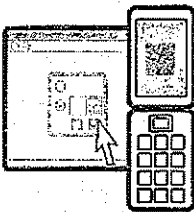
### ✓ 特徴1 簡単ユーザインターフェイス

特別なソフトは一切必要ありません。Webブラウザでアクセスするだけです。シンプルなユーザーインターフェイスで、手順に沿って作業を行うだけで、簡単にアンケートの作成ができます。あとは自動的に生成されるURLをサイトやEメールでお知らせするだけです。



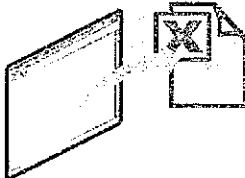
### ✓ 特徴2 多彩な設問タイプ (16タイプ)

MatchAskには、聞きたいことを確実に引き出す設問項目があります。一般的な、『チェックボックス』や『ラジオボタン』、『テキストボックス』に加え、曖昧な回答を許容する『スライドバー』や、『画像貼付』、『URLリンク』、『マトリクス形式の設問』などユーザのニーズにマッチする多彩な設問タイプを用意しております。



### ✓ 特徴3 携帯電話対応 & 2次元バーコード

作成されたアンケートは、パソコンからだけでなく携帯電話からも回答することができます※。また、携帯電話で、自動的に生成される2次元バーコードを読み込むことによって、簡単にアンケート回答画面にアクセスできます。(※…設問タイプにより、携帯電話に対応していない場合があります。)



### ✓ 特徴4 CSVファイル出力機能

回答データをワンクリックでリアルタイムにダウンロード可能です。(CSV形式) エクセルなどで取り込み統計や分析にご活用いただけます。生成されたURLに任意のIDを付加させることで回答者の特定も容易におこなえます。また回答時刻や、回答に要した時間、ブラウザ情報等のデータも取得しておりますので、各種分析にご活用下さい。

こんなアンケートが  
3分で作成できます!



Fusic Co., Ltd  
<http://matchask.jp>

### お問い合わせ先

株式会社 Fusic  
〒810-0041  
福岡市中央区大名2-4-22 新日本ビル9階  
Tel 092-737-2616 担当:井(い)い  
Fax 092-737-2617  
Mail [it@fusic.co.jp](mailto:it@fusic.co.jp)  
URL <http://www.fusic.co.jp>



# Serials Solutions

Get what you're paying for.

電子ジャーナルアクセス・管理総合サービス

## 360CORE

メンテナンス不要の  
電子ジャーナル  
ポータルサイトを提供

業界最高水準のリンク情報!

**SUNMEDIA Library**  
DDS | IRS | e-Port | CCS | その他サービス

電子ジャーナルポータルサイト 雑誌管理画面

検索  
タイトル・ISSN 検索  
検索  
検索

検索結果  
A-Zタイトルリスト  
ABCDEF GHIJKLMN  
OPQRSTUVWXYZ  
カテゴリからの検索  
OCLC/PubMed ID から検索  
データベースから検索  
2006 Biomedical for J  
2006 Full for JANKJPUCC  
AlphaMed Press  
American Association for Cancer Research パスワード  
American Chemical Society Legacy Archives  
American Chemical Society Web Editions  
American Medical Association Journals 大阪図書蔵のみ  
American Physiological Society トライアル中

日本語で入力できる  
メモ機能を搭載  
トライアル中などの情報入力  
やパスワードなどのメモに  
リンクをつけることができます

カスタマイズできる電子ジャーナルポータルから  
提供可能なデータベース一覧まで分かりやすくナビゲーション

<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/serialssolutions/>

OpenURLのリンクリゾルバー

JDream・PubMed・医中誌Web  
ProQuest・CSA etc.,..

## 360LINK

二次情報データベースの検索結果から  
様々なターゲットへナビゲーション

**SUNMEDIA Library** SUNMEDIA ホームページへ

DDS | IRS | e-Port | CCS | その他サービス

e-PortTOP ページ Article Linker

検索結果 - 書誌事項 書誌事項検索画面へ

いち早い日本語対応!  
インターフェイスの日本語化だけでなく  
検索も日本語に対応しています

論文タイトル・掲載・雑誌とその対照  
著者名: 森内 昌也  
雑誌名: 信と化学療法  
ISSN: 0385-0684 Data: 2006  
volume: 33 Issue: 1 Page: 19

提供可能な論文へのリンクを一覧表示

Gan to Kagaku ryoho ISSN: 0385-0684  
01/01/2004 - present Article Journal\_PierOnline  
2004 - present Article Journal\_PierOnline  
癌と化学療法 ISSN: 0385-0684 Journal\_メディカルオンライン

提供可能な論文へのナビゲーション  
複数該当ある場合、一覧で表示されます

フルテキスト以外のオプション検索

- 1) PubMed を検索  
ISSN から探す 著者から探す
- 2) Google Scholar を検索  
ISSN から探す 著者から探す
- 3) サンメディア図書館の所蔵を探す  
タイトルから探す
- 4) 図書館になかったため JLL に依頼する
- 5) 図書館になかったためドキュメントデリバリーに依頼する  
NeoPlanets

様々なオプション検索を搭載できます!  
・自館のOPACへリンクし、所蔵情報の確認  
・JLLの申込みフォームへ書誌情報を転記  
・Google Scholar / WebcatPuls へのリンク  
・RefWorksからのリンク  
・RefWorksへのリンク etc.,..

わずか 2 クリックで検索結果からフルテキストまでたどり着けます!

(検索結果→ArticleLinker→フルテキスト)



## RefWorks

学術情報・研究成果の収集と管理、共有、  
情報発信を支援するウェブサービス



RefWorks は、研究成果や電子リソースから収集した学術情報を蓄積・管理し、それらを共有化したり、情報発信するためのウェブサービスです。研究者、教職員、学生、図書館員などあらゆる利用者層のニーズに対応し、RSS など最新のウェブ情報発信技術とも連携しています。学生の情報リテラシー促進や、大学の研究情報基盤強化ツールのひとつとしてご利用いただけます。

- ・インストールやアップグレード、サーバー管理の手間が不要。いつでも最新の状態でご利用いただけます
- ・リモートアクセス対応で、自宅や外出先からでもインターネット環境があればどこからでもご利用いただけます
- ・日本語データ対応。インターフェイスも日本語や英語をはじめ 8ヶ国語をご用意しています。
- ・Web 公開機能を使って研究内容を世界に発信できます。

### 新機能続々追加!

- ▶ WEB ページ情報を簡単にキャプチャー「RefGrab-It」  
「RefGrab-It」をクリックするだけでWEBページに関する情報(URL、タイトル、作成日、最終更新日など)を読み取って表示します。ISBN、PubMedID、DOIの情報から関連する文献情報も自動収集して取り込むことができ、WEBページ情報の参考文献リストを簡単に作成できます。
- ▶ RSS 情報もスムーズにインポート「RSS Feeds」  
RefWorksにRSSを登録することで、同じ検索を繰り返すことなく、新しい情報を表示しダイレクトに取り込むことができ、RSS Feeds情報の参考文献リストを簡単に作成できます。

<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/index.htm>



お問い合わせ・トライアル・お申込みは下記まで

**SUNMEDIA** 株式会社サンメディア e-Port

〈東京オフィス〉 〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3

Tel: 03-3299-1575 Fax: 03-3374-1410

〈大阪オフィス〉 〒541-0044 大阪市中央区伏見町 2-1-1

三井住友銀行高麗橋ビル 5F

Tel: 06-6223-0541 Fax: 06-6223-0544

他、サンメディアお取り扱い商品



## IC図書館システム

ユリウス

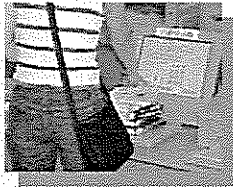
## ULIUS

すでに多くの図書館で、ICタグが活用され、利用者サービスの向上と、図書館運営の効率化が図られています！



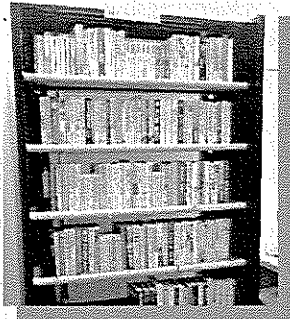
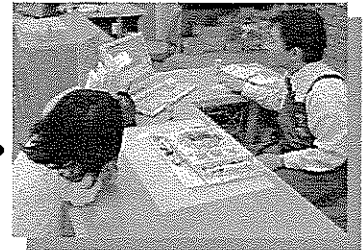
## 《自動貸出機》

カウンターに行かずに、自分で貸出ができます。台の上に借りたい本を置いて、ボタンを押すだけ！

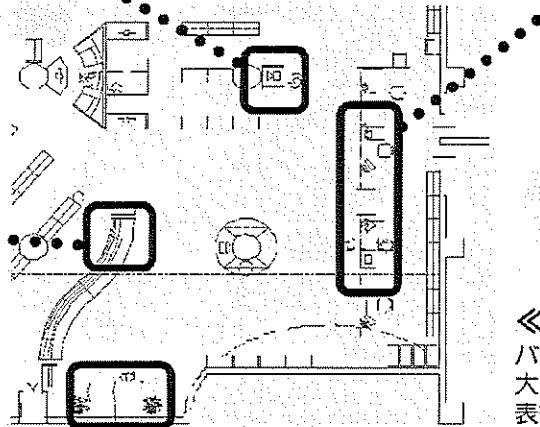
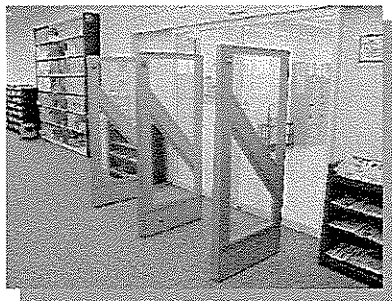


## 《カウンター貸出・返却》

これまでは、1冊ずつバーコードで貸出・返却。ICタグを使うと10冊程度、まとめて貸出・返却。大幅スピードアップ！

《インテリジェント書架  
(スポットICシェルフ)》

推薦図書や、新刊図書などの閲覧情報が記録され、利用者マーケティング情報として活用できます。



## 《蔵書点検・図書整理》

バーコードでの蔵書点検はとても大変……。ICタグを使えば、背表紙を専用の機械でなぞるだけ。時間短縮した分だけ、開館日が増やせます！



## 《セキュリティゲート》

貸出処理が行われていない資料が通過した場合にはブザーが鳴動し、確認を促します。PCと連動して、カウンターのディスプレイに資料名を表示したりログを収集することも可能です。共有財産である大切な資料の紛失を防ぎます。



For the wisdom into the Next.

コレクション  
ドキュメント  
の活用のための

# DIGITAL SOLUTIONS

**画** 像データ作成

**機** 関リポジトリサポート

**長** 期保存対策

**検** 索用メタデータの作成

研究・公開・利用のための、貴重資料や研究成果物などの電子化。

再利用・バックアップ・保管コスト削減のための、書類・図面などのデータ化。

共有・活用、長期保存など、大切な情報資産の有効に欠かせないデジタル化に対し、効率のよいデータ化・コンテンツづくりから、システム構築・Web公開・運用、長期保存対策まで、ワンストップでサポートします。

## ナカバヤシ株式会社 図書館サポートカンパニー

東京本社	〒174-8602	東京都板橋区東坂下2丁目5-1	TEL:03-3558-1251	FAX:03-3558-1260	
大阪支社	〒536-0005	大阪市城東区中央2丁目1-23	TEL:06-6930-6668	FAX:06-6935-2667	
名古屋支店	〒456-0053	名古屋市熱田区一番2丁目2-6	TEL:052-661-3771	FAX:052-661-3775	
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11	TEL:092-641-3661	FAX:092-641-3699	
札幌営業所	TEL:011-846-7884	仙台営業所	TEL:022-284-3045	水戸営業所	TEL:029-254-1534
横浜営業所	TEL:045-952-0501	広島営業所	TEL:082-270-3141	高松出張所	TEL:087-831-5825

<http://www.nakabayashi.co.jp/>  
<http://www.fueru.jp/finebook/>

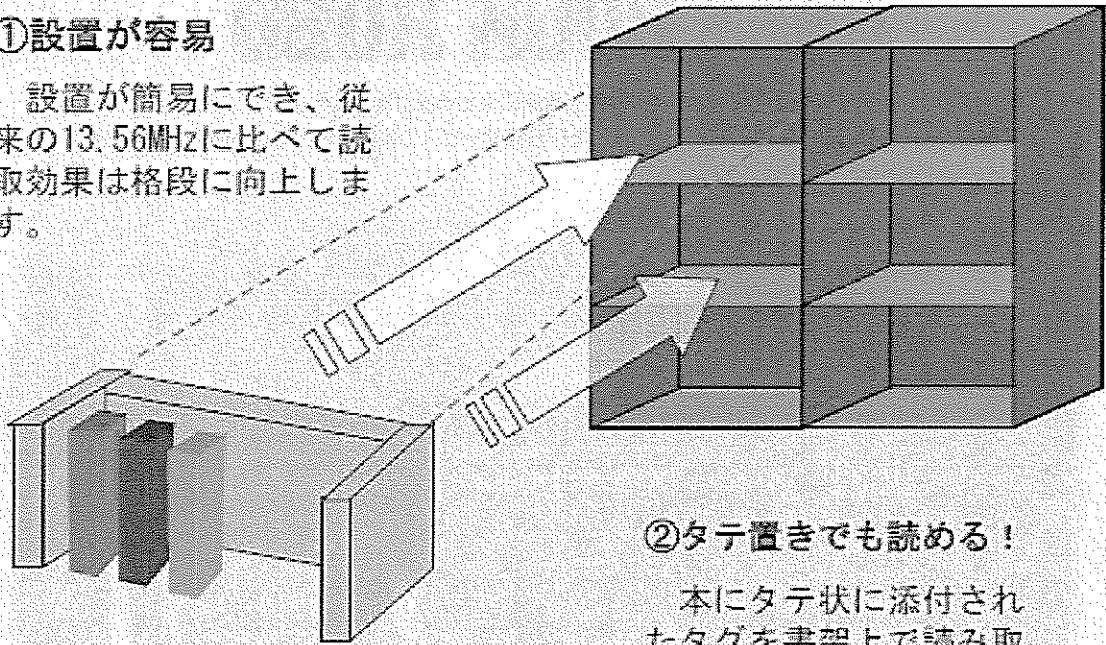
[toshokan@nakabayashi.co.jp](mailto:toshokan@nakabayashi.co.jp)

株式会社ソフェル

# インテリジェント書架

## ①設置が容易

設置が簡易にでき、従来の13.56MHzに比べて読取効果は格段に向上します。



## ②タテ置きでも読める！

本にタテ状に添付されたタグを書架上で読み取れます。

## 仕 様

名 称	インテリジェント書架 [SFL-IDIT-SH-081Z]
周 波 数	UHF帯 (952MHz~954MHz)
プ ロ ト コ ル	EPC Global CI Gen2準拠
インターフェース	RS232C, Ethernet
使用リーダライタ	高出力タイプを使用
外 径 寸 法 (W×H×D)	850mm × 210mm × 220mm

※本仕様は予告なく変更することがあります。ご了承願います。

●製造

**SOFEL**

●販売



伊藤伊

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-10

TEL 03-5689-6230 FAX 03-5689-6232

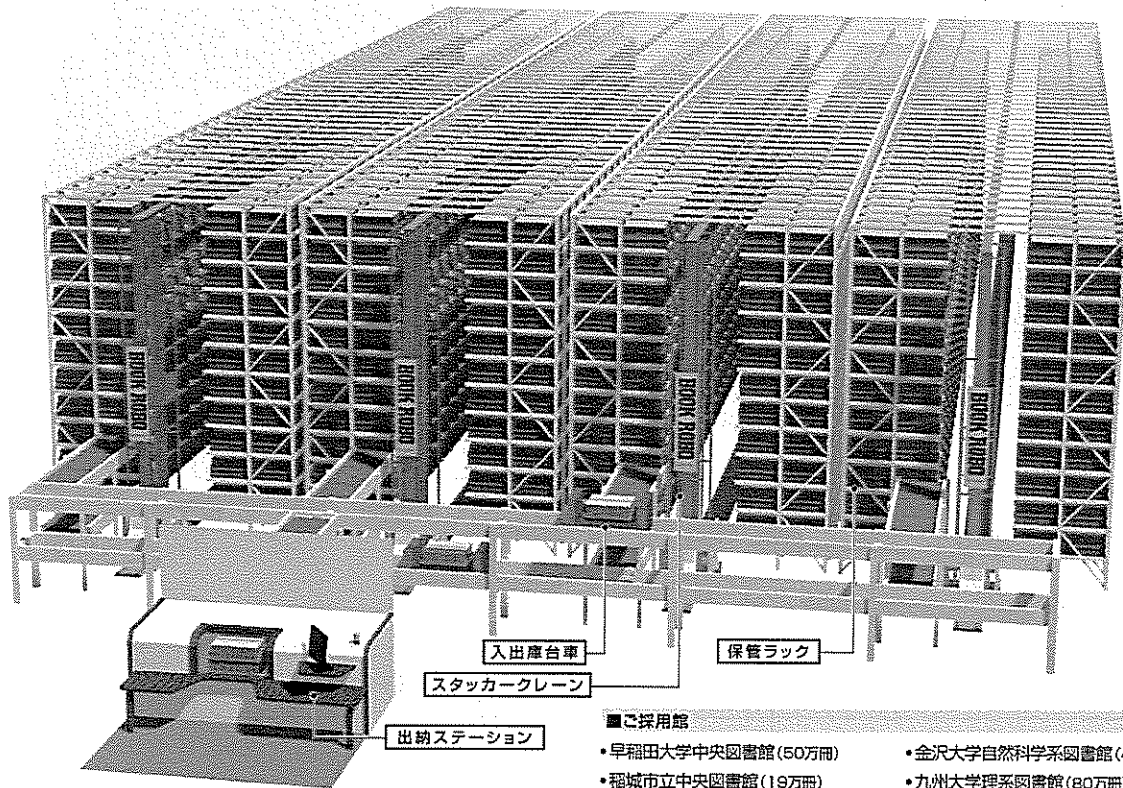
<グループ各社> 大阪伊藤伊新社 / L・キスト

# KONGO LIBRARY PLANNING

金剛はライブラリー設備・用品のプランニング企業として、  
ライブラリー空間づくりをお手伝いします。

## 自動書庫 **BOOK ROBO**

自動書庫・ブックロボは、従来の閉架書庫に係わる業務を自動化することで  
図書館スタッフの業務負荷を軽減し、より充実した図書館サービスの提供に注力できる環境を整えます。



### ■ご採用館

- 早稲田大学中央図書館 (50万冊)
- 稲城市立中央図書館 (19万冊)
- 成蹊大学情報図書館 (72万冊)
- 獨協大学図書館 (100万冊)
- 聖マリアンナ医科大学医学情報センター (図書館) (20万冊)
- 金沢大学自然科学系図書館 (47万冊)
- 九州大学理系図書館 (80万冊)
- 立教大学新座図書館 (20万冊)
- 國學院大学図書館 (100万冊)

空間をデザインする

# KONGO

[www.kongo-corp.co.jp](http://www.kongo-corp.co.jp)

## 金剛株式会社

東京本社/港区高輪2-18-6ポーラ高輪ビル5F TEL.(03)5488-5566 (代)  
熊本本社/熊本市上熊本3丁目8-1 TEL.(096)353-1111(大代)



- |                          |                          |                       |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 東北(仙台) ☎(022)274-7038(代) | 鳥取 ☎(0857)32-2390(代)     | 長野 ☎(095)832-0500(代)  |
| 東京 ☎(03)5468-5566(代)     | 広島 ☎(082)284-3771(代)     | 熊本 ☎(096)355-1111(大代) |
| 静岡 ☎(054)264-1810(代)     | 四国(高松) ☎(087)833-6508(代) | 分 ☎(097)534-6797(代)   |
| 北陸(金沢) ☎(076)291-6601(代) | 北九州 ☎(093)872-9811(代)    | 崎 ☎(0985)26-1105(代)   |
| 名古屋 ☎(052)796-1730(代)    | 福岡 ☎(092)681-6286(代)     | 鹿児島 ☎(099)251-1162(代) |
| 大阪 ☎(06)6311-7010(代)     | 久留米 ☎(092)681-6286(代)    | 沖縄 ☎(098)867-5285(代)  |
| 岡山 ☎(086)225-8465(代)     | 佐賀 ☎(0952)31-5789(代)     |                       |



福岡県春日市天神山6-67

# 樋口書店

代表者 樋口 光照

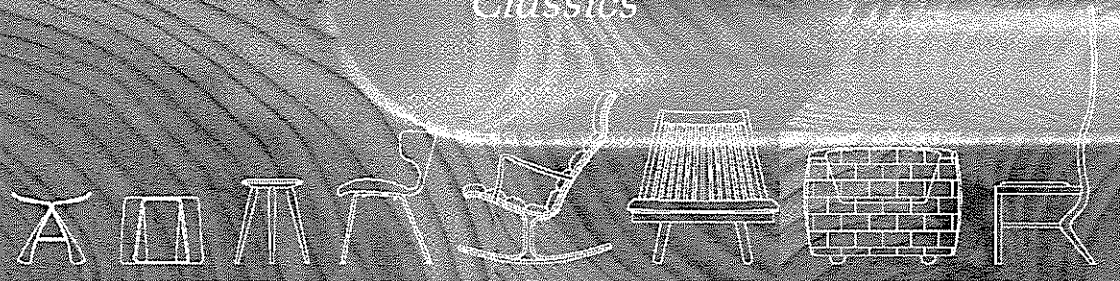
電話・FAX 092(571)2827

樋口書店は代表者樋口光照が日本出版貿（株）を定年退職後に創業した書店です。現在の主なお得意先は、九州大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡教育大学、などです。

今後ともお引き立て頂きますようお願い申し上げます。

<http://www.tendo-mokko.co.jp/>

Tendo  
Classics



**X 天童木工**

■福岡支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-23-34 Tel:092-432-2020

●本社・工場/東北支店・ショールーム 〒994-8601 山形県天童市乱川1-3-10 Tel:023-653-3121

●東京支店・ショールーム Tel:03-3432-0401

●大阪支店・ショールーム Tel:06-6531-4131

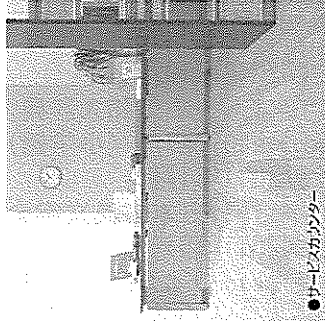


# 知的創造性を高め、感性を刺激する空間。 ライブラリーは知の集積から双方向コミュニケーションの場へ。

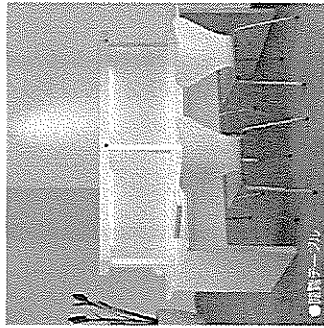
ユビキタスネットワーク社会における新しいライブラリーの創造に向け、イトーキは 知的好奇心や感性を刺激する先進空間づくりを総合的に提案します。



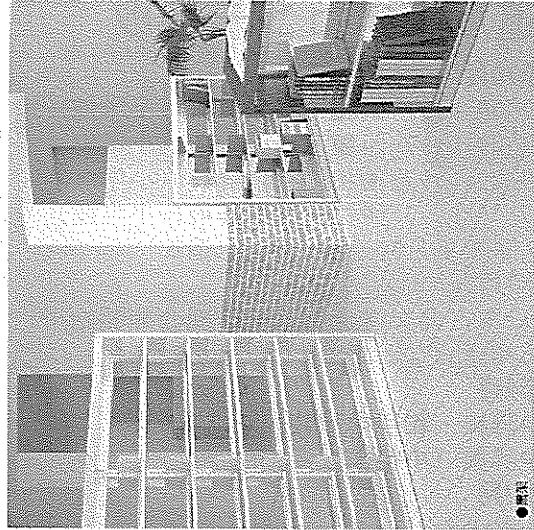
シンプルで機能的な構成で、進化する図書館ニーズにフレキシブルに対応するライブラリー家具。さまざまな空間にマッチする高い柔軟性と拡張性で、用途の図書館をリアル化します。



●カーブデスクカウンター



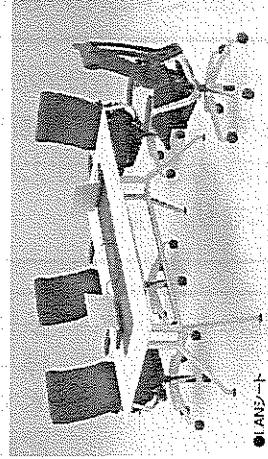
●読書カウンター



●読書



●読書カウンター



●LANシート

読書シート内に埋め込み、シート上に開いたPCのみネットワーク運用が可能となる新しいLAN/アクセス。柔軟な個体構築や情報配りなどの対応が図れます。

2009年4月1日、ジャパンナレッジが生まれ変わります。

# 知識探索サイト ジャパンナレッジ プラス Japan Knowledge+

百科事典や辞書などを一括検索できる知識探索サイト「ジャパンナレッジ」が、「ジャパンナレッジ・プラス」として2009年4月1日から生まれ変わります。レファレンスのためのポータルサイトとして、さまざまなコンテンツ群を備える有用なデータベースとして、検索性をさらに高め、より充実したサービスとなります。  
今までのジャパンナレッジとの大きな違いは以下の通りです。

## 日国、歴史地名なども含めた、全てのコンテンツを一括で検索

「ジャパンナレッジ」だけでなく、「字通」「日国オンライン(日本国語大辞典)」「日本歴史地名大系」もすべて一括で、ワンクリック(横断)検索でき、調査がより簡便に行えるようになります。また「東洋文庫」や「日本史年表」など、今までワンクリック検索の対象外となっていたコンテンツも一括して検索を行うことができますようになります。

その他にも…… 多様な要望に応え、検索機能を一新  
様々な連携を想定して、検索APIを公開  
本文コピー時の引用元挿入機能を装備  
認証機能をより充実。細かな利用制限が可能に  
管理者様用のサイトを用意

## 新規追加予定コンテンツ

### ■2009年10月

- ・ホクトブ ログレック 仏和・和仏辞典 (小学館)
- ・ホクトブ ログレック 西和・和西辞典 (小学館)
- ・ホクトブ ログレック 独和・和独辞典 (小学館)
- ・ホクトブ ログレック 伊和・和伊辞典 (小学館)
- ・東洋文庫 (平凡社) 74冊(追加)

### ■2010年1月

- ・新編 日本古典文学全集 (第一期公開開始)  
「源氏物語」など

### ■2010年4月

- ・伊和中辞典・和伊中辞典 (小学館)
- ・西和中辞典 (小学館)

### ■2010年7月

- ・JKセレクトシリーズ  
「国史大辞典Web」サービス開始

### ■2010年10月

- ・ロベール仏和大辞典 (小学館)
- ・独和大辞典 (小学館)

### ■2011年1月

- ・新編 日本古典文学全集 (第二期公開開始)

### ■2011年5月

- ・ホクトブ ログレック 中日・日中辞典 (小学館)
- ・ホクトブ ログレック 韓日・日韓辞典 (小学館)

### ■2011年7月

- ・日中辞典 (小学館)
- ・中日辞典 (小学館)
- ・朝鮮語辞典 (小学館)

### ■2012年1月

- ・新編 日本古典文学全集 (第三期公開開始)

「ジャパンナレッジプラス」は、以下の2つのパッケージを提供いたします。

**Japan Knowledge+N** ジャパンナレッジ プラス エス …… 「ジャパンナレッジ」+「字通」+「日国オンライン」

**Japan Knowledge+NR** ジャパンナレッジ プラス エヌ …… 「ジャパンナレッジ」+「字通」+「日国オンライン」  
+「日本歴史地名体系」

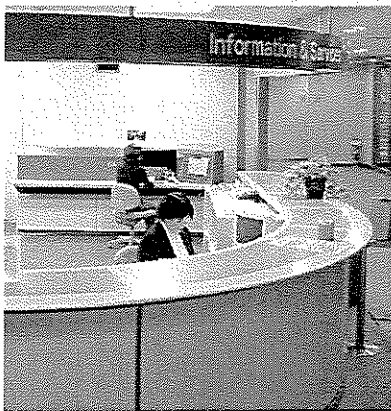
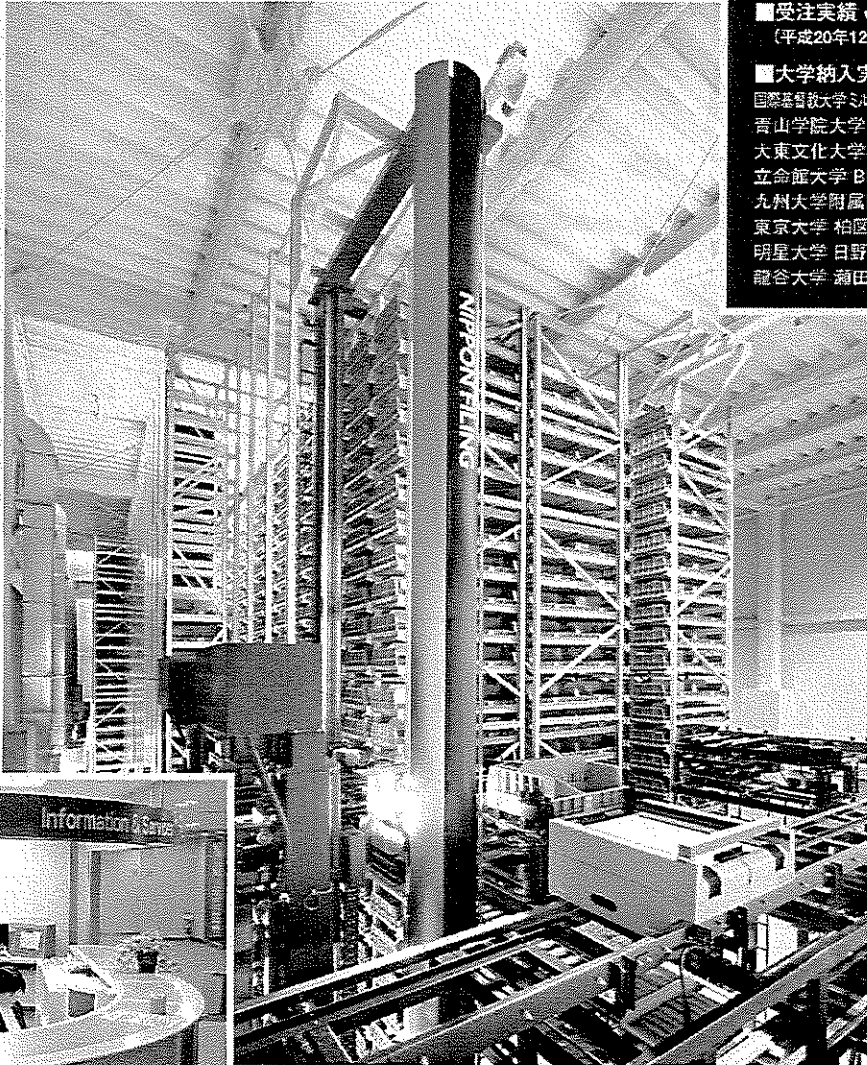
## NetAdvance

小学館グループ 株式会社ネットアドバンス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-30 昭和ビル3F TEL 03-5213-0872 e-mail jk\_b2b@netadvance.co.jp



# 導入成果の確かさでご好評をいただいています

オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し、合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。入出庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の採用により高密度保管と高速出納を両立させました。



■受注実績 **35件**  
(平成20年12月現在)

■大学納入実績

国際基督教大学ミッドレドトップアオスマー図書館  
青山学院大学 相模原キャンパス  
大東文化大学 板橋キャンパス  
立命館大学 BKCメディアセンター  
九州大学附属図書館 筑紫分館  
東京大学 柏図書館  
明星大学 日野校図書館  
龍谷大学 瀬田図書館

## オートライブの特長

- ▶ 保管密度が極めて高く、大きなスペースセービング効果が得られます。
- ▶ 返却作業及びカウンター業務が軽減されます。
- ▶ すべての自動化により、大幅な省力効果が得られます。
- ▶ 簡単な操作で、的確・スピーディな利用者サービスが実現します。
- ▶ コンピュータによる蔵書点検など管理レベルが飛躍的に向上します。

**Auto Lib.**  
自動化書庫・オートライブ

よりよい保管システムを提供する



**日本ファイリング**

日本ファイリング株式会社

本社/〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2(新御茶ノ水アーバンビル)  
支店/大阪・名古屋 営業所/札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001  
ISO9001  
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎0120-808-977 電話受付/月~金(土・日・祝日を除く) 9:00~17:00

CASSINA IXC Ltd.

IXC.

**Fukuoka Shop**  
1/2F. FT Bldg.  
4-8-28 Watanabe-dori,  
Chuo-ku, Fukuoka 810-0004  
Phone : 092-795-3501  
Open / 11:00-19:30  
Close / Every 4th Wednesday

**Fukuoka Office**  
Phone : 092-735-3503



WWW.CASSINA-IXC.COM

DESIGN: THOMAS HALL, SHARPE & CO. CHAIR: GIO PELLON, GIO PELLON

# FUKUOKA KAIGAI LIMITED

洋書・洋雑誌・バックナンバー輸入販売



## 福岡海外株式会社

福岡市中央区天神4-1-18 〒810-0001

Tel: 092-741-2685 Fax: 092-741-8418

e-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp



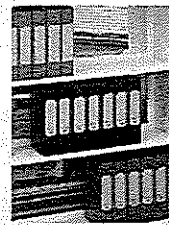
# LIVE LINE

スチールパネル書架【ライブライン】

## 極限まで無駄を排除した シャープなデザインのスチールパネル書架 【ライブライン】

「ライブライン」は、細部までデザインを追求したスチールパネル書架。その精悍なたたずまいは、メディアセンターだけでなくオフィス空間にも新たなクオリティを提供します。棚板は、向きを変えることで表紙見せへと変化し（スチールパネル書架では初）、側板のバリエーションも多彩。シャープなデザインと機能を兼ね備えた次世代型スチールパネル書架です。

◎棚板の向きを変えることで  
表紙見せ棚に



平置棚



表紙見せ棚

◎多彩な側板の  
バリエーション



アクリルパネル付



ワイヤー雑誌架付



書籍展示棚付



パソコン台付

【西日本支社】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-3 明治安田渡辺ビル TEL: 092(482)8822 FAX: 092(482)8824

お問い合わせはお客様サービスセンターへ。 ☎ 0120-81-9060 月曜～金曜(祝日を除く)8:00～18:00

Okamuraの最新情報をご覧下さい。 [ホームページアドレス] <http://www.okamura.co.jp/>

よい品は結局おトクです

**オカムラ**  
株式会社 岡村製作所

# 広がります あなたの未来 政府刊行物

探したい本はここで見つかる。  
政府刊行物のホームページ  
<http://www.gov-book.or.jp/>

## 政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)721-4846

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F) 北九州:北九州市小倉北区内 1-1(北九州市役所 1F)

TEL(092)641-7838

TEL(093)582-4124

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

18世紀刊行の英語・英語文献3300万頁をフルテキスト検索!

## Eighteenth Century Collections Online 18世紀英語・英国刊行物データベース

英語圏の全印刷物を網羅、  
あらゆる分野・形態のものを収録

21世紀の我々がインターネットで様々な情報を引き出せるように、  
18世紀の情報もパソコンで自在に検索できたらー。

18世紀の英語圏刊行物15万点を完全収録し、全文検索を可能にする Eighteenth Century Collections Online (ECCO) は、「18世紀のインターネット」とは言えないまでも、それに限りなく近い環境を研究者や学生に提供する画期的なオンライン商品です。ジョンソン、ロック、スウィフト、ケンペル、ギボン、その他無数の文筆家たちが遺した3300万頁にのぼる出版物の一語一句まで、お手元のパソコンで探し当て、原書どおりの画像を閲覧することが可能です。ECCOの提供する驚異的な検索・閲覧環境をぜひご体感ください。

検索サイトに「雄松堂 ECCO」で検索  
下さい。詳細ページにアクセスできます。

日本総販売代理店

※価格・トライアル等、詳細につきましては、小社営業部までお気軽にお問い合わせ下さい

雄松堂書店

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 29 <http://www.yushodo.co.jp>

TEL: 03-3357-1411 (代) FAX: 03-3356-8730 E-mail: [sales@yushodo.co.jp](mailto:sales@yushodo.co.jp)



九州地区大学図書館協議会誌 第51号

平成21年2月発行

発行 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学附属図書館内  
九州地区大学図書館協議会

TEL (092) 642-2324

FAX (092) 642-2330

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

